

タイ人日本語学習者における
「ありがとう」と「すみません」の使い分け
—日本語母語話者とタイ語母語話者との比較—

シッサノック・ホンチッパラット
(5580120622)

チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科
日本語講座・修士課程
2013 年度

氏名 : シツシャノック ホンチツパラット
論文名 : タイ人日本語学習者における「ありがとう」と「すみません」の使い分け
—日本語母語話者とタイ語母語話者との比較—
指導教官 : 萩原孝恵博士
総ページ数 : 97 ページ

要旨

本稿は、タイ人日本語学習者の「ありがとう」と「すみません」の使い分けの傾向とその要因を明らかにすることを目的とする。先行研究によれば、日本語の場合、感謝場面における「ありがとう」と「すみません」の使い分けには、①聞き手との関係と、②話し手の心理が左右すると指摘されている。しかし、タイ語の場合、どのような場合であっても、またどのような聞き手に対しても、“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が使用されると説明されている。そのため、タイ人日本語学習者にとって、先行研究で指摘されているように、聞き手との関係を配慮し、話し手としての心理を前提とした日本語における感謝表現の選択は難しい。そこで、本研究では、14 の場面と 4 種類の聞き手（親疎・上下関係）を設定した調査を実施し、「ありがとう」と「すみません」の使い分けについて分析・考察する。

研究対象者は、タイ人日本語学習者計 85 人（初級レベル 28 人・中級レベル 32 人・上級レベル 25 人）である。また、タイ人日本語学習者との比較を行うために、日本語母語話者 13 人と、タイ語母語話者 21 人に対する調査も同時に行う。調査の結果、タイ語母語話者は、どのような場面・どのような聞き手に対しても、“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）の使用が多かった。一方、タイ人日本語学習者と日本語母語話者の場合には、利益が高い場面では、いずれの聞き手に対しても「ありがとう」を使用する傾向があったが、利益が高くない場面では、聞き手によって感謝表現の選択が変わることが明らかになった。しかし、「先生」と「知らない人」に対しては、日本語母語話者でも表現が割れたことから、使い分けが個人に委ねられる場面があることがわかった。また、中級から上級レベルの学習者には、「すみません」の過剰使用がみられた。

本研究では、初級レベルでは母語に影響され「ありがとう」を使用する傾向が高いが、中級から上級レベルになるにつれ日本語母語話者に近づく場面と、逆に日本語母語話者以上に「すみません」が過剰使用になる場面とがあることを明らかにした。

文学部東洋言語学科

院生の署名：_____

日本語講座
2013年度

指導教官の署名：_____

目次

第1章	はじめに.....	1
第2章	先行研究.....	3
2.1	日本語の感謝と謝罪.....	3
2.2	タイ語における感謝表現.....	9
2.3	日本語とタイ語の感謝表現の違い.....	10
第3章	研究方法.....	12
3.1	研究方法概要.....	12
3.2	研究対象者.....	12
3.3	研究過程.....	13
第4章	場面別結果.....	18
4.1	傘場面.....	18
4.2	映画場面.....	21
4.3	財布場面.....	24
4.4	本場面.....	28
4.5	エレベーター場面.....	31
4.6	コーヒー場面.....	34
4.7	2バーツ場面.....	37
4.8	荷物場面.....	40
4.9	駅場面.....	43
4.10	郵便場面.....	46
4.11	ペン場面.....	49
4.12	ソース場面.....	52
4.13	写真場面.....	55
4.14	車場面.....	58
第5章	考察.....	62
5.1	利益に左右される「ありがとう」.....	62
5.2	聞き手との関係に左右される「すみません」.....	63
5.3	「ありがとう」と「すみません」の使い分けがファジーな場面.....	68
5.4	考察のまとめ.....	71
第6章	まとめと今後の課題.....	73
参考文献	75
添付資料1	タイ人日本語学習者のアンケート.....	74
添付資料2	日本語母語話者のアンケート.....	77
添付資料3	タイ語母語話者のアンケート.....	91
謝辞	98

表の目次

表 1	先行研究における感謝表現と謝罪表現の使い分けの要因.....	8
表 2	研究対象者.....	12
表 3	研究比較対象者.....	13
表 4	話し手の気持ちと度数.....	16
表 5	〈傘場面〉表現の回答率.....	18
表 6	〈映画場面〉表現の回答率.....	21
表 7	〈財布場面〉表現の回答率.....	25
表 8	〈本場面〉表現の回答率.....	28
表 9	〈エレベーター場面〉表現の回答率.....	31
表 10	〈コーヒー場面〉表現の回答率.....	34
表 11	〈2 パーツ場面〉表現の回答率.....	37
表 12	〈荷物場面〉表現の回答率.....	40
表 13	〈駅場面〉表現の回答率.....	43
表 14	〈郵便場面〉表現の回答率.....	46
表 15	〈ペン場面〉表現の回答率.....	49
表 16	〈ソース場面〉表現の回答率.....	52
表 17	〈写真場面〉表現の回答率.....	55
表 18	〈車場面〉表現の回答率.....	58
表 19	聞き手別の表現の回答率.....	72

図の目次

図 1	感謝の表現形式と話し手の心理との関係.....	4
図 2	話し手とウチ・ソト・ヨソとの関係.....	5
図 3	パイロット調査における全体の表現の回答率.....	14
図 4	〈傘場面〉 聞き手：先生.....	20
図 5	〈傘場面〉 聞き手：親しい友達.....	20
図 6	〈傘場面〉 聞き手：親しくない友達.....	20
図 7	〈傘場面〉 聞き手：知らない人.....	21
図 8	〈映画場面〉 聞き手：先生.....	23
図 9	〈映画場面〉 聞き手：親しい友達.....	23
図 10	〈映画場面〉 聞き手：親しくない友達.....	24
図 11	〈映画場面〉 聞き手：知らない人.....	24
図 12	〈財布場面〉 聞き手：先生.....	27
図 13	〈財布場面〉 聞き手：親しい友達.....	27
図 14	〈財布場面〉 聞き手：親しくない友達.....	27
図 15	〈財布場面〉 聞き手：知らない人.....	27
図 16	〈本場面〉 聞き手：先生.....	30
図 17	〈本場面〉 聞き手：親しい友達.....	30
図 18	〈本場面〉 聞き手：親しくない友達.....	30
図 19	〈本場面〉 聞き手：知らない人.....	30
図 20	〈エレベーター場面〉 聞き手：先生.....	32
図 21	〈エレベーター場面〉 聞き手：親しい友達.....	33
図 22	〈エレベーター場面〉 聞き手：親しくない友達.....	33
図 23	〈エレベーター場面〉 聞き手：知らない人.....	33
図 24	〈コーヒー場面〉 聞き手：先生.....	36
図 25	〈コーヒー場面〉 聞き手：親しい友達.....	36
図 26	〈コーヒー場面〉 聞き手：親しくない友達.....	36
図 27	〈コーヒー場面〉 聞き手：知らない人.....	36
図 28	〈2 バーツ場面〉 聞き手：先生.....	39
図 29	〈2 バーツ場面〉 聞き手：親しい友達.....	39
図 30	〈2 バーツ場面〉 聞き手：親しくない友達.....	39
図 31	〈2 バーツ場面〉 聞き手：知らない人.....	40
図 32	〈荷物場面〉 聞き手：先生.....	42
図 33	〈荷物場面〉 聞き手：親しい友達.....	42
図 34	〈荷物場面〉 聞き手：親しくない友達.....	42
図 35	〈荷物場面〉 聞き手：知らない人.....	43

図 36	〈駅場面〉	聞き手：先生.....	45
図 37	〈駅場面〉	聞き手：親しい友達.....	45
図 38	〈駅場面〉	聞き手：親しくない友達.....	45
図 39	〈駅場面〉	聞き手：知らない人.....	45
図 40	〈郵便場面〉	聞き手：先生.....	48
図 41	〈郵便場面〉	聞き手：親しい友達.....	48
図 42	〈郵便場面〉	聞き手：親しくない友達.....	48
図 43	〈郵便場面〉	聞き手：知らない人.....	48
図 44	〈ペン場面〉	聞き手：先生.....	50
図 45	〈ペン場面〉	聞き手：親しい友達.....	51
図 46	〈ペン場面〉	聞き手：親しくない友達.....	51
図 47	〈ペン場面〉	聞き手：知らない人.....	51
図 48	〈ソース場面〉	聞き手：先生.....	54
図 49	〈ソース場面〉	聞き手：親しい友達.....	54
図 50	〈ソース場面〉	聞き手：親しくない友達.....	54
図 51	〈ソース場面〉	聞き手：知らない人.....	54
図 52	〈写真場面〉	聞き手：先生.....	57
図 53	〈写真場面〉	聞き手：親しい友達.....	57
図 54	〈写真場面〉	聞き手：親しくない友達.....	57
図 55	〈写真場面〉	聞き手：知らない人.....	57
図 56	〈車場面〉	聞き手：先生.....	60
図 57	〈車場面〉	聞き手：親しい友達.....	60
図 58	〈車場面〉	聞き手：親しくない友達.....	60
図 59	〈車場面〉	聞き手：知らない人.....	61
図 60	〈エレベーター場面〉	先生に対する表現の回答.....	64
図 61	〈エレベーター場面〉	先生に対する気持ち：日本人と学習者のレベル別比較....	64
図 62	〈写真場面〉	親しくない友達に対する表現の回答.....	66
図 63	〈写真場面〉	親しくない友達に対する気持ち：日本人と学習者のレベル別比較... 66	
図 64	〈荷物場面〉	先生に対する表現の回答.....	68
図 65	〈車場面〉	先生に対する表現の回答.....	69
図 66	〈荷物場面〉	知らない人に対する表現の回答.....	70

第1章 はじめに

本研究は、タイ人日本語学習者の感謝場面における「ありがとう」と「すみません」の使い分けを考察し、その使い分けの結果とその要因を明らかにすることを目的とする。日本語母語話者・、タイ人日本語学習者の「ありがとう」と「すみません」の使い方とおよび使い分けは異なるのか同じなのか。異なる場合には、その使い分けの要因は何なのか。また、タイ人日本語学習者は、日本語能力のレベルの差によって「ありがとう」と「すみません」の使い分けには違いがあるのかについても調査する。なお、この調査に対する本稿の仮説は、学習者の日本語レベルが高ければ高いほど日本語母語話者に近づき、その反対に日本語レベルが低ければ低いほどタイ人母語話者の使用傾向に近づくという見解とで予測されるある。

本研究のきっかけは、タイ国内の高校の日本語教育でよく使われている『あきことともだち』という初級教科書で提示されているに基づいて、「すみません」という表現単語に対するの解説定義や会話内でのなどに含まれている「すみません」の使用例である。は初級レベルということもあると思うが、当該教科書の練習は謝罪の用法意味に焦点がのみ述べあてられているという問題がある。またさらに、筆者の日本留学の際での経験として、筆者がエレベーターに乗っていた時、に、「開」ボタンを押していたところと一緒に、乗ってきたる人に「すみません」と言われたことも、本研究のきっかけである。なぜなら、その時の、筆者は、なぜ謝れるのかが分からなかったからである。

日本語の感謝場面では、「ありがとう」と「すみません」はが置き換えられる場合もある。一方、Cloumas (1981) はによると、日本語の感謝場面では「すみません」がを用いられる場面があると述べている。しかし、それが、全て部の場面ではないことも指摘されしている。しかし、感謝場面であるにも関わらず、「すみません」という謝罪表現が使われるといった、場面に依存する置き換えは、タイ人日本語学習者にとっては難しい。以上の日本語とこれは、タイ語ので感謝する場合に概ね「ありがとう」が使用されるという表現の運用上の違いに起因するから。そのため、タイ人日本語学習者にとって日本語タイ人日本語学習者にとって、感謝場面なのになぜ「すみません」が使用されるのかをタイ人日本語学習者にとっては日本語の感謝表現としてなぜ「すみません」が使用されるのが理解できないこと場合も多いように思われるだろう。そこで、筆者は、タイ人日本語学習者における日本語の感謝表現の使い方を明らかにするための研究が必要であると考えた。しかし、タイ人日本語学習者における感謝表現に関する実態を調査したついでにの先行研究は、筆者の見る限り、ほとんどみられていなかったことからい、本研究では、タイ人日本語学習者における感謝場面で置き換えられると謝罪の典型的な表現の「ありがとう」と「すみません」の使い分けがどのようになるかを調査明らかにし、その要因を考察し、明らかにする。

本研究ではアンケートによる調査を実施する。アンケートの質問項目はロング（2004）に基づき作成し、14の感謝場面における「ありがとう」と「すみません」の使い分けを検討調査する。それぞれの14各場面では、「先生、親しい友達、親しくない友達、知らない人」という4種類つの聞き手を設定しする。、各それぞれの場面での各それぞれの聞き手に対してどのように言うかについて、「ありがとう」「すみません」「その他」の選択肢から選んでもらう。また、使い分けの心理的要因についても分析するため、その各場面に対する気持ちを7つの気持ちの選択肢から選んでもらう。研究対象者は、初級レベル、中級レベル、上級レベルのタイ人日本語学習者である。また、タイ人日本語学習者がタイ語に影響されるか否かを分析するため、日本語を学習したことのないタイ語母語話者に対しても調査する。学習者の日本語レベルが高くなると、日本語母語話者に近づくのか否かについても検討するため、日本語母語話者に対する調査も行う。

ロング（2004）は、研究結果について、利益が高い場面では「ありがとう」が使用され、日本人および学習者はロング（2004）と同じ傾向になり、「ありがとう」を使用する傾向になった。利益負担が高くない場面では、日本人および学「すみません」が使用される傾向があると習者は聞き手との関係によって感謝表現の指摘している使用が変わった。本稿では、このロング（2004）の指摘を検証する。調査結果は、「ありがとう」の回答が多い聞き手の順に提示する。、親しい友達、親しくない友達、先生、知らない人となった。一方また、日本人の使い方や使い分けおよび心理などを前提とし、聞き手によ先生と知らない人に対しては、日本人はる「ありがとう」と「すみません」の使い分けがはっきりにならるを考察する。ない場合があったが、さらに、その場面では初級学習者のレベルによって「ありがとう」を使用する傾向が顕著にになったり、中級、上級学習者は「すみません」を使用する傾向が顕著になったりする場面を明らかにする。また、このような運用上の使い分けは、日本とタイの各社会が違う場面に対する聞き手との関係性に対する考え方やでは心理に起因すると考え、前出した仮説を検証していく。、日本語母語話者とタイ人日本語学習者の結果は異なる傾向になった。なお、タイ人日本語学習者のレベルの差は、レベルが高ければ高いほど「すみません」がみられ、日本語母語話者に近づくと考えられる。

本稿の構成は、第1章で本研究目的と、研究概要と研究のきっかけと概要、第2章で日本語の感謝と謝罪に関する先行研究および、タイ語の感謝に関するついで先行研究、第3章で研究対象者と、アンケートの内容を含む研究方法、第4章で場面別で調査結果感謝表現と気持ちの選択の結果を率で提示し、第5章で第4章に基づく考察としてタイ人日本語学習者「ありがとう」と「すみません」と日本語母語話者の使い分けの比較とその要因について述べ、第6章では研究結果の全体的な本稿の結論と今後の課題についてであるを示す。

第 2 章 先行研究

2.1 日本語の感謝と謝罪

日本語の感謝表現の使い分けは日本語学習者にとって難しい。感謝の場面において、感謝表現と謝罪表現がどちらも置き換えられる場合があるからである。典型的な例を熊取谷 (1990) から引用する。例えば、(1a) の「ありがとうございます」は (1b) の「すみません」で置き換えられる。

- (1) a. A : これ落ちましたよ。
(拾う)
はい。
B : あ、どうもありがとうございます。
- b. A : これ落ちましたよ。
(拾う)
はい。
B : あ、どうもすみません。 (熊取谷 1990 : 36、筆者下線)

熊取谷 (1990) は、「すみません」は感謝の場面で、より丁寧な言語行動を取ろうとする時に使用されると述べている。

佐久間 (1983) は、「ありがとう」と「すみません」について、次のように説明している。例えば、パーティーで自分より若い人にビールを注いだときに返ってくる感謝表現は、多くの場合、「すみません」であるが、話し手が聞き手により配慮する場合には、「恐れ入ります」や「ありがとうございます」が用いられると言う。しかし、同じ若者でも、プレゼントをもらったときにはうれしそうな顔をしながら、「すみません」とは言わないのが普通であると述べている。

佐久間 (1983) は、感謝表現と詫び表現の使い分けと話し手の心理との関係について、次の図 1 のような関係性を示している。図 1 の枠線の中は、感謝における言語行動とそれを支える心理についてである。佐久間 (1983) は、感謝の場面における言語行動は心理的な要因から表現形式が選ばれていると述べている。例えば、喜びが根底にあると感謝表現の「ありがとう」が用いられ、恐縮が根底にあると謝罪表現の「すみません」や「恐れ入ります」が用いられると述べている。

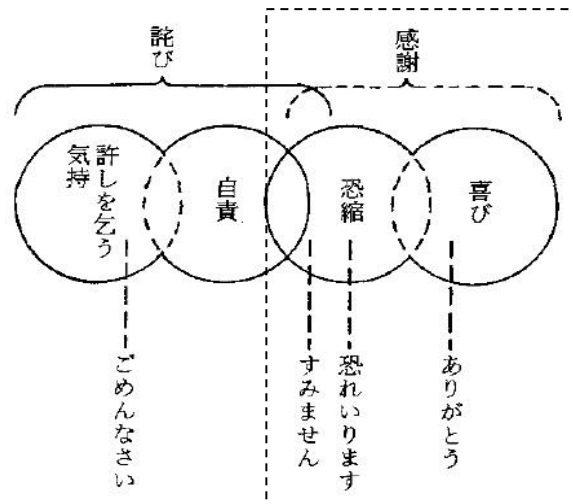


図1 感謝の表現形式と話し手の心理との関係 (佐久間 1983 : 63、筆者枠線加筆)

つまり、佐久間 (1983) は、感謝場面での感謝表現と謝罪表現の使い分けの要因が、①聞き手との関係、②話し手の心理であると指摘している。この二つの要因について、以下で詳しく説明する。

①聞き手との関係

感謝場面での感謝表現と謝罪表現の使用を左右する要因の一つは、聞き手との上下関係と、親疎関係である。聞き手との関係について述べている先行研究には、岡本 (1992)、三宅 (1993a、1993 b)、小川 (1995)、金 (1995)、小野他 (2000)、ロング (2004)、孫 (2007)、Long (2010)、サンタヨーパス (2011) がある。

まず、共通して指摘されていることとして、上下関係については、聞き手が目上の場合、話し手の言語行動はより丁寧になる傾向があるということである。そのため、感謝の場面では、先生などの目上の聞き手に対し、謝罪表現の方が使用される傾向がある。これに対し、友達や後輩などの目上以外の聞き手に対しては、謝罪表現が用いられる傾向が減り、「ありがとう」という感謝表現がより用いられるようになるということである (岡本 1992、三宅 1993a、三宅 1993 b、小川 1995、金 1995、小野他 2000、ロング 2004、孫 2007、Long 2010、サンタヨーパス 2011)。

次に、親疎関係に関しては、目上以外の聞き手、つまり目下あるいは同等との関係が要因となり左右されると指摘されている。目上以外の聞き手で、親しい場合には謝罪表現は使用されず、「ありがとう」という感謝表現の方が使用される。これに対し、親しくない場合には、謝罪表現の方が使用されると指摘されている (岡本 1992、三宅 1993a、三宅 1993b、小川 1995、小野他 2000、ロング 2004、孫 2007、Long 2010、サンタヨーパス 2011)。加えて、ロング (2004) によれば、同じ感謝の場面でも、聞き手が友達である場

合には、感謝表現と謝罪表現の使い分けはその聞き手との親しさによって変わると指摘されている。

三宅（1993b）は、詫び表現が感謝の場面で使われる場合、日本語母語話者の言語行動は「ウチ・ソト・ヨソ」（p.143）という人間関係の枠組みによって使い分けられると述べている。三宅（1993b）は、図2のような話し手を中心としたウチ・ソト・ヨソの関係があると説明している。

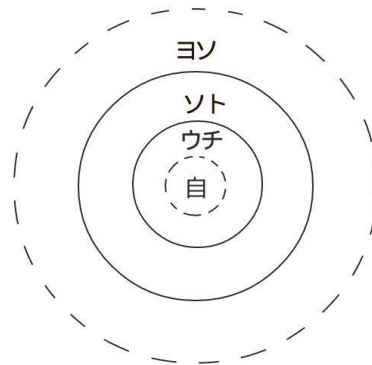


図2 話し手とウチ・ソト・ヨソとの関係（三宅 1993 b :143）

図2は、三宅（1993b）が示している詫び表現とウチ・ソト・ヨソの枠組である。円の中心は話し手自身である。話し手の外周がウチの関係、ウチの外周がソトの関係、ソトの外周がヨソの関係になる。つまり、話し手から最も離れた円がヨソということになる。ウチの相手に対しては、話し手の緊張感が少なくなる。ソトは、自分と親密ではない相手との関係である。ウチ・ソト・ヨソの中で、日本語母語話者はソトの関係に対する言語行動に最も注意すると指摘している。すなわち、ソトの相手に対しては話し手は詫び表現をより使用し、より丁寧な表現を使用する傾向があると述べている。また、ヨソは知らない人である。ヨソの相手は、話し手にとって社会的距離が遠いため、その人物に関する情報が少ないので、話し手の態度や丁寧さはその場によって様々になると説明している。なお、図2はイギリスをはじめとした言語社会にも適応できると三宅（1993b）は述べている。しかし、このウチ・ソト・ヨソの関係は、社会によって円の大きさや仕切り線の太さなどが違って来るであろうとも指摘している。この三宅（1993b）に基づく研究として、小川（1995）、小野他（2000）、ロング（2004）があり、これらはいずれも三宅（1993b）の主張を裏づけている。

②話し手の心理

話し手の心理も、感謝場面において感謝表現と謝罪表現を左右する要因である。話し手の心理は、感謝の「ありがとう」という心理と、謝罪の「すみません」という心理に大別される。

まず、「ありがとう」が使用される心理についてである。つまり、「すみません」が使用されない場合である。「ありがとう」が使用される心理については、佐久間（1983）、熊取谷（1990）、岡本（1992）、三宅（1993a）、ロング（2004）、孫（2007）、Long（2010）、蔵永、樋口（2012）に言及がある。これらの先行研究では、「ありがとう」が使用される心理として、〈利益〉〈うれしさ〉〈期待〉があげられている。〈利益〉について指摘しているのは、岡本（1992）、三宅（1993a）、孫（2007）である。〈利益〉と〈うれしさ〉の相関については、佐久間（1983）、ロング（2004）、Long（2010）、蔵永（2012）が指摘している。また、〈期待〉という心理については、熊取谷（1990）と Long（2010）が指摘している。なお、本研究で使用している〈うれしさ〉という表現は、「満足」（蔵永 2012）、「喜び」（佐久間 1983）、「うれしい気持ち」（ロング 2004、Long2010）を合わせたものである。

まず〈利益〉については、〈利益〉が高まると「ありがとう」がより使用される傾向がある（佐久間 1983、岡本 1992、三宅 1993a、ロング 2004、孫 2007、Long2010、蔵永、樋口 2012）。次に、〈利益〉と〈うれしさ〉との関係については、〈利益〉が高まると〈うれしさ〉も高まるため、話し手の表現は〈うれしさ〉によって変わる（佐久間 1983、ロング 2004、Long2010、蔵永 2012）。それゆえ、〈うれしさ〉が高ければ高いほど、「ありがとう」という感謝表現の使用が多くなる傾向がある（佐久間 1983、ロング 2004、Long2010）。これ以外に、熊取谷（1990）と Long（2010）は、〈期待〉という話し手の心理を指摘している。〈期待〉というのは、話し手が聞き手からの行動を期待すると、聞き手の行動に対する感謝表現が「すみません」ではなく「ありがとう」が使用されるというものである。例えば、〈期待〉という心理が働いた（2）のような場合、「ありがとう」が使用されると説明されている。

(2) デパートで

客：あとう、すみません。

店員：はい。

客：広告で見たのですが、ジャケットを売っているところはどこでしょうか。

店員：ああ、ええと、3階です。

客：ああそうですか。ありがとうございました。（*すみませんでした。）

（熊取谷 1990：40、筆者下線）

(2) は客と店員の会話で、客である話し手は店員である聞き手の「ああ、ええと、3階です」という返答が店員の役割として〈期待〉されるものであるため、このような期待が伴う場合に「ありがとう」が使用されると説明されている。しかし、熊取谷（1990）は、聞き手の役割を前提とする言動は、話し手の判断によって違うとも説明している。

もう一つは、「すみません」が使用される心理についてである。「すみません」が使用される心理については、岡本（1992）、三宅（1993a）、小川（1995）、孫（2007）、ロング（2004）、Long（2010）、蔵永・樋口（2012）を取り上げる。これらの先行研究では、「ありがとう」が使用される心理として、〈負担〉〈申し訳なさ〉があげられている。〈負担〉について指摘しているのは、岡本（1992）、三宅（1993a）、小川（1995）、孫（2007）である。〈負担〉と〈申し訳なさ〉の相関については、ロング（2004）、Long（2010）、蔵永・樋口（2012）が指摘している。

岡本（1992）、三宅（1993a）、小川（1995）、孫（2007）は、〈負担〉が大きい場面で、謝罪表現の使用が多くなる傾向があると述べている。また、ロング（2004）、Long（2010）、蔵永・樋口（2012）は、〈負担〉が大きければ大きいほど、〈申し訳なさ〉が高くなる傾向があると指摘している。つまり、話し手の心理の中に〈申し訳なさ〉がどのくらいあるかによって、「すみません」「ごめんなさい」「恐れ入ります」などいずれの謝罪表現を使うかどうかが決まると説明している。さらに、ロング（2004）、Long（2010）は、〈申し訳なさ〉と〈負担〉だけではなく、〈申し訳なさ〉と聞き手との関係についても指摘している。そのため、目上の聞き手に対しては、話し手の〈申し訳なさ〉がより高くなる傾向があり、謝罪表現が使用されると述べている。

以上、2.1 で取り上げた先行研究における感謝表現と謝罪表現の使い分けの要因を整理すると、次の表1のようになる。

表1 先行研究における感謝表現と謝罪表現の使い分けの要因

先行研究	要因	②話し手の心理	
		①聞き手との関係	話し手の気持ち
ロング (2004)	ウチ・ソト・ヨソ	利益	うれしさ
		負担	申し訳なさ
Long(2010)	上下・親疎	利益	うれしさ・期待
		負担	申し訳なさ
三宅 (1993a)	上下・親疎	利益	-
		負担	
三宅 (1993 b)	ウチ・ソト・ヨソ	-	-
岡本 (1992)	上下・親疎	利益	-
		負担	
小川 (1995)	ウチ・ソト・ヨソ	-	-
		負担	
孫 (2007)	相手との心理的な距離	利益	-
		負担	
サンタヨーパス (2011)	上下・親疎	-	-
小野他 (2000)	ウチ・ソト・ヨソ	-	-
金 (1995)	上下	-	-
佐久間 (1983)	-	利益	喜び・恐縮
		不利益	自責・許しを乞う
蔵永 (2012)	-	利益	満足
		負担	申し訳なさ
熊取谷 (1990)	-	-	期待
			-

*表中の「-」は、当該先行研究に記述がないことを示している。

表1から、先行研究で指摘される要因は次の二つにまとめられる。

①聞き手との関係 ②話し手の心理

①の聞き手との関係というのは、上下・親疎関係である。また、親疎関係については、ウチ・ソト・ヨソという捉え方もある。②の話し手の心理というのは、利益・負担と話し手の気持ちである。この利益・負担について佐久間(1983)は、利益・不利益と記述している。また、話し手の気持ちというのは、うれしさ、喜び、自責、満足、申し訳なさ、期待、恐縮、許しを請う気持ちである。

表 1 から、日本語における感謝場面での感謝表現と謝罪表現の使い分けは聞き手との関係と話し手の心理が重要な要因であることが分かる。では、タイ語における感謝表現はどのようなのか、先行研究を概観する。

2.2 タイ語における感謝表現

サンタヨーパス (2011) は、感謝表現についてタイ語と日本語の対照研究をしている。日本語では、2.1 で見たように、謝罪表現と感謝表現が重なる部分がある。しかし、タイ語では、感謝場面における謝罪表現の使用はほとんどみられないとサンタヨーパス (2011) は指摘している。つまり、タイ語では感謝表現と謝罪表現がはっきり分けられているということである。そこで、2.1 で示された日本語の感謝表現の使い分けの二つの要因を基に、以下タイ語における感謝表現に焦点をあてて見ていく。

①聞き手との関係

サンタヨーパス (2011) は、タイ語における感謝場面では、上下・親疎関係に関わらずいずれの聞き手に対しても、感謝表現 “ขอบคุณ” [khə̀ŋp khun] (ありがとう) が使用されると説明している。

また、タイ語の “ขอบคุณ” [khə̀ŋp khun] (ありがとう) は、感謝場面だけでなく、依頼場面でも使用されると โพลิน (2013) は指摘している。โพลิน (2013) は、タイ人日本語学習者における依頼の文末部を調査し、依頼場面においてタイ人日本語学習者は、上下・親疎関係に関わらず「ありがとう」という感謝表現の使用傾向が高いという結果を示している。

タイ語の感謝表現の丁寧さは、上下・親疎関係に影響されると สิงหาดี (2006) 、โพลิน (2013) は指摘している。これは、目上や親しくない聞き手に対しては、より長い感謝表現が使用され、目下や親しい聞き手に対しては、より短い感謝表現が使用される傾向があるということである。つまり、上下・親疎関係は、タイ語の感謝表現の丁寧さには影響するが、感謝場面における感謝表現の使い分けには影響しないということである。

②話し手の心理

日本語の感謝場面における感謝表現は、利益・負担といった話し手の心理がその使い分けに影響するが、タイ語の感謝場面においては、負担度に関わらずどのような場面でも “ขอบคุณ” [khə̀ŋp khun] (ありがとう) が使用されるとサンタヨーパス (2011) は指摘している。

สิงหาติ (2006) は、タイ語の感謝場面では、満足か否かが感謝表現の長さを左右する要因の一つとなると述べている。これは、満足度が高まるとタイ語の感謝表現が長くなるということである。

Wangwan (2005) は、タイ人における感謝の心理について、他者から恩恵を受けたときに日本人と比べて肯定的感情をより感じる傾向があると指摘している。それはタイの社会に関係があると、Wangwan (2005) は次のように説明している。

タイ人においては、他者から恩恵を受けたことによって生じる感謝心が、恩恵を与えてくれた者に依存することを認め、むしろ他者の重要性を強く認識し、心理的負債をそのままにしたいとより強く望むことが考えられる (Wangwan2005:8)

また、ไพลิน (2013) は、Wangwan (2005) と同様の観点で“บุญคุณ”[bunkhun] (恩恵¹) という気持ちがタイ人学習者にあるのではないかと指摘している。それは、相手から利益を受けることは話し手にとって“บุญคุณ”[bunkhun] (恩恵) となるため、話し手は感謝の気持ちを深く感じ、その結果、タイ人日本語学習者は「ありがとう」を使用するという説明である。つまり、タイ語の感謝場面では、話し手の心理が感謝表現の使い分けに影響するのではなく、“บุญคุณ”[bunkhun] (恩恵) という気持ちが大きく働いて“ขอขอบคุณ” [khop khun] (ありがとう) が使用されるということである。

2.3 日本語とタイ語の感謝表現の違い

2.1 と 2.2 で、日本語とタイ語の感謝表現の使い分けの要因について先行研究を見てきた。先行研究で指摘されている点は次の三点である。

- 1) 日本語では、上下・親疎関係が感謝表現と謝罪表現の使い分けを左右するが、タイ語では、上下・親疎関係に関わらず感謝表現が使用される。
- 2) 日本語では、利益・負担が感謝表現と謝罪表現の使い分けを左右するが、タイ語では、どのような負担であっても感謝表現が使用される。
- 3) タイ語では、上下・親疎関係と満足度が感謝表現の丁寧さを左右する要因となる。

¹ “บุญคุณ”[bunkhun]は英語で“indebtedness”と訳される。三宅 (1993a) は、Cloumas (1981) の“indebtedness”を「借り」と訳している。しかし、タイ語の“บุญคุณ”[bunkhun]は、「借り」というよりも恩恵の意味が強いと考えられるため、本研究では“บุญคุณ”[bunkhun]を「恩恵」と訳して使用する。

以上のように、日本語とタイ語の感謝表現には使い方に違いがある。そのため、タイ人日本語学習者にとっては、日本語の感謝表現としてなぜ「すみません」が使用されるのか、理解できない場合も多いと考えられる。そこで、本研究では、タイ人日本語学習者の「ありがとう」と「すみません」についてその使い分けと気持ちを調査し、この問題を明らかにする。

第3章 研究方法

3.1 研究方法概要

本研究ではアンケートによる調査を実施する。アンケートの質問項目はロング（2004）に基づき作成し、感謝場面における「ありがとう」と「すみません」の使い分けを調査する。

第2章 2.2 より、「ありがとう」と「すみません」の使い分けには、①「聞き手との関係」と、②「話し手の心理」が関わっていることが示唆された。そこで、本調査では、聞き手との関係として、「先生、親しい友達、親しくない友達、知らない人」という4種類の聞き手を設定し調査する。また、使い分けの心理的要因についても分析するため、「とてもうれしい、うれしい、少しうれしい、特に何も思わない、少し申し訳ない、申し訳ない、とても申し訳ない」という気持ちについても調査する。

3.2 研究対象者

対象者は、初級レベル28人、中級レベル32人、上級レベル25人のタイ人日本語学習者である。表2が対象者に関する情報である。日本語能力は、新日本語能力試験のレベルにより分類する。本研究では、N1とN2を上級、N3とN4を中級、N5もしくは学習歴が1年以下のものを初級とする。なお、1年以上の学習歴で日本語能力試験を受けていないものは本調査に含めていない。留学経験については、留学経験が2ヶ月以下の短期のものについては留学経験者としてカウントしていない。

表2 研究対象者

レベル	年代年齢(人)	新日本語能力試験(人)	日本語学習歴(人)	留学経験(人)	合計(人)
初級	15-19歳 (13)	なし (14)	1年 (16)	なし (28)	28
	20代 (15)	N5 (14)	2-3年 (7)		
			4年 (5)		
中級	19歳 (15)	N4 (5)	3-4年 (13)	あり (11)	32
	20代 (17)	N3 (27)	5-6年 (16)	なし (21)	
			7年 (3)		
上級	19歳 (8)	N2 (16)	3-4年 (6)	あり (14)	25
	20代 (13)	N1 (9)	5-6年 (6)	なし (11)	
	30代 (4)		7-8年 (6)		
				9-10年 (9)	

また、タイ人日本語学習者がタイ語に影響されるか否かを分析するため、日本語を学習したことのないタイ語母語話者に対しても調査する。調査の際の使用言語はタイ語である。さらに、学習者の日本語レベルが高くなると、日本語母語話者に近づくのか否かについても検討するため、日本語母語話者に対する調査も行う。表3がタイ語母語話者（タイ人）と日本語母語話者（日本人）に関する情報である。

表 3 研究比較対象者

母語話者	年代年齢 (人)	性別(人)	合計 (人)
タイ人	19 歳 (1)	女 (12)	21
	20 代 (17)	男 (9)	
	30 代 (3)		
日本人	20 代 (6)	女 (4)	13
	30 代 (3)	男 (9)	
	40 代 (4)		

3.3 研究過程

まず、2013 年 11 月初旬にパイロット調査を実施した。このパイロット調査は、アンケートの形式上の問題点の検討と感謝表現の使用傾向を確認するために行った。パイロット調査の協力者は、日本語教師歴のある日本語母語話者 2 人と、日本語教師を目指しているタイ人日本語学習者 3 人、日本語を勉強したことのないタイ語母語話者 2 人である。実施後、以下に提示したアンケートの形式について、「気持ちの評価の部分が分かりにくい」(図 2) という意見をもらったため、本調査のアンケートでは修正した。また、「バスから降りようとする時、A に財布が落ちていることを教えてもらった」という場面文が分かりにくいというフィードバックをもらったため、これは「バスから降りようとした時、財布が落ちていることを A に教えてもらった」と修正した。

次の場面で A にどう返答しますか。また、その場面に対し、どう感じますか。選択肢から選んでください。

3 バスから降りようとする時、A に財布が落ちていることを教えてもらった時

3-1 A: 先生

① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

② とても嬉しい 嬉しい 少し嬉しい 何も特に思わない 少し申し訳ない 申し訳ない とても申し訳ない

図 2 パイロット調査の質問の例

パイロット調査の結果は次のページの図 3 である。図 3 にみられるように、いずれの対象者も「ありがとう」の使用傾向が高かった。「ありがとう」の回答が最も多かったのは、タイ人で、次が学習者、日本人の順であった。学習者の「すみません」の選択率は 19%、日本人の「すみません」の選択率は 17% と近い結果となったが、日本人の場合には「その他」という回答も 25% であったことが特徴として示された。それぞれの回答の割合をみていくと、学習者の回答は、「ありがとう」が 81%、「すみません」が 19% であった。日本

人の回答は、「ありがとう」が 58%、「すみません」が 17%、「その他」が 25%であった。タイ人は、「ขอบคุณ」 [khooobkhun]（ありがとう）が 94%、「ขอโทษ」 [khoothod]（すみません）が 6%で、「ありがとう」の選択が9割を超えた。

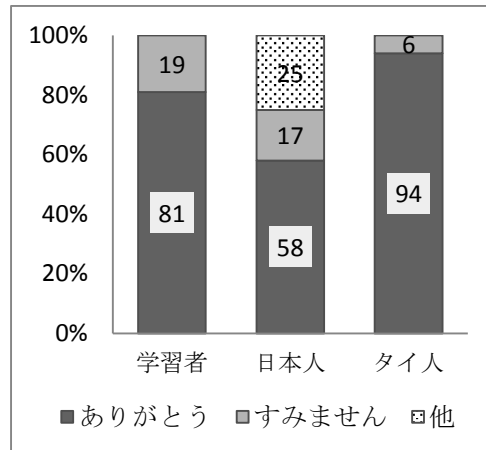


図3 パイロット調査における全体の表現の回答率

以上のパイロット調査の結果を踏まえ、本調査ではアンケートの形式を再検討した。質問項目は、パイロット調査と同様にロング（2004）に基づいて作成し、日本語からタイ語に翻訳した。翻訳の的確性を高めるため、タイ語のできる日本人によるバックトランスレーションを行った。その後、日本語母語話者に再度アンケートの日本語を確認してもらった。本調査は2013年11月下旬から12月下旬にかけて実施した。

3.3.1 調査内容

タイ人日本語学習者に対するアンケート、タイ語母語話者に対するアンケート、日本語母語話者に対するアンケートの形式をそれぞれ抜粋して以下に示す。

ถ้าสมมุติให้ A อยู่ในสถานการณ์ตามที่ระบุไว้ด้านล่าง ①คุณจะทำต่อAในแต่ละสถานการณ์ว่าอย่างไร ②ท่านรู้สึกอย่างไรในแต่ละสถานการณ์นั้น

ตัวอย่าง 0. A ที่ขโมยมาฝากจากญี่ปุ่น

0-1 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. ไม่ได้รู้สึกอะไร

タイ人日本語学習者に対するアンケートの抜粋

ถ้าสมมุติให้ A อยู่ในสถานการณ์ตามที่ระบุไว้ด้านล่าง ① คุณจะกล่าวต่อ A ในแต่ละสถานการณ์ว่าอย่างไร ② ท่านรู้สึกอย่างไรในแต่ละสถานการณ์นั้น

ตัวอย่าง 0. A ซื้อขนมมาฝากจากญี่ปุ่น

0-1 A เป็นเพื่อนที่สนิทกัน

① a. ขอบคุณ b. ขอโทษ c. อื่นๆ (_____)

② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. ไม่ได้รู้สึกอะไร

タイ語母語話者に対するアンケートの抜粋

次の 1～14 の場面で A に対し何と言うか。①の選択肢から選んでください。選択肢に適切だと思う表現がない場合、「c. その他」の () に具体的に書いてください。また、A の行為についてどう感じるか、②の選択肢から選んでください。

例 0. A にお菓子をもらった。

0-1 A: 先生

① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に思わない

日本語母語話者に対するアンケートの抜粋

①場面の設定

場面は、ロング (2004) に基づく以下の 14 場面である。

- 1) 傘場面：電車を降りる時、かさの置き忘れを A に教えてもらった。
- 2) 映画場面：面白い映画を A に勧めてもらった。
- 3) 財布場面：バスから降りようとした時、財布が落ちていることを A に教えてもらった。
- 4) 本場面：自分の勉強のために役に立つ本を A に教えてもらった。
- 5) エレベーター場面：エレベーターに乗る時、「開」ボタンを A に押してもらった。
- 6) コーヒー場面：ビュッフェスタイルの結婚式の披露宴で A にコーヒーを入れてもらった。
- 7) 2 バーツ場面²：お土産屋でお金を払う時に 2 バーツ足りず、A が自分からお金を出してくれた。

² 日本語母語話者に対するアンケートでは「2 バーツ」を「5 円」に変えている。

- 8) 荷物場面：駅の階段で重い荷物をAに運んでもらった。
- 9) 駅場面：電車に乗っていて、次の駅はどこかをAに聞いて教えてもらった。
- 10) 郵便場面：郵便局の場所を聞き、Aに教えてもらった。
- 11) ペン場面：Aにペンを貸してもらった。
- 12) ソース場面：一緒に食事をしている時、ソースを取ってくれるようにAに頼んで取ってもらった。
- 13) 写真場面：旅行している時、写真を撮ってくれるようにAに頼んで撮ってもらった。
- 14) 車場面：車のバッテリーがあがってしまったので、Aに頼んで、近くのガソリンスタンドまで車を一緒に押してもらった。

②聞き手の設定

聞き手は、上下・親疎関係を軸として4種類の聞き手、すなわち「先生、親しい友達、親しくない友達、知らない人」を設定した。これは、先行研究から、感謝表現の使い分けは相手によって変わることが示唆されているためである。

③話し手の気持ちの設定

話し手の気持ちについては、表4に示すように、利益と負担という観点から、〈うれしさ〉はプラスの点数、〈申し訳なさ〉はマイナスの点数により評価した。これは、先行研究で指摘されているように、「ありがとう」と「すみません」の選択が話し手にとって利益と感ずるか負担と感ずるかという気持ちについて分析するためである。なお、前出したアンケートの例で示したように、アンケート上には点数は記していない。

表4 話し手の気持ちと度数

話し手の気持ち	点数
とてもうれしい	3
うれしい	2
少しいうれしい	1
特に何も思わない	0
少し申し訳ない	-1
申し訳ない	-2
とても申し訳ない	-3

本調査におけるアンケートの使用言語は、タイ人日本語学習者には、表現の選択肢の「ありがとう」「すみません」「その他」は日本語で、それ以外はタイ語で表記した。日本語母語話者にはすべて日本語で、タイ語母語話者にはすべてタイ語で行った。

アンケート実施後のデータ整理および分析過程において、回答に「ありがとう」のさまざまな表現パターンがあることが分かった。例えば、「ありがとうございます」以外に「ありがとうございました」「ありがとうね」「どうもありがとう」「どうもありがとうございます」「どうもありがとうございました」という回答があった。本研究では、これ

らはすべて「ありがとう」という表現のカテゴリーに入れて分析する。また、「すみません」が含まれる次のような表現「すみませんでした」「どうもすみません」「どうもすみませんでした」についても「ありがとう」と同様の処理を行い、「すみません」として分析する。

第4章 場面別結果

本研究における調査対象は、研究対象者である初級レベル 28 人、中級レベル 32 人、上級レベル 5 人のタイ人日本語学習者（以下学習者）合計 85 人と、研究比較対象者である日本語母語話者（以下日本人）13 人、タイ語母語話者（以下タイ人）21 人である。本章はこれらの対象者の回答結果を提示し、考察する。なお、回答がなかったもの、選択が複数であったものはエラーとし、本研究結果には含めていない。

各場面の結果は、まず表現の回答率を聞き手別に提示し、次に気持ちの度合いを点数化したものを提示する。気持ちは、「とてもうれしい」「うれしい」「少しうれしい」「特に何も思わない」「少し申し訳ない」「申し訳ない」「とても申し訳ない」の順に、3、2、1、0、-1、-2、-3 と点数化し、0 よりもプラスの値が大きくなれば大きいほど、うれしいという気持ちが強く、0 よりもマイナスの値が大きくなれば大きいほど、相手に負担をかけたという気持ちが強まっていることを示す。

4.1 〈傘場面〉電車を降りる時、傘の置き忘れを A に教えてもらった。

〈傘場面〉における表現の選択は、表 5 に示すように「ありがとう」という回答が多かった。以下、聞き手別に「ありがとう」という回答結果に注目していく。

表 5 〈傘場面〉表現の回答率 (%)
学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	91	4	5
	日本人	100	0	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者 ³	73	24	2
	日本人	69	23	8
	タイ人	100	0	0
先生	学習者	60	39	1
	日本人	62	23	15
	タイ人	86	14	0
知らない人	学習者	54	45	1
	日本人	47	38	15
	タイ人	90	10	0

まず、「ありがとう」に回答が集中している〈親しい友達〉に対する結果からみていく。タイ人は、「ขอบคุณ」[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）の回答が 100%（21 人中 21 人）であった。日本人も、「ありがとう」の回答が 100%（13 人中 13 人）であった。これに対し、学習者は、「ありがとう」が 91%（85 人中 77 人）、「すみません」が 4%（85 人中 3 人）、

³ 無回答はエラーとして処理したため、合計数が 100%にならない。

「その他」が5%（85人中5人）であった。〈親しい友達〉に対しては、タイ人、日本人ともに100%「ありがとう」であるのに対し、学習者は「ありがとう」の選択率がやや低かった。

次に、〈親しくない友達〉に対する表現の回答について、タイ人は、“ขอบคุณ” [khɔ̀ŋɔ̀bkhun]（ありがとう）がやはり100%（21人中21人）であった。学習者は、「ありがとう」が73%（85人中62人）、「すみません」が24%（85人中20人）、「その他」が2%（85人中2人）であった。日本人は、「ありがとう」が69%（13人中9人）、「すみません」が23%（13人中3人）、「その他」が8%（13人中1人）であった。日本人の「その他」の中に、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。〈親しくない友達〉に対しては、タイ人、学習者、日本人の順に「ありがとう」が多かった。

〈先生〉に対する表現の回答について、タイ人は、“ขอบคุณ” [khɔ̀ŋɔ̀bkhun]（ありがとう）が86%（21人中18人），“ขอโทษ” [khɔ̀ŋɔ̀thoɔ̀t]（すみません）が14%（21人中3人）であった。日本人は、「ありがとう」の回答が62%（13人中8人）、「すみません」が23%（13人中3人）、「その他」が15%（13人中2人）であった。日本人の「その他」は、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。学習者は、「ありがとう」が60%（85人中51人）、「すみません」が39%（85人中33人）、「その他」が1%（85人中1人）であった。〈先生〉に対しては、タイ人、日本人、学習者の順に「ありがとう」が多かった。

最後に、〈知らない人〉に対する表現の回答について、タイ人は、“ขอบคุณ” [khɔ̀ŋɔ̀bkhun]（ありがとう）が90%（21人中19人），“ขอโทษ” [khɔ̀ŋɔ̀thoɔ̀t]（すみません）が10%（21人中2人）であった。学習者は、「ありがとう」が54%（85人中46人）、「すみません」が39%（85人中38人）、「その他」が1%（85人中1人）であった。日本人は、「ありがとう」が47%（13人中6人）、「すみません」が38%（13人中5人）、「その他」が15%（13人中2人）であった。「その他」には、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。〈知らない人〉に対しては、タイ人、学習者、日本人の順に「ありがとう」が多かった。

〈傘場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図4、図5、図6、図7に示す。この場面の全体的な傾向としてはプラスの方に山ができています。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図4にみられるように、日本人とタイ人の気持ちは、2の「うれしい」に山ができていているのに対し、学習者の場合には-1の「少し申し訳ない」に山ができた。

次に、〈親しい友達〉に対しては図5にみられるように、学習者は2の「うれしい」の選択が高く、日本人は1の「少しうれしい」から3の「とてもうれしい」に向け山を描いている。しかし、タイ人の場合には0の「特に何も思わない」という選択が最も高く、次が2の「うれしい」と、2つに割れた。

〈親しくない友達〉については、図 6 にみられるように、学習者、日本人、タイ人とも同じ傾向になり、2 の「うれしい」の選択が多かったが、学習者の選択率は日本人およびタイ人の約2分の1で、-1の「少し申し訳ない」の選択も20%あった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図 7 にみられるように、日本人とタイ人は2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」に分布傾向があるのに対し、学習者はプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに2分する傾向がみられた。

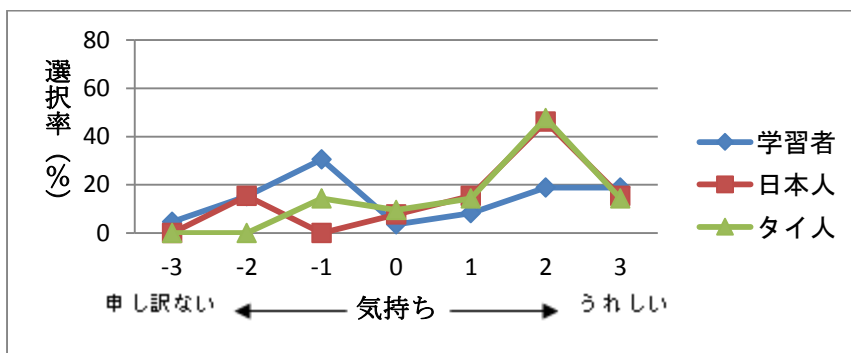


図 4 〈傘場面〉 聞き手：先生

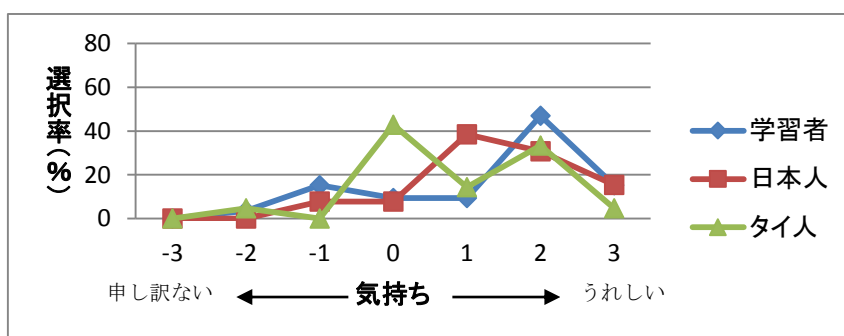


図 5 〈傘場面〉 聞き手：親しい友達

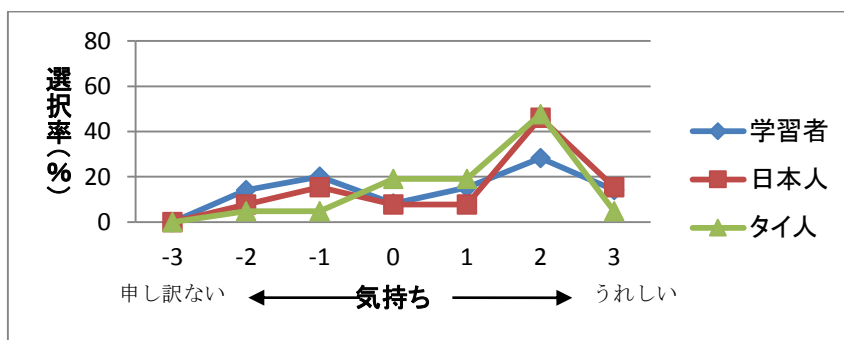


図 6 〈傘場面〉 聞き手：親しくない友達

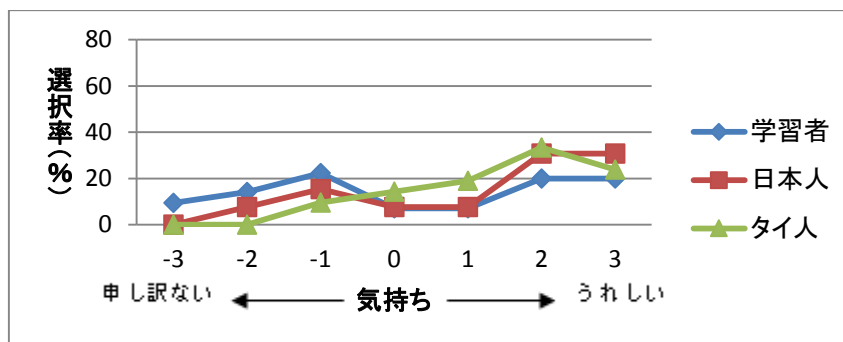


図7 〈傘場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から〈傘場面〉では、学習者、日本人、タイ人ともに「ありがとう」という表現を選択する傾向が確認された。また、この場面での気持ちは、学習者、日本人、タイ人ともに、「うれしい」というプラスの気持ちを感じる傾向があることが分かった。

4.2 〈映画場面〉面白い映画をAに進めてもらった。

〈映画場面〉における表現の選択は、表6に示すように「ありがとう」という回答が多く、最も低い数値でも70%であった。そこで、以下聞き手別に「ありがとう」という回答結果に注目してみていく。

表6 〈映画場面〉表現の回答率 (%)

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	94	1	5
	日本人	85	0	15
	タイ人	90	0	10
先生	学習者	94	2	4
	日本人	85	0	15
	タイ人	90	0	10
親しくない友達	学習者	96	2	1
	日本人	77	8	15
	タイ人	90	10	0
知らない人	学習者 ⁴	88	7	2
	日本人	62	0	38
	タイ人	90	10	0

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答からみていく。学習者は、「ありがとう」が94% (85人中80人)、「その他」が5% (85人中4人)、「すみません」が1% (85人中1人)であった。日本人は、「ありがとう」が92% (13人中12人)、「その他」が8% (13人中1人)であった。日本人の「その他」には、「じゃ、今度見てみます」とい

⁴無回答はエラーとして処理したため、合計数が100%にならない。

う回答があった。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が90%（21人中19人）、「その他」が10%（21人中2人）であった。この結果から〈親しい友達〉に対しては「ありがとう」が選択される傾向があることが示された。「ありがとう」が多い順に列記すると、学習者、日本人、タイ人の順となる。

次に、〈先生〉に対する表現の回答について、学習者は、「ありがとう」が94%（85人中80人）、「その他」が4%（85人中3人）、「すみません」が2%（85人中2人）であった。日本人は、「ありがとう」が92%（13人中12人）、「その他」が8%（13人中1人）であった。「その他」には、「じゃ、今度見てみます」という表現があった。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が90%（21人中19人）、「その他」が10%（21人中2人）であった。この結果から、〈先生〉に対しては「ありがとう」が選択される傾向があることが示された。「ありがとう」が多い順に列記すると、学習者、日本人、タイ人の順となる。

〈親しくない友達〉に対する表現の回答について、学習者は、「ありがとう」が96%（85人中82人）、「その他」が2%（85人中2人）、「すみません」が1%（85人中1人）であった。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が90%（21人中19人）、“ขอโทษ”[kh0<0thoæd]（すみません）が10%（21人中2人）であった。日本人は、「ありがとう」が77%（13人中10人）、「すみません」が8%（13人中1人）、「その他」が15%（13人中2人）であった。「その他」には、「じゃ、今度見てみます」という表現があった。この結果から、〈親しくない友達〉に対しては「ありがとう」が選択される傾向になり、「ありがとう」が多い順に列記すると、学習者、タイ人、日本人の順となる。

最後に、〈知らない人〉に対する気持ちについて、学習者は、「ありがとう」が88%（85人中72人）、「すみません」が7%（85人中11人）「その他」が2%（85人中2人）であった。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が90%（21人中19人）、“ขอโทษ”[kh0<0thoæd]（すみません）が10%（21人中2人）であった。日本人は、「ありがとう」が70%（13人中9人）、「その他」が30%（13人中4人）であった。「その他」には、「じゃ、今度見てみます」「そうですか」「驚き」という表現があった。この結果から、〈親しくない友達〉に対して、学習者およびタイ人は「ありがとう」を選択する傾向があるのに対し、日本人の場合には「その他」が30%と、「ありがとう」と「すみません」以外の表現が選ばれる傾向がみられた。

〈映画場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図8、図9、図10、図11に示す。この場面の全体的な傾向は、0の「特に何も思わない」から3の「とてもうれしい」に向いて山ができて、マイナスの申し訳ない気持ちが低かった。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図 8 にみられるように、日本人とタイ人の気持ちは、1 の「少しうれしい」に選択の山ができていたのに対し、学習者の場合には 2 の「うれしい」に選択の山ができた。

次に、〈親しい友達〉に対しては、図 9 にみられるように、学習者とタイ人は 2 の「うれしい」に山ができていたのに対し、日本人の場合は 1 の「少しうれしい」が最も高く、次が 2 の「うれしい」が高かった。

〈親しくない友達〉に対しては、図 10 にみられるように、学習者は 2 の「うれしい」に山ができ、日本人は 1 の「少しうれしい」に山ができた。これに対し、タイ人は 0 の「特に何も思わない」から 3 の「とてもうれしい」というプラスの気持ちに分布する傾向がみられた。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図 11 にみられるように、タイ人は 0 の「特に何も思わない」に山ができていたのに対し、学習者と日本人は 0 の「特に何も思わない」から 2 の「うれしい」というプラスの気持ちに分布する傾向がみられた。

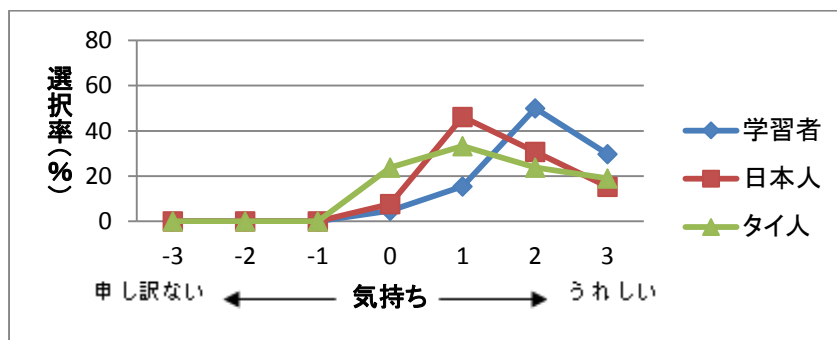


図 8 〈映画場面〉 聞き手：先生

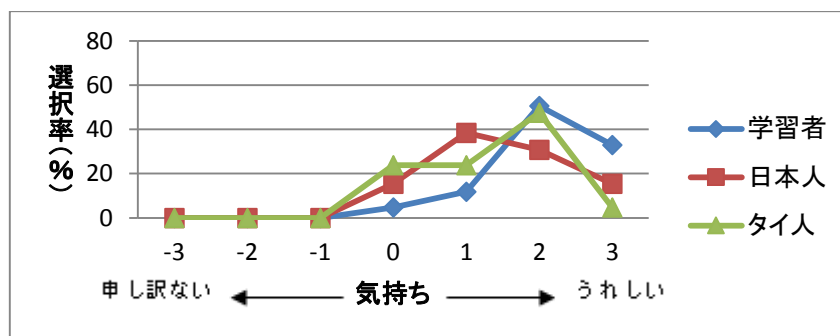


図 9 〈映画場面〉 聞き手：親しい友達

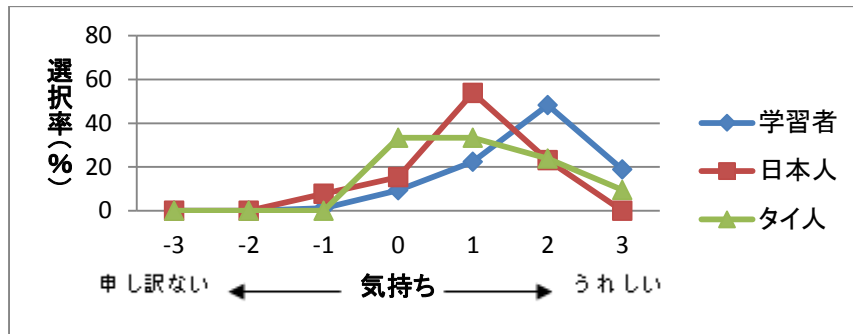


図 10 〈映画場面〉 聞き手：親しくない友達

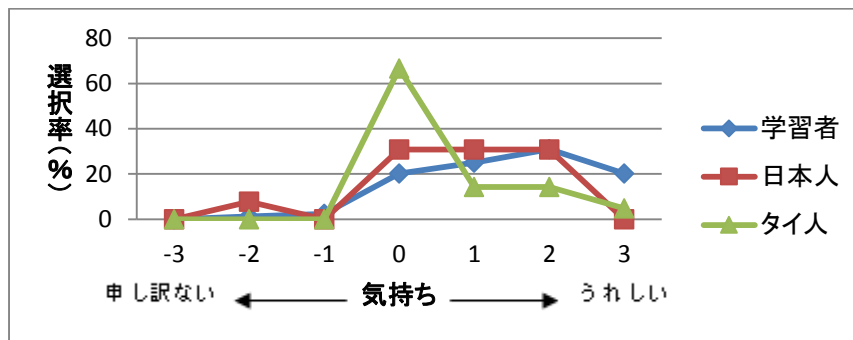


図 11 〈映画場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈映画場面〉では、学習者、日本人、タイ人ともに「ありがとう」を選択する傾向が確認された。また、この場面での気持ちは、学習者、日本人ともに、うれしいというプラスの気持ちを感じるのに対し、タイ人は 0 の「特に何も思わない」と感じていることが分かった。

4.3 〈財布場面〉バスから降りようとした時、財布が落ちていることをAに教えてもらった。

〈財布場面〉における表現の選択は、表 5 に示すように学習者と日本人の場合には聞き手によって表現の使い分けがみられるが、タイ人の場合には聞き手に関わらず“ขอบคุณ” [khobkhun] (ありがとう) が多かった。

表7 〈財布場面〉表現の回答率（％）

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	93	7	0
	日本人	100	0	0
	タイ人	95	5	0
親しくない友達	学習者 ⁵	76	21	1
	日本人	92	0	8
	タイ人	95	5	0
知らない人	学習者 ⁶	59	39	1
	日本人	62	15	23
	タイ人	95	5	0
先生	学習者 ⁷	56	42	1
	日本人	62	15	23
	タイ人	95	5	0

まず、〈親しい友達〉に対する結果を示す。日本人は、「ありがとう」が100%（13人中13人）であった。タイ人は、「ขอบคุณ」[kh0□0bkhun]（ありがとう）が95%（21人中20人）、「ขอโทษ」[kh0<0thoæd]（すみません）が5%（21人中1人）であった。学習者は、「ありがとう」が93%（85人中79人）、「すみません」が7%（85人中6人）であった。この結果から、〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」が使用される傾向が示された。

〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は、「ขอบคุณ」[kh0□0bkhun]（ありがとう）が95%（21人中20人）、「ขอโทษ」[kh0<0thoæd]（すみません）が5%（21人中1人）であった。日本人は、「ありがとう」が92%（13人中12人）、「その他」が8%（13人中1人）であった。日本人の「その他」には、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。学習者は、「ありがとう」が76%（85人中65人）、「すみません」が21%（85人中18人）、「その他」が1%（85人中1人）であった。この結果から、〈親しくない友達〉に対しても、「ありがとう」が使用されることがわかった。多い順に列記すると、タイ人、日本人、学習者の順である。

次に、〈知らない人〉に対しては、タイ人は、「ขอบคุณ」[kh0□0bkhun]（ありがとう）が95%（21人中20人）、「ขอโทษ」[kh0<0thoæd]（すみません）が5%（21人中1人）であった。日本人は、「ありがとう」が62%（13人中8人）、「すみません」が15%（13人中2人）、「その他」が23%（13人中3人）であった。「その他」は、「すみません、あり

⁵無回答はエラーとして処理したため、合計数が100%にならない。

⁶無回答はエラーとして処理したため、合計数が100%にならない。

⁷無回答はエラーとして処理したため、合計数が100%にならない。

がありがとうございます」という組み合わせ表現であった。学習者は、「ありがとう」が 59% (85 人中 50 人)、「すみません」が 39% (85 人中 33 人)、「その他」が 1% (85 人中 1 人)であった。この結果から、「ありがとう」が多い順に列記すると、タイ人、日本人、学習者となった。

最後に、〈先生〉に対する気持ちについて、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 95% (21 人中 20 人)、“ขอโทษ” [khɔ̀ŋ̀ɔ̀thoə̀d] (すみません) が 5% (21 人中 1 人)であった。日本人は、「ありがとう」が 62% (13 人中 8 人)、「すみません」が 15% (13 人中 2 人)、「その他」が 23% (13 人中 3 人)であった。「その他」には、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。学習者は、「ありがとう」が 56% (85 人中 48 人)、「すみません」が 42% (85 人中 36 人)、「その他」が 1% (85 人中 1 人)であった。この結果から、タイ人は“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) の傾向になり、日本人と学習者は「ありがとう」と「すみません」がはっきり分けられない傾向が示された。

〈財布場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図 12、図 13、図 14、図 15 に示す。この場面の全体的な傾向は、プラスの気持ちの選択が多く、うれしいと感じる傾向にあった。

まず、〈先生〉に対する気持ちからみていく。図 12 にみられるように、学習者、日本人、タイ人の気持ちは同じ傾向になり、3 の「とてもうれしい」という選択に最も高い山ができた。その一方で、学習者の場合には-1 の「少し申し訳ない」、日本人の場合には-2 の「申し訳ない」という気持ちの選択が約 20%あった。

次に、〈親しい友達〉に対しては、図 13 にみられるように、学習者、日本人、タイ人ともに、3 の「とてもうれしい」という気持ちの選択に山ができた。

〈親しくない友達〉に対しては図 14 にみられるように、学習者、日本人、タイ人ともに、3 の「とてもうれしい」にやはり山が出ている。しかし、学習者および日本人は-1 の「少し申し訳ない」という気持ちの選択も約 20%あることが特徴である。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図 15 にみられるように、日本人、タイ人ともに、3 の「とてもうれしい」に山ができた。これに対し、学習者の場合は、2 の「うれしい」から 3 の「とてもうれしい」にゆるやかな山があるのに対し、-2 の「申し訳ない」から-1 「少し申し訳ない」にもゆるやかな山ができ、学習者はプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに 2 分する傾向がみられた。

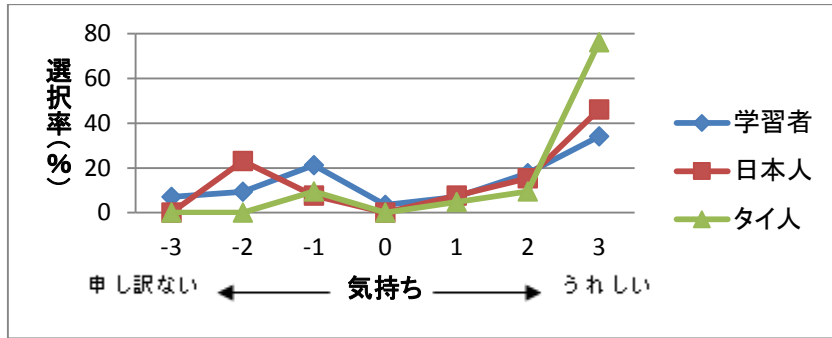


図 12 〈財布場面〉 聞き手：先生

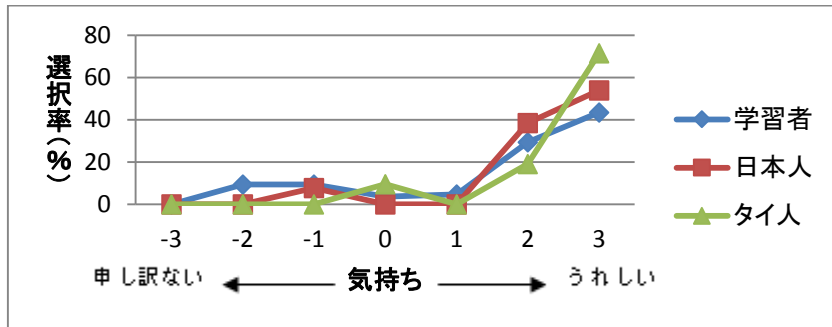


図 13 〈財布場面〉 聞き手：親しい友達

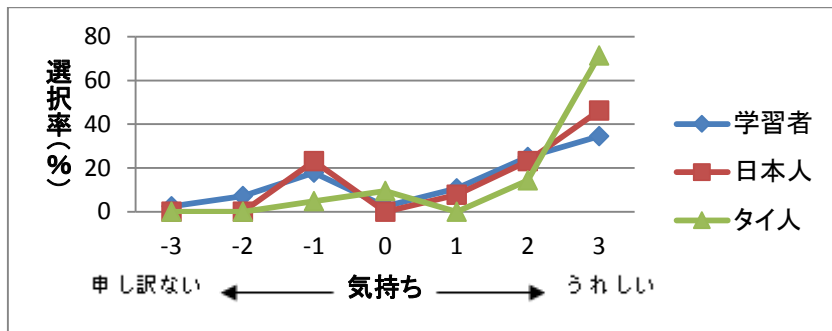


図 14 〈財布場面〉 聞き手：親しくない友達

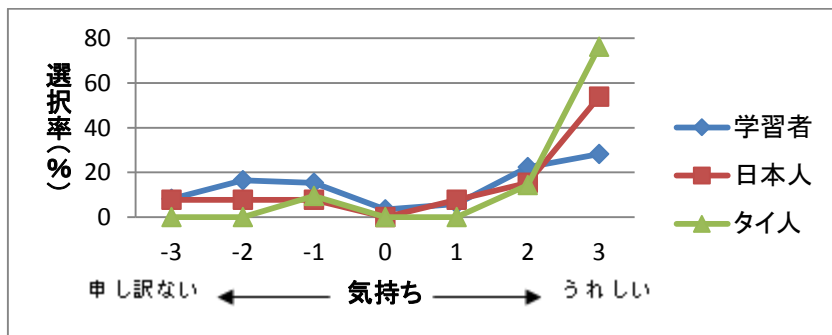


図 15 〈財布場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈財布場面〉は、学習者、日本人の場合には聞き手によって表現が使い分けられる傾向がみられるが、タイ人の場合にはどの聞き手に対しても“ขอคุณ”

[kh0□0bkhun]（ありがとう）が使用されることが示された。また、この場面での気持ちは、学習者、日本人、タイ人ともにうれしいというプラスの気持ちを感じる傾向があることが分かった。

4.4 〈本場面〉自分の勉強のために役に立つ本をAに教えてもらった。

〈本場面〉における表現の選択は、表8に示すように学習者、日本人、タイ人ともに同じ傾向になり、「ありがとう」が高かった。以下、聞き手別に「ありがとう」という回答結果に注目してみていく。

表8 〈本場面〉表現の回答率（％）

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	96	0	4
	日本人	100	0	0
	タイ人	95	0	5
親しくない友達	学習者	94	6	0
	日本人	100	0	0
	タイ人	100	0	0
先生	学習者	99	1	0
	日本人	92	0	8
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者	87	13	0
	日本人	69	23	8
	タイ人	100	0	0

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答をからみていく。日本人は、「ありがとう」が100%（13人中13人）であった。学習者は、「ありがとう」が96%（85人中82人）、「その他」が3%（85人中6人）であった。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が95%（21人中20人）、「その他」が5%（21人中1人）であった。この結果から、〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」が使用され、多い順に列記すると、日本人、学習者、タイ人の順となった。

次に、〈親しくない友達〉に対しては、日本人は、「ありがとう」が100%（13人中13人）であった。タイ人も、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が100%（21人中21人）であった。しかし、学習者は、「ありがとう」が94%（85人中80人）、「すみません」が6%（85人中5人）であった。この結果から、学習者は〈親しくない友達〉に対して、わずかであるが「すみません」を選ぶことが示された。

〈先生〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が100%（21人中21人）であった。学習者は、「ありがとう」が99%（85人中84人）、「すみません」が1%（85人中1人）であった。日本人は、「ありがとう」が92%（13人中12人）、「その他」が8%（13人中1人）であった。「その他」には、「すみません、ありがとう

ございます」という組み合わせ表現があった。この結果から、タイ人は〈先生〉に対して「ありがとう」を100%使うが学習者と日本人は「ありがとう」が100%ではなかった。

最後に、〈知らない人〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が100%（21人中21人）であった。学習者は、「ありがとう」が87%（85人中74人）、「すみません」が13%（85人中11人）であった。日本人は、「ありがとう」が69%（13人中9人）、「すみません」が23%（13人中3人）、「その他」が8%（13人中1人）であった。「その他」には、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。この結果から、〈知らない人〉に対してもタイ人は、「ありがとう」を100%使用するが、学習者は「ありがとう」から「すみません」を選択する率が1割強となり、日本人の場合には「すみません」と「その他」の選択率が3割強となることが示された。

〈本場面〉に対する気持について、聞き手別に図16、図17、図18、図19に示す。この場面の全体的な傾向は、学習者および日本人はプラスのうれしいという気持ちを感じるのに対し、タイ人は「特に何も思わない」から「とてもうれしい」まで分布する傾向が特徴として示された。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図16にみられるように、学習者の気持ちは2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」に分布している。日本人の場合は、1の「少しうれしい」から3の「とてもうれしい」に分布する傾向になった。これに対し、タイ人の場合は、3の「とてもうれしい」に選択の最も高い山ができていて、0の「特に何も思わない」から2の「うれしい」までの選択も少なくなかった。しかし、この場面では、学習者、日本人、タイ人のいずれも、マイナスの気持ちの選択はなかった。

次に、〈親しい友達〉に対しては、図17にみられるように、学習者は2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」までの選択が高かった。日本人は、1の「少しうれしい」から3の「とてもうれしい」にかけて分布していた。これに対し、タイ人は0の「特に何も思わない」から3の「とてもうれしい」という広い範囲での分布がみられた。学習者、日本人、タイ人ともに、マイナスの申し訳ないという気持ちの選択はなかった。

〈親しくない友達〉に対しては、図18にみられるように、学習者は2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」までの選択が高かった。日本人は、1の「少しうれしい」から2の「うれしい」までの傾向になった。これに対し、タイ人は0の「特に何も思わない」という気持ちが20%を超えた。また、2の「うれしい」と3の「とてもうれしい」というプラスの気持ちにも分布がみられ、2つに割れた。なお、学習者、日本人、タイ人ともにマイナスの気持ちの選択はなかった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図18にみられるように、学習者は2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」に向けた傾向がみられた。日本人は、1の「少しうれしい」から2の「うれしい」にかけての分布であるのに対し、-2の「申し訳ない」の選択も約20%あり、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに割れる傾向がみられた。タイ人は0の「特に何も思わない」に山ができ、もうひとつ2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」にも40%の山ができ、大きく2つの気持ちに割れた。

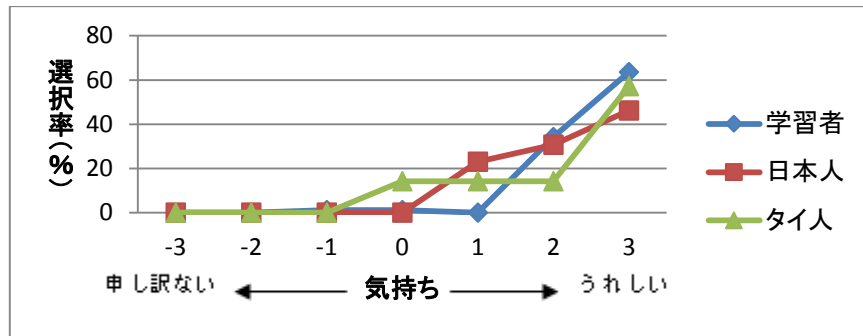


図16 (本場面) 聞き手: 先生

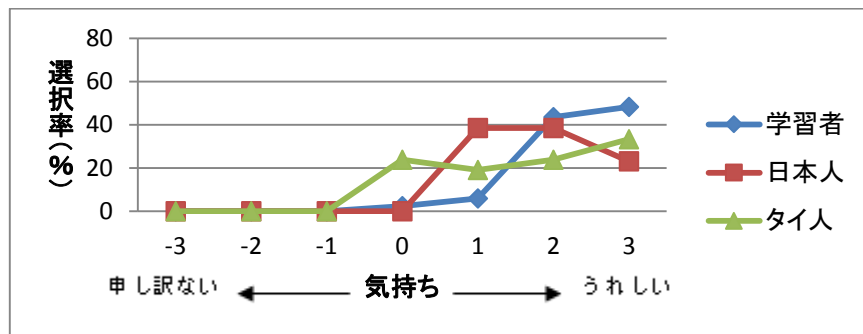


図17 (本場面) 聞き手: 親しい友達

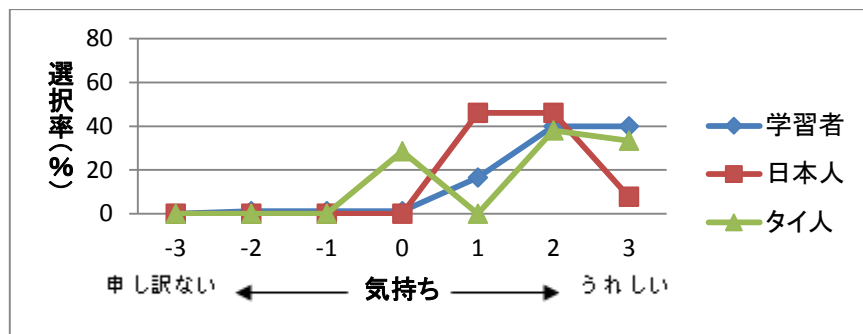


図18 (本場面) 聞き手: 親しくない友達

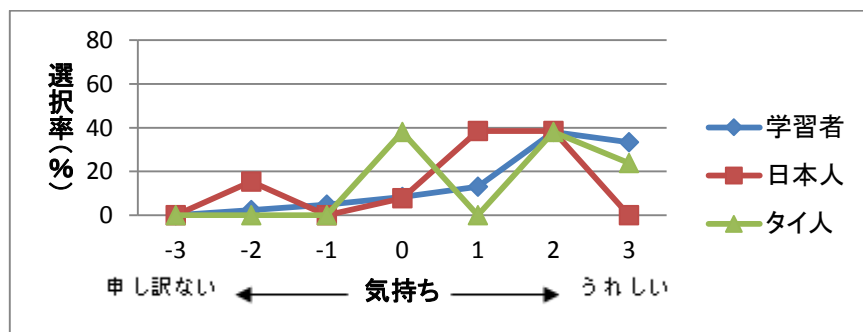


図19 (本場面) 聞き手: 知らない人

以上の結果から、〈本場面〉は「ありがとう」が高い傾向になった。また、気持ちについては、全体的にはプラスの気持ちが強く、「うれしい」から「とてもうれしい」という

気持ちを持つことが分かった。しかし、その一方で、タイ人の場合には 0 の「特に何も思わない」という選択も多い結果となったことから、タイ人がこの場面に対しプラスの気持ちもマイナスの気持ちも持たないがことも明らかになった。

4.5 〈エレベーター場面〉 エレベーターに乗る時、「開」ボタンをAに押しもらった。

〈エレベーター場面〉における表現の選択は、表 9 に示すように、学習者、日本人は聞き手によって変わった。これに対し、タイ人の場合は “ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が高い傾向がみられた。

表 9 〈エレベーター場面〉表現の回答率（%）

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	85	8	7
	日本人	92	0	8
	タイ人	86	0	14
親しくない友達	学習者	76	24	0
	日本人	84	8	8
	タイ人	86	0	14
知らない人	学習者	56	44	0
	日本人	31	62	7
	タイ人	90	0	10
先生	学習者	60	40	0
	日本人	15	77	8
	タイ人	90	10	0

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答を示す。日本人は、「ありがとう」が 92%（13 人中 12 人）、「すみません」が 8%（13 人中 1 人）であった。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 86%（21 人中 18 人）、「その他」が 14%（21 人中 3 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 85%（85 人中 72 人）、「すみません」が 8%（85 人中 7 人）、「その他」が 7%（85 人中 6 人）であった。〈親しい友達〉に対しては、日本人が最も「ありがとう」が多く、続いてタイ人、学習者の順となった。

次に、〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 86%（21 人中 18 人）、「その他」が 14%（21 人中 3 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 84%（13 人中 11 人）、「すみません」が 8%（13 人中 1 人）、「その他」が 8%（13 人中 1 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 76%（85 人中 65 人）、「すみません」が 24%（85 人中 20 人）であった。タイ人は、〈親しい友達〉に対しても〈親しくない友達〉に対しても「ありがとう」の使用が同じ数値であった。

〈知らない人〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 90%（21 人中 19 人）とわずかに上昇し、「その他」が 10%（21 人中 2 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 56%（85 人中 48 人）、「すみません」が 44%（85 人中 37 人）で

あった。日本人は、「すみません」が62%（13人中8人）「ありがとう」が31%（13人中4人）、「その他」が7%（13人中1人）であった。〈知らない人〉に対しても、タイ人は「ありがとう」を使う傾向がみられるが、学習者と日本人は「ありがとう」の使用がそれぞれ56%、31%となり、「すみません」の使用が増えることが示された。

最後に、〈先生〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が90%（21人中19人）、「その他」が10%（21人中2人）であった。学習者は、「ありがとう」が56%（85人中51人）、「すみません」が44%（85人中34人）であった。日本人は、「すみません」が77%（13人中9人）、「その他」が8%（13人中1人）、「ありがとう」が15%（13人中2人）であった。「その他」には、「無言」という回答もあった。この結果から、〈先生〉に対しても、タイ人はやはり「ありがとう」を使用することがわかった。しかし、この場面は、学習者の44%、日本人の77%が「すみません」を選択したことから、〈エレベーター場面〉は「すみません」が使用される場面であることが分かった。

〈エレベーター場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図20、図21、図22、図23に示す。この場面の気持ちは聞き手と対象者によって多様になる傾向であった。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図20にみられるように、日本人は、-1の「少し申し訳ない」からと-2の「申し訳ない」にかけて分布しているのに対し、学習者は-2の「申し訳ない」から3の「とてもうれしい」に分布していた。タイ人の場合は、0の「特に何も思わない」と2の「うれしい」にも山ができて2つに割れた。

次に、〈親しい友達〉に対しては、図21にみられるように、日本人は、1の「少しうれしい」に山ができていたのに対し、学習者は0の「特に何も思わない」と2の「うれしい」に、山ができて2つに割れた。タイ人の場合は0の「特に何も思わない」に最も高い山ができた。

〈親しくない友達〉に対しては図22にみられるように、学習者、タイ人ともに、0の「特に何も思わない」の選択が多かった。これに対し、日本人は、1の「少しうれしい」に山ができた。

最後に、〈知らない人〉に対しては図23にみられるように、学習者とタイ人は0の「特に何も思わない」に選択の山ができていたのに対し、日本人は、-1の「少し申し訳ない」から2の「うれしい」にかけて分布していた。

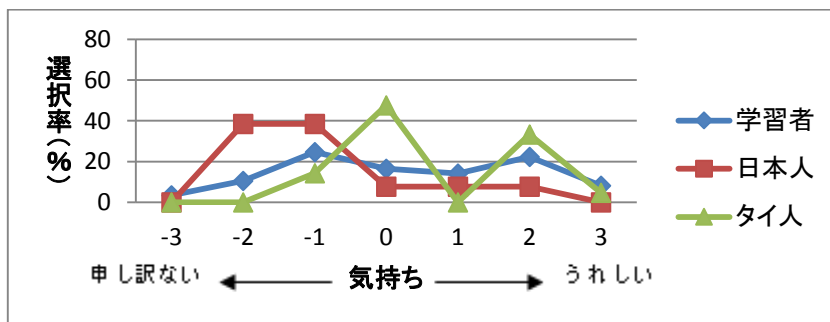


図20 〈エレベーター場面〉 聞き手：先生

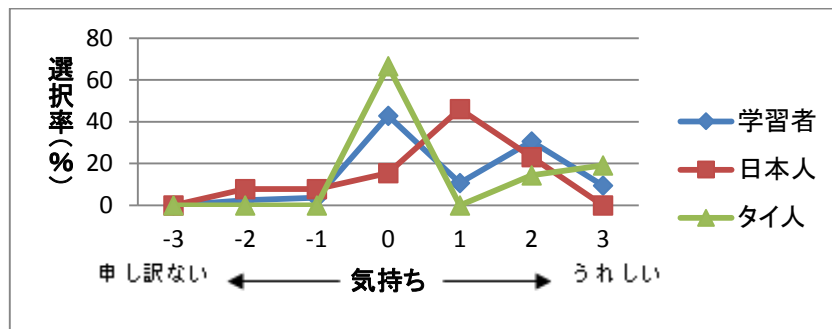


図 21 (エレベーター場面) 聞き手：親しい友達

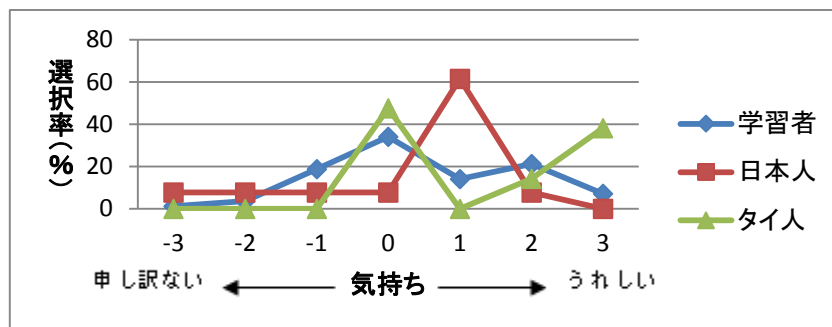


図 22 (エレベーター場面) 聞き手：親しくない友達

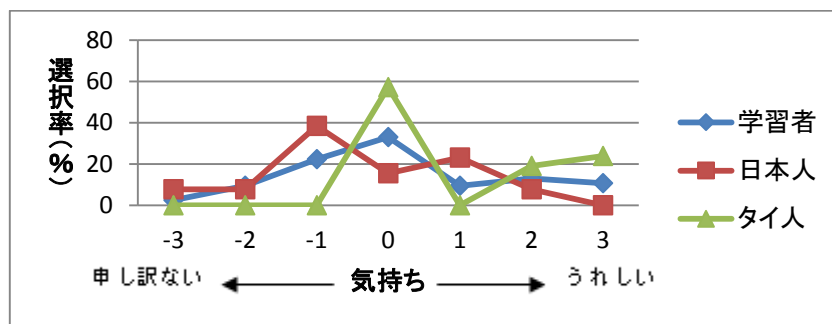


図 23 (エレベーター場面) 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈エレベーター場面〉では、学習者と日本人は聞き手によって表現を使い分けており、相手に対する気持ちも違うことが分かった。特に、日本人の場合、先生に対しては「すみません」が最も高くなり、申し訳ないという気持ちが高かった。しかし、タイ人の場合は、どの聞き手に対しても“ขอบคุณ”[khɔ̌ʔɔbkhun]（ありがとう）が使用され、0「特に何も思わない」という気持ちが高かった。

4.6 〈コーヒー場面〉

ビュッフェスタイルの結婚式の披露宴でAにコーヒーを入れてもらった。

〈コーヒー場面〉における表現の選択は、表 10 に示すように、学習者、日本人は聞き手によって異なっていた。しかし、タイ人の場合は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が高かった。

表 10 〈コーヒー場面〉表現の回答率（％）

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	93	6	1
	日本人	100	0	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者	76	24	0
	日本人	85	15	0
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者	55	45	0
	日本人	62	31	7
	タイ人	95	5	0
先生	学習者	60	40	0
	日本人	54	38	8
	タイ人	100	0	0

まず、〈親しい友達〉に対して、日本人は、「ありがとう」が 100%（13 人中 13 人）であった。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 96%（85 人中 79 人）、「すみません」が 6%（85 人中 5 人）、「その他」が 7%（85 人中 1 人）であった。〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」の使用が日本人、タイ人は 100%、学習者も 96%と高かった。

次に、〈親しくない友達〉に対して、タイ人は“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 85%（13 人中 11 人）、「すみません」が 15%（13 人中 2 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 76%（85 人中 65 人）、「すみません」が 24%（85 人中 20 人）であった。〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は 100%「ありがとう」であるのに対し、日本人、学習者の順に「ありがとう」が減り、「すみません」が増える傾向が示された。

〈知らない人〉に対して、タイ人は“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 95%（21 人中 20 人），“ขอโทษ”[kh0<0thoæd]（すみません）が 5%（21 人中 1 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 62%（13 人中 8 人）、「すみません」が 31%（13 人中 4 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 55%（85 人中 47 人）、「すみません」が 45%（85 人中 38 人）であった。この結果から、〈知らない人〉に対してもタイ人は「ありがとう」が多いが、日本人、学習者は「すみません」の使用が多くなることが示された。

最後に、〈先生〉に対して、タイ人は “ขอบคุณ” [khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 100% (21 人中 21 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 60% (85 人中 51 人)、「すみません」が 40% (85 人中 34 人) であった。日本人は、「すみません」が 46% (13 人中 6 人)「ありがとう」が 46% (13 人中 6 人)、「その他」が 8% (13 人中 1 人) であった。日本人の「その他」の中には、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。この結果から、〈先生〉に対してもタイ人は「ありがとう」を 100% 使用するのに対し、学習者は 60%、日本人は 46%と「ありがとう」の使用が少なくなり、「すみません」の使用が 40%、46%と高くなる傾向がみられた。

〈コーヒー場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図 24、図 25、図 26、図 27 に示す。この場面に対する気持ちは全体的に多様になる傾向がみられた。

まず、〈先生〉に対する気持ちについて、図 24 にみられるように、日本人および学習者の結果は、-1 の「少し申し訳ない」と 2 の「うれしい」に山ができ、2 つに割れた。これに対し、タイ人は 0 の「特に何も思わない」と、2 の「うれしい」から 3 の「とてもうれしい」に山ができ、プラスのうれしい気持ちと 0 の「特に何も思わない」気持ちに分かれる傾向がみられた。

次に、〈親しい友達〉に対しては図 25 にみられるように、学習者が 2 の「うれしい」に山ができ、日本人は 1 の「少しうれしい」に山ができています。これに対し、タイ人は 0 の「特に何も思わない」に山ができ、2 の「うれしい」から 3 の「とてもうれしい」にも分布していた。タイ人は、プラスのうれしい気持ちと 0 の「特に何も思わない」気持ちに分かれる傾向がみられた。

〈親しくない友達〉に対しては、図 26 にみられるように、学習者と日本人は、1 の「少しうれしい」から 2 の「うれしい」に山ができ、-1 の「少し申し訳ない」から -2 の「申し訳ない」にも山ができたことから、学習者と日本人はプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分布する傾向があることが分かった。タイ人は 0 と「特に何も思わない」と 2 の「うれしい」から 3 「とてもうれしい」に分かれる傾向がみられた。

最後に、〈知らない人〉に対しては図 27 にみられるように、学習者は -3 の「とても申し訳ない」から 3 「とてもうれしい」という広い範囲になり、多様になった。日本人は、1 の「少しうれしい」から 2 の「うれしい」と、-1 の「少し申し訳ない」から -2 の「申し訳ない」にも分布し、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分れる傾向がみられた。一方、タイ人は 0 の「特に何も思わない」と 3 の「とてもうれしい」に山ができ、2 つに割れた。

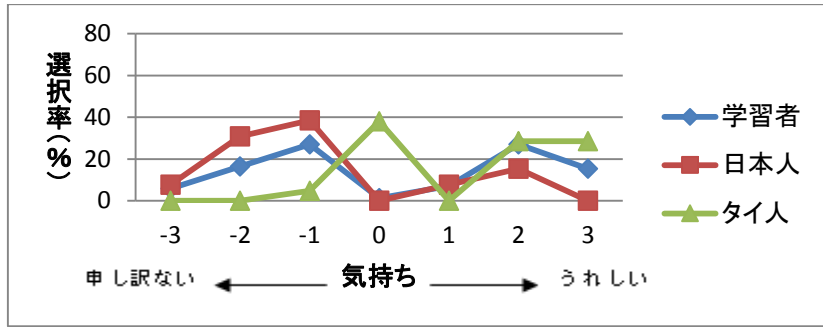


図 24 〈コーヒー場面〉 聞き手：先生

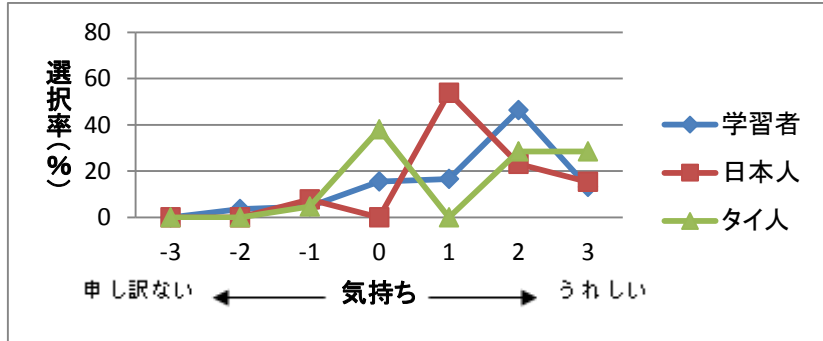


図 25 〈コーヒー場面〉 聞き手：親しい友達

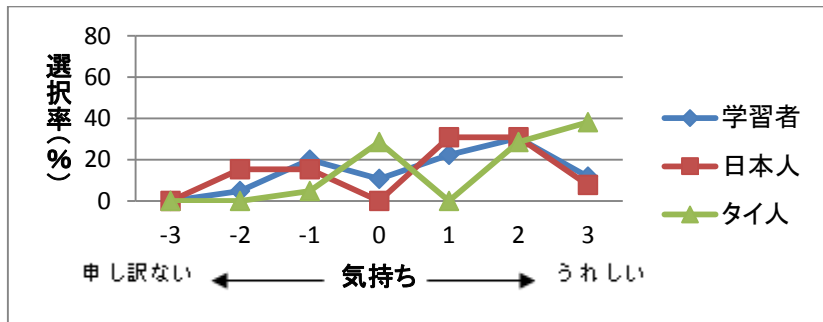


図 26 〈コーヒー場面〉 聞き手：親しくない友達

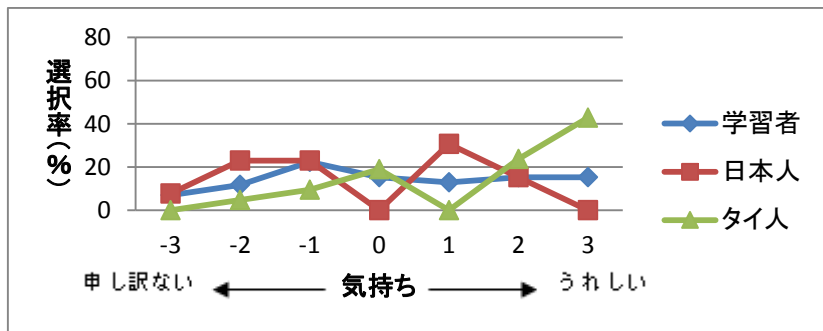


図 27 〈コーヒー場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈コーヒー場面〉では、学習者と日本人は聞き手によって表現が使い分けられるが、タイ人の場合は聞き手に関わらず、“ขอบคุณ”[kh0[]obkhun]（ありがとう）

が使用されることが示された。また、気持ちについて学習者と日本人は多様になったが、日本人には0の「特に何も思わない」はなかった。しかし、タイ人の場合には「特に何も思わない」と「とてもうれしい」という気持ちが高かった。

4.7 〈2 バーツ場面〉

お土産屋でお金を払う時に2 バーツ足りず、Aが自分からお金を出してくれた。

〈2 バーツ場面〉における表現の選択は、表 11 に示すように、学習者、日本人は聞き手によって異なっていた。しかし、タイ人の場合は“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）の使用が高かった。

表 11 〈2 バーツ場面〉表現の回答率（%）

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	81	15	4
	日本人	77	8	15
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者	54	45	0
	日本人	46	38	16
	タイ人	95	0	5
知らない人	学習者	39	60	1
	日本人	38	38	24
	タイ人	86	10	4
先生	学習者	41	58	1
	日本人	7	69	24
	タイ人	90	5	5

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答を示す。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 81%（85 人中 69 人）、「すみません」が 15%（85 人中 13 人）、「その他」が 4%（85 人中 3 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 77%（13 人中 10 人）、「その他」が 15%（13 人中 2 人）、「すみません」が 8%（13 人中 1 人）であった。「その他」には、「ごめん」「後で返すね」があった。〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」の使用が高かった。学習者と日本人の約 20%の人は「すみません」か「その他」を選んでいった。

次に、〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun]（ありがとう）が 90%（21 人中 19 人），“ขอโทษ” [kh0<0thoæd]（すみません）が 5%（21 人中 1 人）、「その他」が 5%（21 人中 1 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 54%（85 人中 46 人）、「すみません」が 46%（85 人中 38 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 46%（13 人中 6 人）、「すみません」が 38%（13 人中 5 人）、「その他」が 15%（13 人中 2 人）であった。「その他」には、「ごめん、ありがとう」「ごめん」「後で返すね」があった。この結果から、〈親しくない友達〉に対してもタイ人は、「ありがとう」を使

うが、学習者も日本人もこの場面では「ありがとう」は使わず、「すみません」「その他」を使う傾向があることが示された。

〈知らない人〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 86%（21 人中 18 人），“ขอโทษ”[khɔ̀ɔ̀thoə̀d]（すみません）が 10%（21 人中 2 人），“その他”が 4%（21 人中 1 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 54%（85 人中 46 人）、「すみません」が 45%（85 人中 38 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 38%（13 人中 5 人）、「すみません」が 38%（13 人中 5 人）、「その他」が 24%（13 人中 3 人）であった。「その他」の中には、「すみません、ありがとうございます」「申し訳ございません」「ごめん。ありがとうございます」といった感謝表現と謝罪表現の組み合わせがあった。この結果から、〈知らない人〉に対しては、「ありがとう」の使用が減り、「すみません」の使用が増えることが分かった。しかし、タイ人は「ありがとう」の使用が高かった。

最後に、〈先生〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）の回答が 90%（21 人中 19 人），“ขอโทษ”[khɔ̀ɔ̀thoə̀d]（すみません）が 5%（21 人中 1 人），“その他”が 5%（21 人中 1 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 35%（85 人中 51 人）、「すみません」が 49%（85 人中 34 人）、「その他」が 1%（85 人中 1 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 7%（13 人中 1 人）、「すみません」が 69%（13 人中 9 人）「その他」が 24%（13 人中 3 人）であった。「その他」には、「申し訳ありません」という謝罪表現、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。この結果から、〈先生〉に対しては、「ありがとう」よりも「すみません」が使用されることが示された。、タイ人は「ありがとう」の使用が高かった。

〈2 バーツ場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図 28、図 29、図 30、図 31 に示す。この場面に対する気持ちは、学習者および日本人の気持ちが多様になったのに対し、タイ人はプラスの気持ち、すなわち「うれしい」と感じることを示された。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図 28 にみられるように、日本人の気持ちは-2 の「申し訳ない」山ができているのに対し、学習者の場合には-1 の「少し申し訳ない」から-3「とても申し訳ない」にかけての分布であった。これに対し、タイ人の場合は 3 の「とてもうれしい」に山ができた。

次に、〈親しい友達〉に対しては図 29 にみられるように、日本人の気持ちは-1 の「少し申し訳ない」に山ができているのに対し、学習者は 2 の「うれしい」と-1 の「少し申し訳ない」の選択が高く、2 つの山が描かれた。しかし、タイ人の場合には 3 の「とてもうれしい」が最も高く、次は 0 の「特何にも思わない」、大きくみると 2 つに割れた。

〈親しくない友達〉については、図 30 にみられるように、日本人の気持ちは-1 の「少し申し訳ない」に山ができているのに対し、学習者はプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分かれる傾向がみられた。これに対し、タイ人は 3 の「とてもうれしい」が最も高かった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図 31 にみられるように、日本人と学習者は、-3 の「とても申し訳ない」に山ができていっているのに対し、タイ人は 3 の「とてもうれしい」に山ができ、最も高かった。

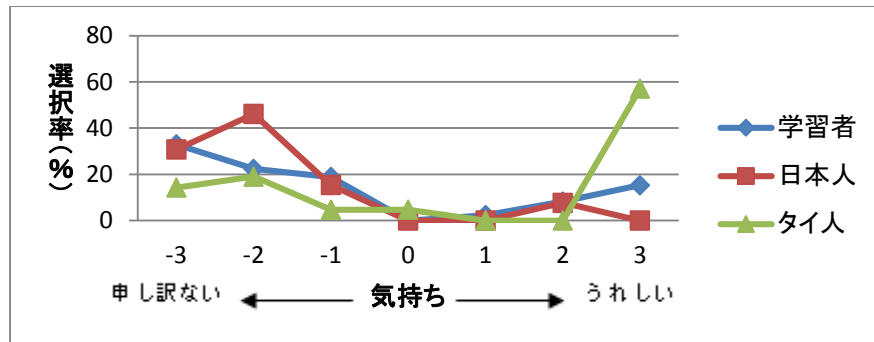


図 28 〈2 バーツ場面〉 聞き手：先生

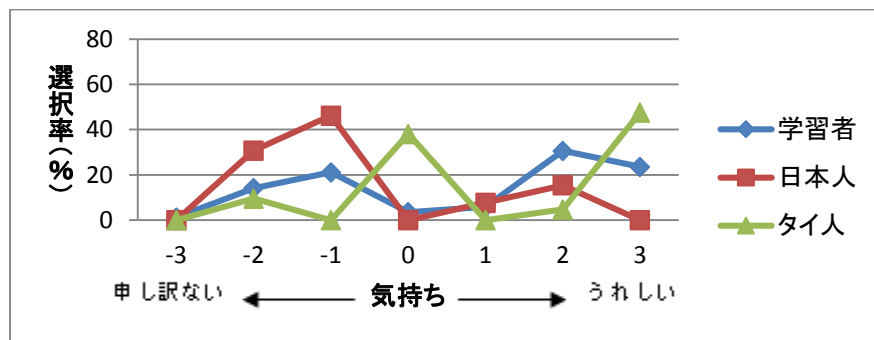


図 29 〈2 バーツ場面〉 聞き手：親しい友達

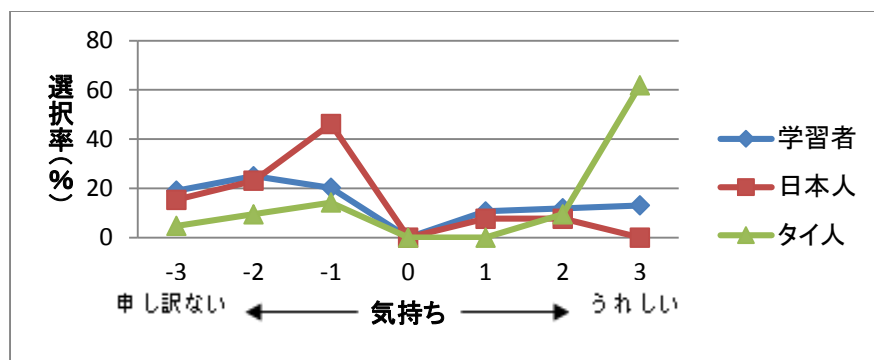


図 30 〈2 バーツ場面〉 聞き手：親しくない友達

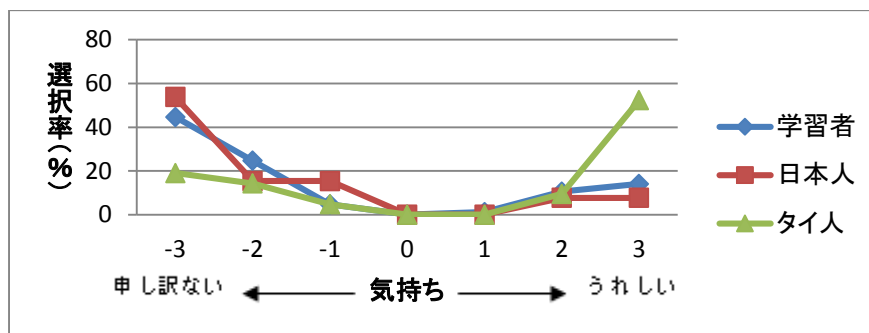


図 31 (2 パーツ場面) 聞き手：知らない人

以上の結果から、(2 パーツ場面)では、学習者および日本人にとって「申し訳ない」と思う気持ちが強くなるため、聞き手によって使い分けられることが分かった。しかし、タイ人の場合は「ありがとう」が高かった。それは、気持ちの違いであり、日本人はマイナスの申し訳ないの気持ちが強いのに対し、タイ人はプラスのうれしい気持ちとして感じることを示された。これに対し、学習者の場合は多様になった。

4.8 (荷物場面) 駅の階段で重い荷物を A に運んでもらった。

(荷物場面)における表現の選択は、表 12 に示すように、学習者、日本人は聞き手によって異なっていた。しかし、タイ人の場合は、“ขอบคุณ”[kh0[]0bkhun] (ありがとう)が高かった。

表 12 (荷物場面) 表現の回答率 (%)

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	86	12	2
	日本人	85	15	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者	53	43	4
	日本人	77	8	15
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者	33	63	4
	日本人	46	23	31
	タイ人	86	14	0
先生	学習者	33	63	4
	日本人	38	31	31
	タイ人	90	10	0

まず、(親しい友達)に対する表現の回答を示す。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0[]0bkhun] (ありがとう)が 100% (21 人中 21 人)であった。学習者は、「ありがとう」が 86% (85 人中 69 人)、「すみません」が 10% (85 人中 13 人)、「その他」が 2% (85 人中 2 人)であった。日本人は、「ありがとう」が 85% (13 人中 11 人)、「すみません」が

15% (13人中2人)であった。(親しい友達)に対してタイ人は、「ありがとう」を100%使用するが、学習者、日本人は「すみません」の使用もみられた。

次に、(親しくない友達)に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう)が100% (21人中21人)であった。日本人は、「ありがとう」が77% (13人中10人)、「すみません」が8% (13人中1人)、「その他」が15% (13人中2人)であった。「その他」には、「ごめん、ありがとう」「すみません、ありがとう」という組み合わせ表現があった。学習者は、「ありがとう」が53% (85人中45人)、「すみません」が43% (85人中37人)、「その他」が4% (85人中3人)であった。この結果から、(親しくない友達)に対してタイ人は「ありがとう」を100%使用するが、日本人は「すみません」や「その他」の使用が20%を越え、学習者の場合には「ありがとう」「すみません」「その他」の割合が半々になった。

(知らない人)に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう)が86% (21人中18人)、“ขอโทษ” [khɔ̀ɔ̀thoə̀d] (すみません)が10% (21人中3人)であった。日本人は、「ありがとう」が46% (13人中6人)、「すみません」が23% (13人中3人)、「その他」が31% (13人中4人)であった。日本人の「その他」の中には、「すみません、ありがとうございます」「申し訳ございません」という組み合わせ表現があった。学習者は、「ありがとう」が28% (85人中46人)、「すみません」が63% (85人中54人)、「その他」が4% (85人中3人)であった。この結果から、(知らない人)に対してタイ人は、「ありがとう」を使用するが、日本人は46%、学習者の場合には28%と「ありがとう」の使用が減ることことが示された。

最後に、(先生)に対する表現の回答について、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう)が90% (21人中19人)、“ขอโทษ” [khɔ̀ɔ̀thoə̀d] (すみません)が10% (21人中2人)であった。日本人は、「ありがとう」が38% (13人中5人)、「すみません」が31% (13人中4人)「その他」が31% (13人中4人)であった。日本人の「その他」には、「ご迷惑をかけました」という謝罪表現、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。学習者は、「ありがとう」が28% (85人中51人)、「すみません」が5% (85人中54人)、「その他」が4% (85人中3人)であった。学習者の「その他」には、「大丈夫です」「ごめんなさい」という表現があった。この結果から、(先生)に対して日本人は「ありがとう」を使わず他の表現を選ぶことが示された。また、学習者も同様の傾向が示された。しかし、タイ人はやはり90%が「ありがとう」であった。

(荷物場面)に対する気持ちについて、聞き手別に図32、図33、図34、図35に示す。この場面に対する気持ちは、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分れる傾向がみられた。

まず、(先生)に対する気持ちである。図32にみられるように、学習者、日本人、タイ人ともにプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分れる傾向がみられたが、タイ人の場合には3の「とてもうれしい」という気持ちが最も高い結果となった。

次に、〈親しい友達〉に対しては図 33 にみられるように、学習者、日本人、タイ人ともに、2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」に分布する傾向が示された。

〈親しくない友達〉に対しては、図 34 にみられるように、学習者、日本人ともにプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分れる傾向がみられた。これに対し、タイ人には3の「とてもうれしい」が最も高かった。「特に何も思わない」という選択はいずれもなかった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図 35 にみられるように、学習者、日本人、タイ人ともにプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分かれ、多様になった。「特に何も思わない」という選択はいずれもなかった。

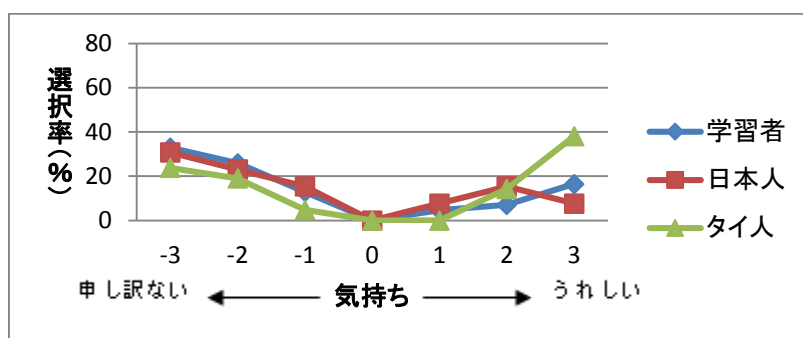


図 32 〈荷物場面〉 聞き手：先生

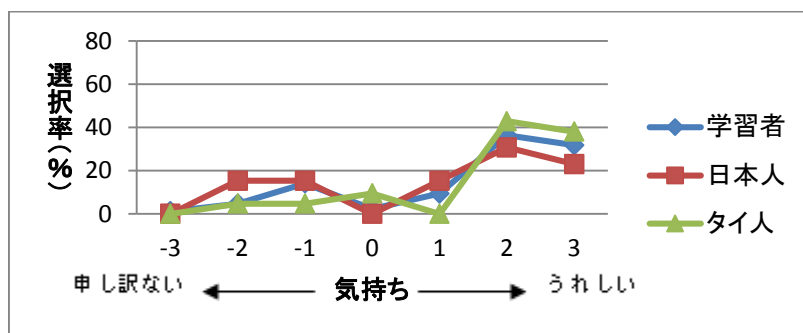


図 33 〈荷物場面〉 聞き手：親しい友達

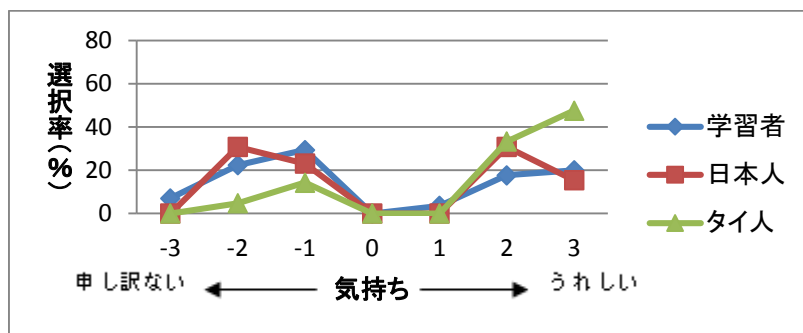


図 34 〈荷物場面〉 聞き手：親しくない友達

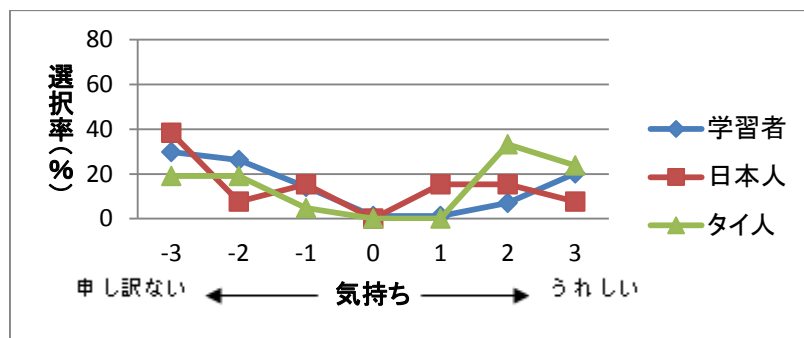


図 35 《荷物場面》 聞き手：知らない人

以上の結果から、《荷物場面》では、学習者および日本人の感謝表現の選択は聞き手によって変わることが示されたが、タイ人の場合には「ありがとう」という気持ちが高いことが示された。気持ちについては、タイ人は全体的にプラスの気持ちに対し、日本人や学習者の場合にはプラスとマイナスの気持ちに分布が割れ、多様になる傾向がみられた。

4.9 《駅場面》電車に乗っていて、次の駅はどこかをAに聞いて教えてもらった。

《駅場面》における表現の選択は、表 13 に示すように、学習者、日本人、タイ人の表現の回答は「ありがとう」が高かった。

表 13 《駅場面》表現の回答率 (%)

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	100	0	0
	日本人	86	7	7
	タイ人	95	0	5
親しくない友達	学習者	91	9	0
	日本人	92	8	0
	タイ人	92	8	0
先生	学習者	96	4	0
	日本人	85	15	0
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者	95	0	5
	日本人	69	23	8
	タイ人	100	0	0

まず、《親しい友達》に対する表現の回答を示す。学習者は、「ありがとう」が 100% (85 人中 85 人) であった。タイ人は、「ขอบคุณ」[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 95% (21 人中 20 人)、「その他」が 5% (85 人中 1 人) であった。日本人は、「ありがとう」が 86% (13 人中 11 人)、「すみません」が 7% (13 人中 1 人)、「その他」が 1% (13 人中 1 人) であった。《親しい友達》に対しては、学習者が「ありがとう」の使用が多かった。続いて、タイ人、日本人の順となった。

次に、〈先生〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が100%（21人中21人）であった。学習者は、「ありがとう」が96%（85人中82人）、「すみません」が4%（85人中3人）であった。日本人は、「ありがとう」が85%（13人中11人）、「すみません」が15%（13人中2人）であった。〈先生〉に対する「ありがとう」は、タイ人、学習者、日本人の順であった。

〈親しくない友達〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が92%（21人中19人），“ขอโทษ”[khɔ̀ɔ̀thoə̀d]（すみません）が8%（21人中2人）であった。日本人は、「ありがとう」が92%（13人中12人）、「すみません」が8%（13人中1人）であった。学習者は、「ありがとう」が95%（85人中46人）、「その他」が5%（85人中8人）であった。〈親しくない友達〉に対する「ありがとう」はタイ人と日本人が同じ92%で、学習者は91%であった。

最後に、〈知らない人〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が100%（21人中21人）であった。学習者は、「ありがとう」が95%（85人中81人）、「その他」が5%（85人中4人）であった。日本人は、「ありがとう」が69%（13人中9人）、「すみません」が23%（13人中3人）、「その他」が8%（13人中1人）であった。〈知らない人〉に対する「ありがとう」の使用傾向は大きく異なり、タイ人と学習者は「ありがとう」を使用するが、日本人は「ありがとう」の使用が69%で、「すみません」や「その他」の使用が増えることが示された。

〈駅場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図36、図37、図38、図39に示す。この場面に対する気持ちは、いずれも0の「特に何も思わない」からプラスの傾向にあり、マイナスの申し訳ない気持ちが低かった。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図36にみられるように、日本人は1の「少しうれしい」から2の「うれしい」まで高かった。これに対し、学習者は2の「うれしい」に山ができた。タイ人は2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」までが高かった。

次に、〈親しい友達〉に対しては、図37にみられるように、日本人、タイ人ともに、0の「特に何も思わない」に山ができていのにに対し、学習者の場面には0の「特に何も思わない」から3「とてもうれしい」にかけて分布した。また、この場面に対しては、学習者、日本人、タイ人ともに申し訳ないというマイナスの気持ちの選択がまったくなかった。

〈親しくない友達〉に対しては、図38にみられるように、学習者は0の「特に何も思わない」から3の「とてもうれしい」に分布する傾向がみられた。日本人には、0の「特に何も思わない」が最も高くなったが、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちというのが広がった。タイ人は2の「うれしい」から3の「とてもうれしい」にかけて高くなかった。しかし、0の「特に何も思わない」という選択も約20%あがった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図39にみられるように、日本人は1の「少しうれしい」に山がでた対し、学習者は-2「申し訳ない」から3の「とてもうれしい」まで分布

する傾向がみられた。タイ人の場合は、2の「うれしい」が最も高く、0の「特に何も思わない」にも約20%の選択があった。

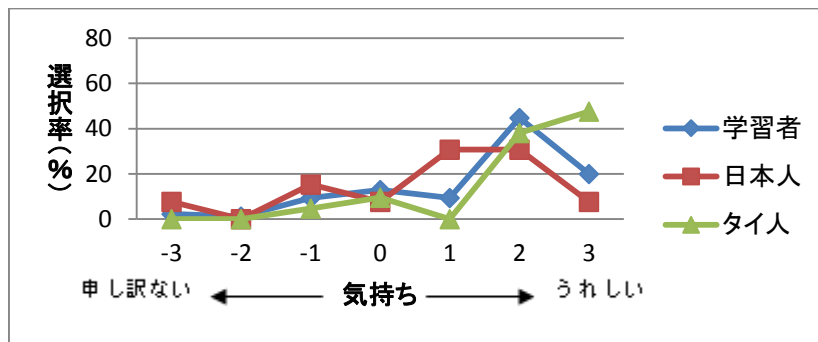


図 36 〈駅場面〉 聞き手：先生

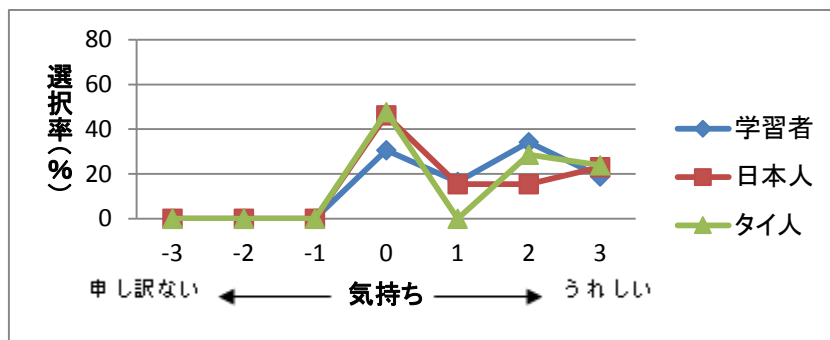


図 37 〈駅場面〉 聞き手：親しい友達

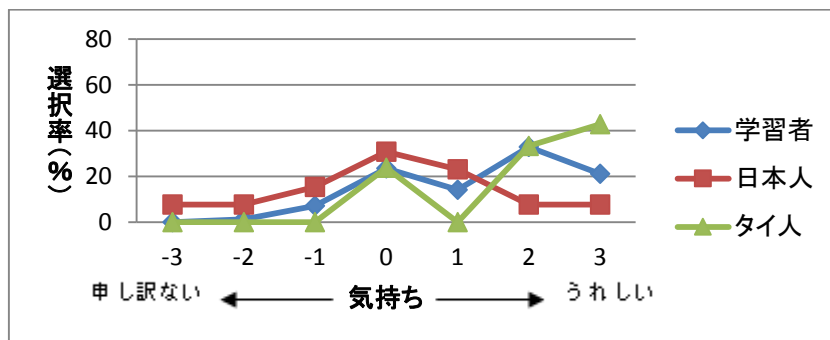


図 38 〈駅場面〉 聞き手：親しくない友達

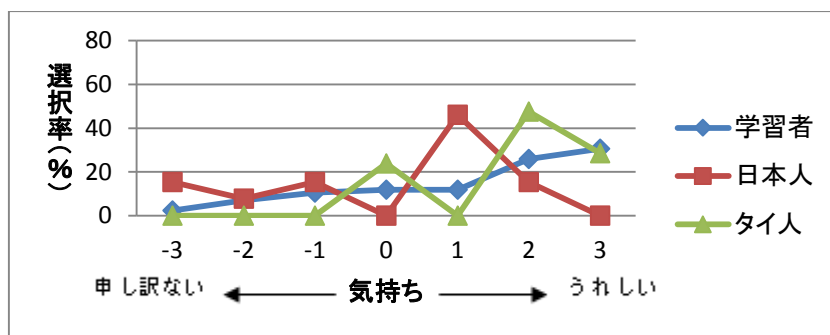


図 39 〈駅場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈駅場面〉では、学習者、日本人、タイ人ともに「ありがとう」が使用される傾向が示された。気持ちについては、学習者、日本人の場合には聞き手によって変わることが分かったが、その気持ちプラスのうれしい気持ちであった。タイ人の場合には、「特に何も思わない」という気持ちとプラスのうれしい気持ちの 2 つに分れることが示された。

4.10 〈郵便場面〉郵便局の場所を聞き、Aに教えてもらった。

〈郵便場面〉における表現の選択は、表 14 に示すように、学習者、日本人、タイ人の表現の回答は「ありがとう」が高かった。以下、結果を「ありがとう」が多い順に聞き手別に示す。

表 14 〈郵便場面〉表現の回答率 (%)
学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	96	2	1
	日本人	100	0	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者 ⁸	85	14	1
	日本人	92	8	0
	タイ人	100	0	0
先生	学習者	87	12	1
	日本人	86	7	7
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者 ⁹	76	22	1
	日本人	70	15	15
	タイ人	100	0	0

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答を示す。日本人およびタイ人は、「ありがとう」が 100% (85 人中 85 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 96% (85 人中 82 人)、「すみません」が 2% (85 人中 2 人)、「その他」が 1% (85 人中 1 人) であった。〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」の使用が高かった。

次に、〈親しくない友達〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 100% (21 人中 21 人) であった。日本人は、「ありがとう」が 92% (13 人中 12 人)、「すみません」が 8% (13 人中 1 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 85% (85 人中 72 人)、「すみません」が 14% (85 人中 12 人)、「その他」が 1% (85 人中 1 人) であった。〈親しくない友達〉に対してもタイ人は、「ありがとう」を使用する結果が示され

⁸ 無回答はエラーとして処理したため、合計数が 100%にならない。

⁹ 無回答はエラーとして処理したため、合計数が 100%にならない。

た。続いて、日本人の「ありがとう」の使用が高かった。日本人よりも学習者の方が「すみません」の使用が高かった。

〈先生〉に対して、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 87%（85 人中 74 人）、「すみません」が 12%（85 人中 10 人）、「その他」が 1%（85 人中 1 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 86%（13 人中 11 人）、「すみません」が 7%（13 人中 1 人）、「その他」が 7%（13 人中 1 人）であった。〈先生〉に対してもタイ人は「ありがとう」を使用することが示された。しかし、学習者と日本人は「すみません」や「その他」の使用が確認された。

最後に、〈知らない人〉に対しても、タイ人は“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 76%（85 人中 65 人）、「すみません」が 22%（85 人中 19 人）、「その他」が 1%（85 人中 1 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 70%（12 人中 9 人）、「すみません」が 15%（13 人中 2 人）、「その他」が 15%（13 人中 2 人）であった。〈知らない人〉に対してもタイ人は、「ありがとう」を 100%使用するが、学習者では 76%、日本人では 70%と、「ありがとう」の使用が減少する傾向が示された。

〈郵便場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図 40、図 41、図 42、図 43 に示す。この場面に対する気持ちは、学習者、日本人、タイ人ともにうれしいというプラスの気持ちを持つ傾向が示された。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図 40 にみられるように、学習者とタイ人は 2 の「うれしい」から 3 の「とてもうれしい」までの選択が高かった。日本人は 1 の「少しうれしい」から 2 の「うれしい」までが高かった。その一方で、-3 の「とても申し訳ない」から 0 の「特に何も思わない」の選択も 8%ずつであるがあった。

次に、〈親しい友達〉に対しては、図 41 にみられるように、学習者は、2 の「うれしい」の選択に山がでた。日本人は-1 の「少し申し訳ない」から 3 の「とてもうれしい」に向かってゆるかに多くなる傾向がみられた。タイ人は 0 の「特に何も思わない」と 2 の「うれしい」の 2 つに割れた。

〈親しくない友達〉については、図 42 にみられるように、学習者とタイ人は 2 の「うれしい」が最も高かった。また、タイ人は 0 の「特に何も思わない」も約 20%あがった。これに対し、日本人は 1 の「少しうれしい」が高く、次が 2 の「うれしい」であった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図 43 にみられるように、学習者とタイ人は 2 の「うれしい」と 3 の「とてもうれしい」が高かった。これに対し、日本人は 1 の「少しうれしい」と 2 の「うれしい」の選択率が高かった。学習者やタイ人のうれしさの程度と比較すると、日本人の方がうれしさの程度が弱いという結果が得られた。

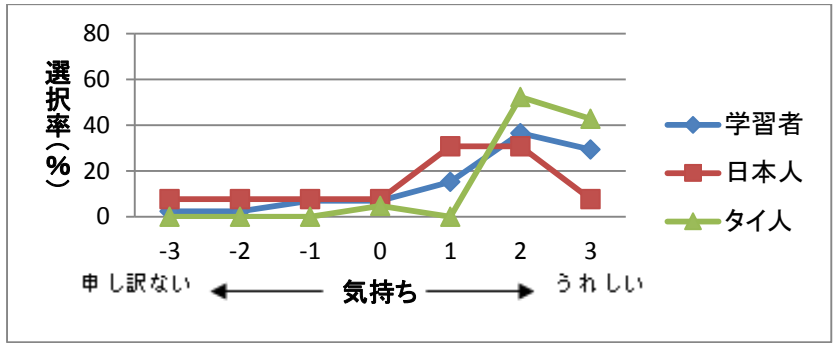


図 40 〈郵便場面〉 聞き手：先生

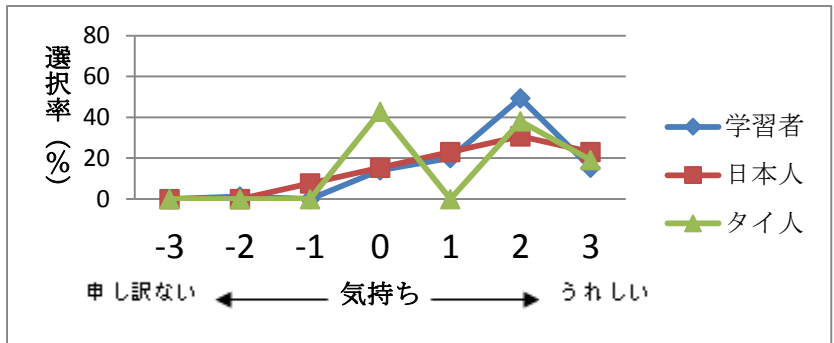


図 41 〈郵便場面〉 聞き手：親しい友達

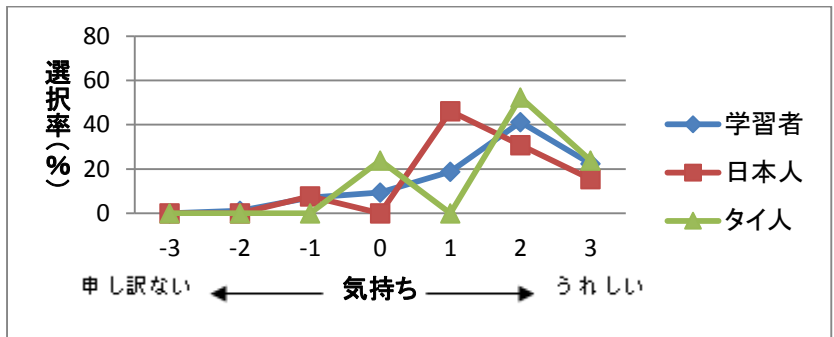


図 42 〈郵便場面〉 聞き手：親しくない友達

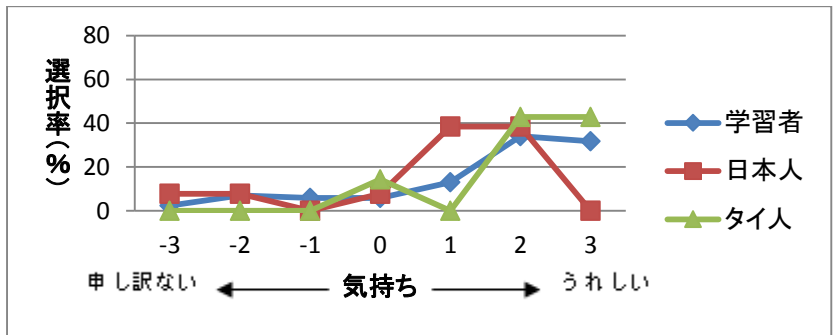


図 43 〈郵便場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈郵便場面〉では、学習者、日本人、タイ人ともに「ありがとう」を使用する傾向があり、気持ちもうれしいというプラスの気持ちを感じる傾向がみられた。

4.11 〈ペン場面〉 Aにペンを貸してもらった。

〈ペン場面〉における表現の選択は、表 15 に示すように、タイ人をのぞいて、学習者と日本人の回答は聞き手との関係によって異なることが示された。

表 15 〈ペン場面〉表現の回答率 (%)

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	95	5	0
	日本人	100	0	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者	75	25	0
	日本人	92	0	8
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者	61	39	0
	日本人	69	23	8
	タイ人	95	5	0
先生	学習者	60	40	0
	日本人	77	15	8
	タイ人	100	0	0

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答を示す。日本人およびタイ人は、「ありがとう」が 100% (85 人中 85 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 95% (85 人中 81 人)、「すみません」が 5% (85 人中 4 人) であった。〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」が多かった。

次に、〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 100% (21 人中 21 人) であった。日本人は、「ありがとう」が 92% (13 人中 12 人)、「すみません」が 8% (13 人中 1 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 75% (85 人中 64 人)、「すみません」が 25% (85 人中 21 人) であった。〈親しくない友達〉に対する「ありがとう」の使用は、タイ人は 100%だが、学習者の「ありがとう」の選択は 75%と日本人よりも少ないことが示された。

〈先生〉に対する表現の回答について、タイ人は“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 100% (21 人中 21 人) であった。しかし、日本人は、「ありがとう」が 77% (13 人中 10 人)、「すみません」が 15% (13 人中 2 人)、「その他」が 8% (13 人中 1 人) であった。学習者に至っては、「ありがとう」が 60% (85 人中 51 人)、「すみません」が 40% (85 人中 34 人) であった。この結果から、〈先生〉に対する「ありがとう」の使用は、タイ人は 100%であるが、日本人、学習者は「ありがとう」の使用が低くなることが示された。

最後に、〈知らない人〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が95%（21人中20人）、“ขอโทษ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀thoə̀d]（すみません）が5%（21人中20人）であった。日本人は、「ありがとう」が69%（13人中9人）、「すみません」が23%（13人中3人）、「すみません」が8%（13人中1人）であった。学習者は、「ありがとう」が61%（85人中52人）、「すみません」が39%（85人中33人）であった。〈知らない人〉に対する「ありがとう」の使用は、タイ人は95%であったが、日本人も学習者もいずれも60%台と、その使用が少なくなることが示された。

〈ペン場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図44、図45、図46、図47に示す。この場面に対する気持ちは、学習者、日本人、タイ人ともに、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちのどちらにも分布していた。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図44にみられるように、日本人は-1の「少し申し訳ない」に最も高い山ができています。これに対し、学習者とタイ人の気持ちはプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちの2つの傾向に割れた。

次に、〈親しい友達〉に対しては図45にみられるように、日本人は-3の「とても申し訳ない」から3の「とてもうれしい」に分散し、多様であった。これに対し、学習者は2の「うれしい」に最も高い山がでた。タイ人の場合は、0の「特に何も思わない」と3の「とてもうれしい」に2つの山に割れた。

〈親しくない友達〉については、図46にみられるように、学習者、日本人、タイ人ともに、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分かれる傾向がみられた。タイ人の場合は3の「とてもうれしい」が最も高く、学習者の場合は2の「うれしい」が最も高かった。これに対し、日本人の場合は-1の「少し申し訳ない」というマイナスの気持ちを選択する人が最も多かった。

最後に、〈知らない人〉については、図47にみられるように、日本人は-1の「少し申し訳ない」に山ができたのに対し、学習者はプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分かれる傾向がみられた。タイ人の場合は、2の「うれしい」と3の「とてもうれしい」が高かったが、-2の「申し訳ない」も約20%あった。

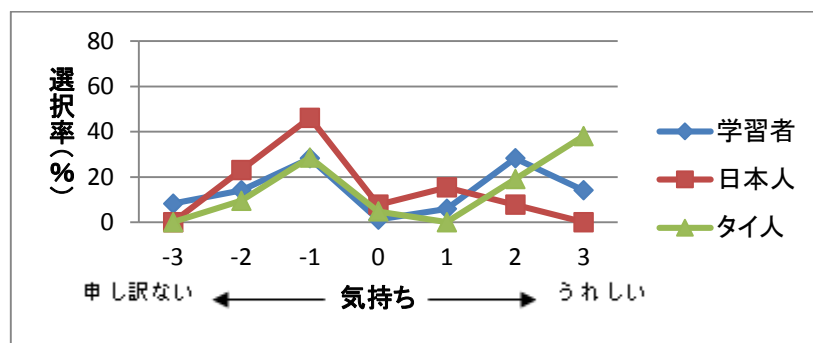


図44 〈ペン場面〉 聞き手：先生

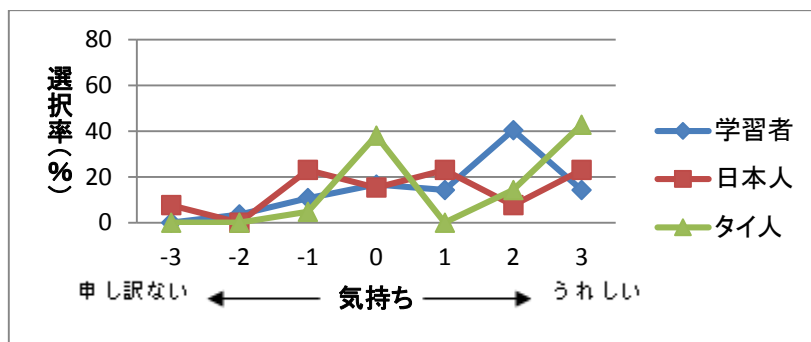


図 45 〈ペン場面〉 聞き手：親しい友達

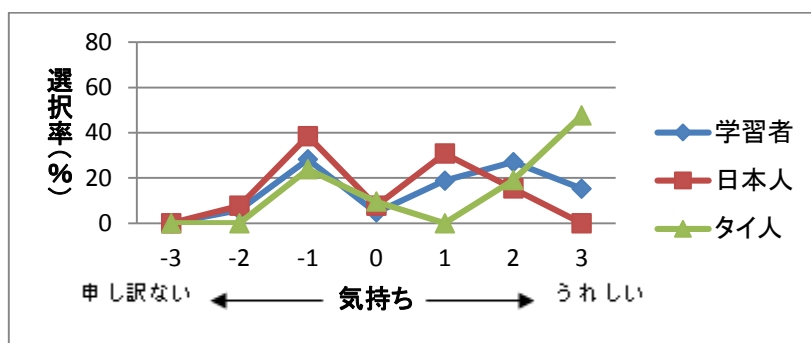


図 46 〈ペン場面〉 聞き手：親しくない友達

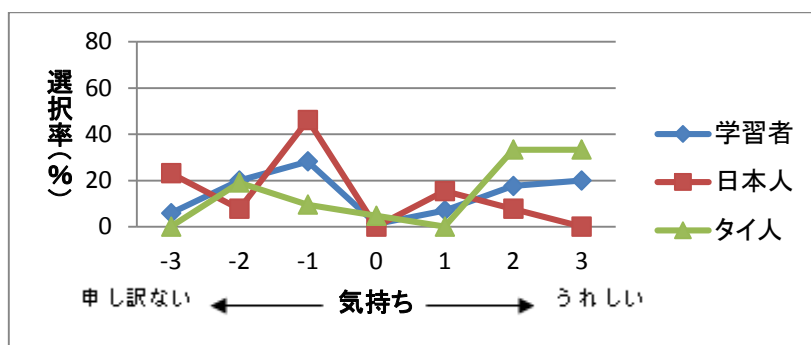


図 47 〈ペン場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈ペン場面〉では、学習者と日本人は聞き手によって「すみません」の使用が増えるが、タイ人の場合にはどの聞き手に対しても“ขอบคุณ”[kh0[]obkhun]（ありがとう）が使用されていた。この場面に対する気持ちは、多様になる傾向があった。親しければ、うれしいというプラスの気持ちを感じるが、先生や親しくない場合には、気持ちがプラスを感じる人もいれば、マイナスを感じる人もいることが分かった。

4.12 〈ソース場面〉

一緒に食事をしている時、ソースを取ってくれるように A に頼んで取ってもらった。

〈ソース場面〉における表現の選択は、表 16 に示すように、学習者と日本人の場合には、聞き手によって使い分けられる傾向が示されたが、タイ人の場合にはいずれの聞き手に対しても“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が選択されていた。

表 16 〈ソース場面〉表現の回答率（%）

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	92	8	0
	日本人	100	0	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者	68	32	0
	日本人	85	15	0
	タイ人	100	0	0
先生	学習者	52	48	0
	日本人	62	31	7
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者	38	62	0
	日本人	38	38	24
	タイ人	100	0	0

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答を示す。日本人およびタイ人は、「ありがとう」が 100%（85 人中 85 人）であった。学習者も、「ありがとう」が 92%（85 人中 78 人）、「すみません」が 8%（85 人中 7 人）であった。この結果から、〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」の使用が高いことが示された。

次に、〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。日本人は、やや少なくなり、「ありがとう」が 85%（13 人中 11 人）、「すみません」が 15%（13 人中 2 人）であった。しかし、学習者の場合には、さらに「ありがとう」が少なくなり 68%（85 人中 58 人）で、「すみません」が 32%（85 人中 27 人）であった。〈親しくない友達〉に対して学習者は、「ありがとう」の使用が日本人以上に減少する傾向が示された。

〈先生〉に対しては、タイ人は“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 62%（13 人中 8 人）、「すみません」が 31%（13 人中 4 人）、「その他」が 7%（13 人中 1 人）であった。学習者の場合は、さらに少なくなり、「ありがとう」が 52%（85 人中 44 人）、「すみません」が 48%（85 人中 41 人）であった。〈先生〉に対しては、学習者と日本人の場合には「すみません」の使用が増え、「ありがとう」の使用が減る結果となった。一方、タイ人は「ありがとう」の使用が 100%であった。

最後に、〈知らない人〉に対する表現の回答について、タイ人は“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 100% (21 人中 21 人) であった。しかし、日本人は、「ありがとう」が 38% (13 人中 5 人)、「すみません」が 38% (13 人中 5 人)、「その他」が 24% (13 人中 3 人) であった。日本人の「その他」には、「恐れ入ります」という謝罪表現、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。学習者も、「ありがとう」が 38% (85 人中 32 人) だったが、「すみません」は 62% (85 人中 53 人) であった。〈知らない人〉に対して学習者は、「ありがとう」ではなく「すみません」を使うと考えていることが示された。日本人も「ありがとう」の使用は減るが、学習者と異なるのは、必ずしも「すみません」ではなく「その他」の表現の使用が増えるという点であった。

〈ソース場面〉に対するについて、聞き手別に図 48、図 49、図 50、図 51 に示す。この場面に対する気持ちは、分散する傾向がみられた。しかし、タイ人の場合には 0 の「特に何も思わない」と 3 の「とてもうれしい」が高い傾向がみられた。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図 48 にみられるように、学習者は-1 の「少し申し訳ない」に最も高い山がでたのに対し、日本人とタイ人はプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分かれる傾向がみられた。

次に、〈親しい友達〉に対しては図 49 にみられるように、学習者とタイ人は 0 の「特に何も思わない」に最も高い山ができた。また、タイ人の場合には 3 の「とてもうれしい」も高かった。学習者の場合は 1 の「少しうれしい」から 2 の「うれしい」が約 20%であった。これに対し、日本人の場合は-1 の「少し申し訳ない」から 3 の「とてもうれしい」までの分散傾向がみられた。

〈親しくない友達〉については、図 50 にみられるように、学習者と日本人は-2 の「申し訳ない」から 3 の「とてもうれしい」の間で分布傾向がみられた。これに対し、タイ人の場合は 0 の「特に何も思わない」、2 の「うれしい」、3 の「とてもうれしい」が高かった。

最後に、〈知らない人〉については、図 51 にみられるように、学習者と日本人は-1 の「少し申し訳ない」に山ができ、1 の「少しうれしい」にも山ができた。つまり、うれしいというプラスの気持ちと申し訳ないというマイナスの気持ちに分かれる傾向がみられた。これに対し、タイ人の場合は 0 の「特に何も思わない」、2 の「うれしい」、3 の「とてもうれしい」が高かった。

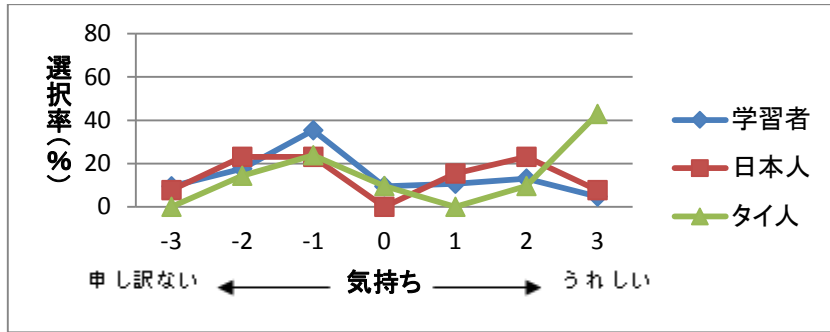


図 48 〈ソース場面〉 聞き手：先生

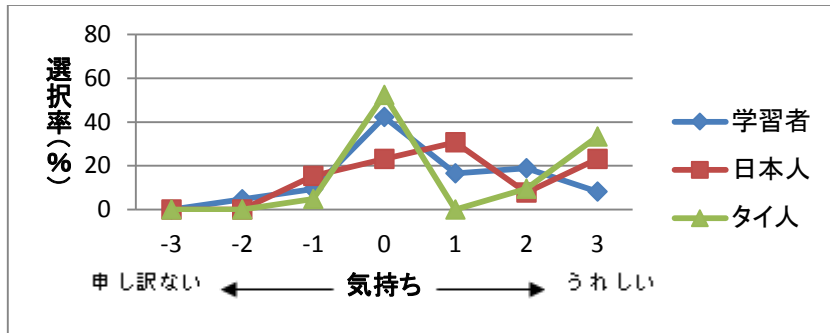


図 49 〈ソース場面〉 聞き手：親しい友達

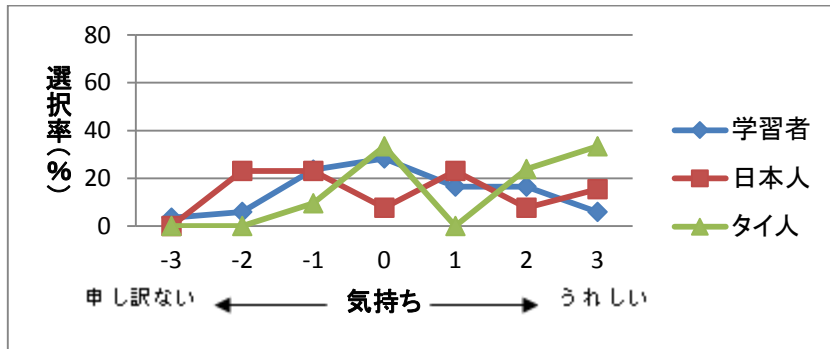


図 50 〈ソース場面〉 聞き手：親しくない友達

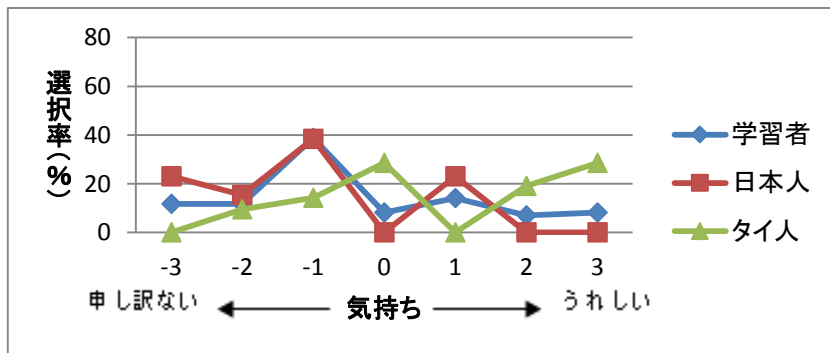


図 51 〈ソース場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、この場面では、友達に対しては親しいか否かにかかわらず「ありがとう」が使用される傾向がみられたが、知らない人に対しては、学習者と日本人は「すみません」を使用する傾向が示された。気持ちについては、学習者と日本人はうれしいというプラスの気持ちと申し訳ないというマイナスの気持ちに分かれることが分かった。これに対し、タイ人の場合は「特に何も思わない」という気持ちと「うれしい」という気持ちに分かれることが分かった。

4.13 〈写真場面〉

旅行している時、写真を撮ってくれるようにAに頼んで撮ってもらった。

〈写真場面〉における表現の選択は、表 17 に示すように、タイ人はいずれの聞き手に対しても 100%「ありがとう」であった。しかし、学習者と日本人の場合には聞き手によって使い分けられることが示された。

表 17 〈写真場面〉表現の回答率 (%)

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	93	7	0
	日本人	100	0	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者	75	25	0
	日本人	92	8	0
	タイ人	100	0	0
先生	学習者	71	29	0
	日本人	77	16	7
	タイ人	100	0	0
知らない人	学習者	56	44	0
	日本人	69	23	8
	タイ人	100	0	0

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答を示す。日本人およびタイ人は、「ありがとう」が 100% (85 人中 85 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 93% (85 人中 79 人)、「すみません」が 7% (85 人中 6 人) であった。〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」の使用が高く、90%以上であった。

次に、〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun] (ありがとう) が 100% (21 人中 21 人) であった。日本人は、「ありがとう」が 92% (13 人中 12 人)、「すみません」が 8% (13 人中 1 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 75% (85 人中 64 人)、「すみません」が 25% (85 人中 21 人) であった。〈親しくない友達〉に対してタイ人は「ありがとう」を使用するが、日本人、学習者の順に「ありがとう」の使用が減ることが示された。

〈先生〉に対しては、タイ人は“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であった。しかし、日本人は、「ありがとう」が 77%（13 人中 10 人）、「すみません」が 15%（13 人中 2 人）、「その他」が 8%（13 人中 1 人）であった。学習者は、「ありがとう」が 71%（85 人中 60 人）、「すみません」が 29%（85 人中 25 人）であった。〈先生〉に対してタイ人は「ありがとう」を使用するが、日本人、学習者の順に「ありがとう」の使用が減り、「すみません」が増える結果となった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 100%（21 人中 21 人）であったが、日本人は、「ありがとう」が 69%（13 人中 9 人）、「すみません」が 23%（13 人中 3 人）、「その他」が 8%（13 人中 1 人）であった。さらに、学習者は、「ありがとう」が 56%（85 人中 48 人）、「すみません」が 44%（85 人中 37 人）で、〈知らない人〉に対しては、日本人および学習者は「ありがとう」の使用が減る結果となった。一方、タイ人は、「ありがとう」の使用がこの場面でも 100%であった。

〈写真場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図 52、図 53、図 54、図 55 に示す。この場面に対する気持ちは、タイ人はプラスのうれしい気持ちの方に寄っているが、日本人と学習者の場合は分散する結果となった。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図 52 にみられるように、学習者と日本人は「うれしい」というプラスの気持ちと「申し訳ない」というマイナスの気持ちに分散する傾向がみられた。しかし、タイ人の場合には 3 の「とてもうれしい」という回答が最も高かった。

次に、〈親しい友達〉に対しては図 53 にみられるように、学習者とタイ人は 0 の「特に何も思わない」に山ができたのに対し、日本人の場合は-1 の「少し申し訳ない」と 1 の「少しうれしい」の選択が高かった。

〈親しくない友達〉については、図 54 にみられるように、学習者と日本人プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分布する傾向であり、日本人には-1 の「少しうれしい」の選択率に山がでた。タイ人の場合は 2 の「うれしい」から 3 の「とてもうれしい」までが高く、2 の「うれしい」という気持ちの選択が最も高かった。

最後に、〈知らない人〉については、図 55 にみられるように、日本人は-1 の「少し申し訳ない」に最も高い山ができていて、1 の「少しうれしい」と 2 の「うれしい」の選択も 20%を超えていた。また学習者は、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちまで分散する傾向がみられた。これに対し、タイ人の場合は、2 の「うれしい」が最も多く次が 3 の「とてもうれしい」であった。

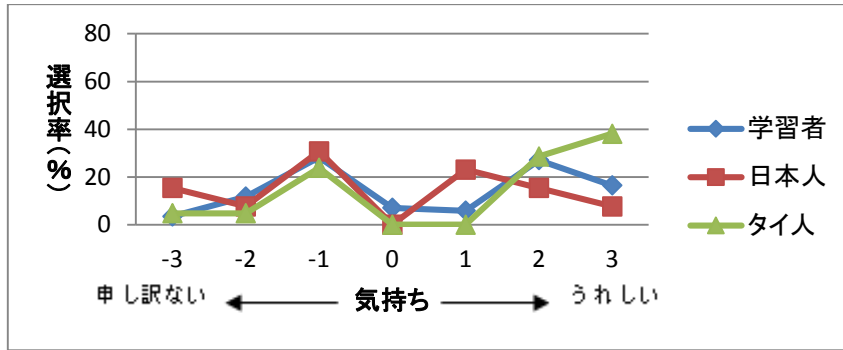


図 52 〈写真場面〉 聞き手：先生

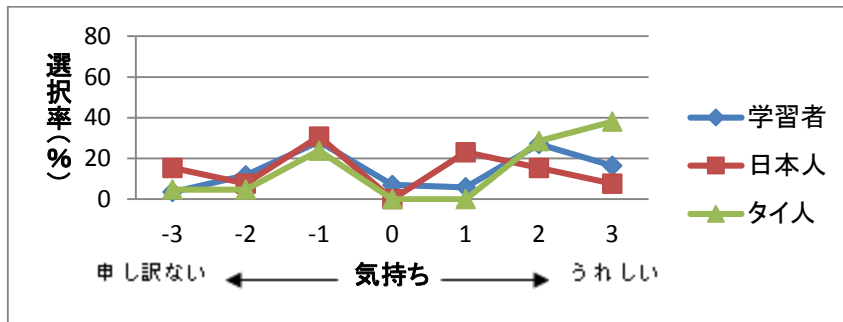


図 53 〈写真場面〉 聞き手：親しい友達

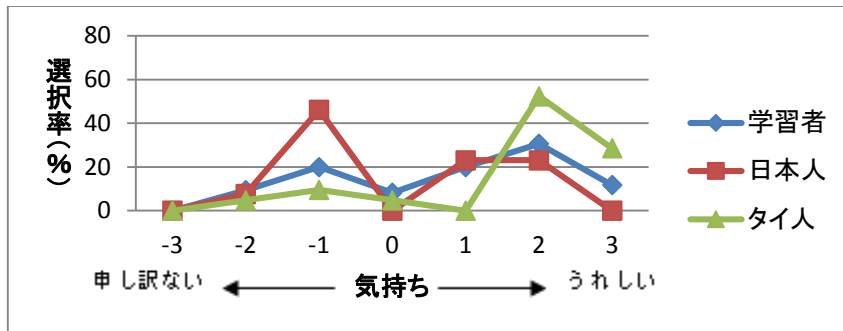


図 54 〈写真場面〉 聞き手：親しくない友達

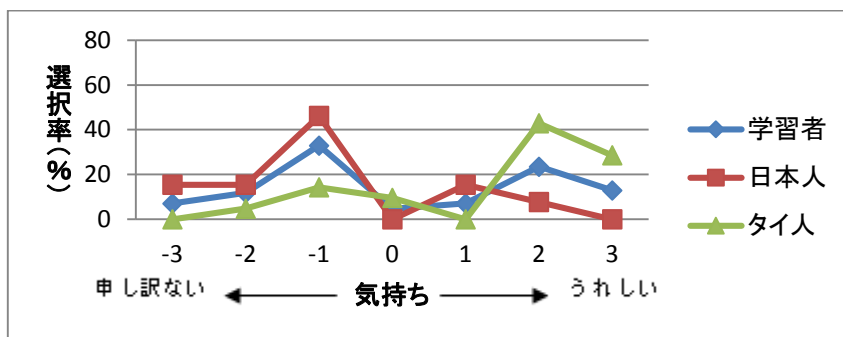


図 55 〈写真場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈写真場面〉の全体的な結果は、学習者、日本人、タイ人ともに「ありがとう」の選択が高いが、学習者と日本人の場合には聞き手によって表現が変わり、先

生と知らない人に対しては「すみません」の使用が増えた気持ちについて、学習者、日本人、タイ人は、プラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分布する傾向がみられた。

4.14 〈車場面〉 車のバッテリーがあがってしまったので、A に頼んで、近くのガソリンスタンドまで車を一緒に押してもらった。

〈写真場面〉における表現の選択は、表 18 に示すように、学習者と日本人は聞き手によって使い分けがみられた。しかし、タイ人はいずれの聞き手に対しても「ありがとう」が使用される結果となった。

表 18 〈車場面〉表現の回答率 (%)

学習者 n=85、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
親しい友達	学習者	73	25	2
	日本人	85	15	0
	タイ人	100	0	0
親しくない友達	学習者	58	41	1
	日本人	77	15	8
	タイ人	95	5	0
知らない人	学習者	42	56	1
	日本人	38	31	31
	タイ人	90	10	0
先生	学習者	38	61	1
	日本人	54	31	15
	タイ人	90	10	

まず、〈親しい友達〉に対する表現の回答を示す。タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun] (ありがとう) が 100% (21 人中 21 人) であった。日本人は、「ありがとう」が 85% (13 人中 11 人)、「すみません」が 8% (15 人中 2 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 73% (85 人中 62 人)、「すみません」が 25% (85 人中 21 人)、「その他」が 2% (85 人中 2 人) であった。この結果から、〈親しい友達〉に対しては、「ありがとう」の使用が高いことが示された。

次に、〈親しくない友達〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[kh0□0bkhun] (ありがとう) が 95% (21 人中 20 人)、“ขอโทษ” [kh0<0thoæd] (すみません) が 5% (21 人中 1 人) であった。日本人は、「ありがとう」が 77% (13 人中 10 人)、「すみません」が 15% (13 人中 2 人)、「その他」が 8% (85 人中 1 人) であった。学習者は、「ありがとう」が 58% (85 人中 64 人)、「すみません」が 41% (85 人中 21 人)、「その他」が 1% (85 人中 1 人) であった。〈親しくない友達〉に対して、タイ人は「ありがとう」を使用するが、学習者は日本人以上に「すみません」を使用する傾向があることが分かった。

〈知らない人〉に対しては、タイ人は“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 90%（21 人中 19 人）、“ขอโทษ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀thoə̀d]（すみません）が 10%（21 人中 2 人）であった。日本人は、「ありがとう」が 38%（13 人中 5 人）、「すみません」が 31%（13 人中 4 人）、「その他」が 31%（13 人中 4 人）であった。日本人の「その他」には、「すみません、ありがとうございます」「どうもありがとうございます。お手数をおかけし、申し訳ありませんでした」という組み合わせ表現があった。また、学習者も、「ありがとう」が 43%（85 人中 36 人）であったのに対し、「すみません」が 56%（85 人中 48 人）と「ありがとう」より多く、「その他」が 1%（85 人中 1 人）であった。この場面では、〈知らない人〉に対して、タイ人は「ありがとう」を使用するが、日本人の場合には「ありがとう」が 38%で、「すみません」と「その他」で 60%を超えた。一方、学習者の場合にも「ありがとう」の使用は減少したが、日本人とは異なり、「すみません」の使用が半数を超える結果となった。

最後に、〈先生〉に対しては、タイ人は、“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が 90%（21 人中 19 人）、“ขอโทษ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀thoə̀d]（すみません）が 10%（21 人中 2 人）であった。これに対し、日本人は、「ありがとう」が 51%（13 人中 7 人）、「すみません」が 31%（13 人中 4 人）、「その他」が 15%（13 人中 2 人）であった。日本人の「その他」には、そもそも「頼まない」という意見もあった。また、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現があった。学習者の場合には、さらに「ありがとう」の使用が減り、38%（85 人中 32 人）、「すみません」が増え 61%（85 人中 52 人）、「その他」が 1%（85 人中 1 人）であった。この結果から、〈先生〉に対してタイ人は、「ありがとう」を使用するが、日本人、学習者は「ありがとう」をあまり使用しない傾向があることが示された。

〈車場面〉に対する気持ちについて、聞き手別に図 56、図 57、図 58、図 59 に示す。この場面に対する気持ちは、学習者、日本人ともに「申し訳ない」というマイナスの気持ちが強く感じられる傾向が示された。一方、タイ人の場合には「うれしい」というプラスの気持ちをより感じる傾向が示された。

まず、〈先生〉に対する気持ちである。図 56 にみられるように、学習者と日本人は-3 の「とても申し訳ない」という選択が最も多かった。これに対し、タイ人の場合には 3 の「とてもうれしい」が最も高かった。その一方で、-3 の「とても申し訳ない」という選択も約 20%であった。

次に、〈親しい友達〉に対しては、図 57 にみられるように、学習者、日本人はプラスのうれしい気持ちとマイナスの申し訳ない気持ちに分かれる傾向がみられた。これに対し、タイ人には 3 の「とてもうれしい」が最も高く、約 80%であった。

〈親しくない友達〉に対しては、図 58 にみられるように、学習者は「うれしい」というプラスの気持ちと「申し訳ない」というマイナスの気持ちに分かれる傾向がみられた。日本人は-1 の「少し申し訳ない」から-3 の「とても申し訳ない」までのマイナスの気持ちを

表す選択が高かった。タイ人は3の「とてもうれしい」が最も高かったが、-1の「少し申し訳ない」も約20%であった。

最後に、〈知らない人〉に対しては、図59にみられるように、タイ人、学習者、日本人ともにには-3の「とても申し訳ない」と、3の「とてもうれしい」の両極に割れる傾向が示された。

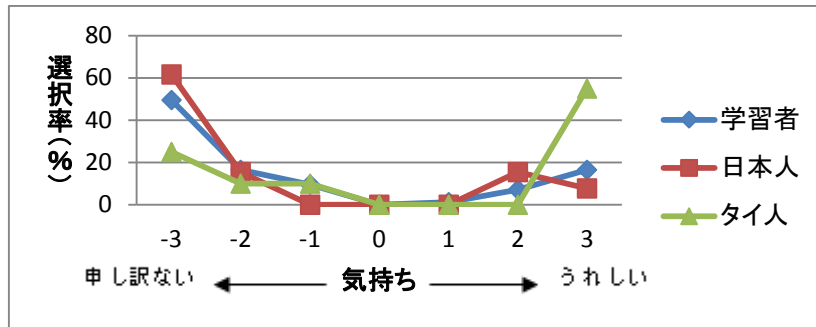


図56 〈車場面〉 聞き手：先生

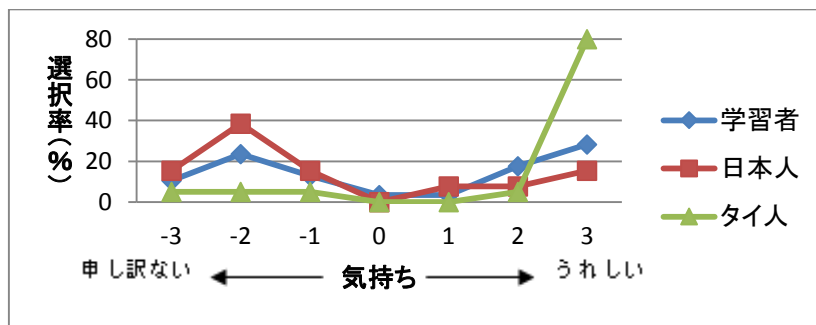


図57 〈車場面〉 聞き手：親しい友達

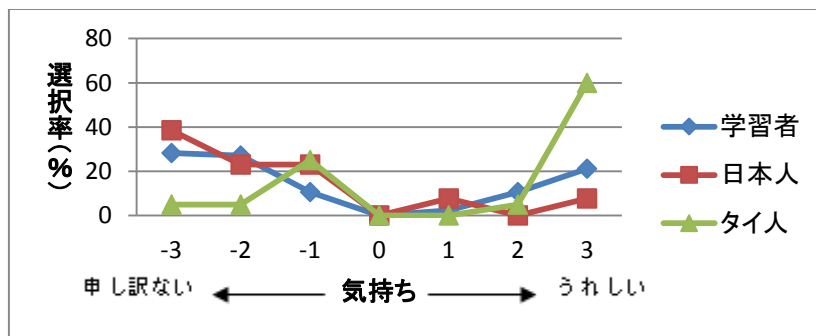


図58 〈車場面〉 聞き手：親しくない友達

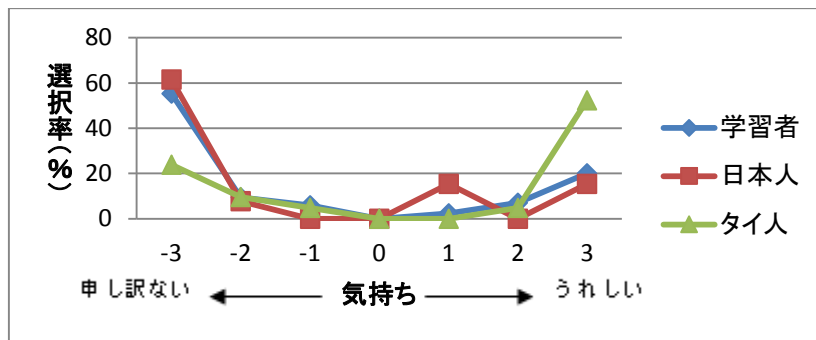


図 59 〈車場面〉 聞き手：知らない人

以上の結果から、〈車場面〉に関しては、日本人と学習者にとって「ありがとう」と「すみません」の使い分けがはっきりせず割れる結果となった。しかし、タイ人の場合にはいずれの聞き手に対してもやはり“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が使用される傾向がみられた。気持ちについては、学習者と日本人は「申し訳ない」というマイナスの気持ちが強くなる傾向が示されたが、タイ人の場合には「うれしい」というプラスの気持ちを強く感じる結果となった。

以上、14 それぞれの場面における学習者、日本人、タイ人の表現の選択とその場面に対する気持ちについての結果を示した。全体的な傾向として、タイ人はいずれの場面のいずれの聞き手に対しても“ขอบคุณ”[khɔ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）を選択し、「うれしい」というプラスの気持ちを持つことが明らかになったが、学習者と日本人の場合には場面と聞き手によって「ありがとう」と「すみません」を使い分け、気持ちも表現と運動していることが分かった。そこで、第 5 章では、本調査結果を基に日本人と学習者における「ありがとう」と「すみません」の使い分けを考察し、その要因を明らかにする。

第5章 考察

第4章では、14の各場面における表現の回答率とその場面に対する話し手の気持ちを提示した。その結果、タイ人はいずれの場面でも「ありがとう」を使用する傾向があったが、学習者と日本人の場合には場面と聞き手によって変えていることが明らかになった。全体的傾向でみると、「ありがとう」が使用される場面では日本人と学習者では同じ傾向があることが示された。しかし、場面によっては、日本人よりも学習者の方がより「すみません」を使用する傾向もみられた。そこで、本章では、日本人と学習者の「ありがとう」と「すみません」の使い分けとその要因について、第4章の結果を基に考察する。

以下、5.1では利益に左右される「ありがとう」、5.2では聞き手との関係に左右される「すみません」、5.3では「ありがとう」と「すみません」の使い分けがフアジーな場面という三つの観点からみていく。

5.1 利益に左右される「ありがとう」

学習者と日本人が「ありがとう」を主に使用した場面は、役に立つ本を紹介してもらう〈本場面〉、郵便局の場所を教える〈郵便場面〉、電車で次の駅を教える〈駅場面〉、面白い映画を勧めてもらう〈映画場面〉であった。以上の四つの場面では、いずれの聞き手に対しても「ありがとう」の選択が多く、「すみません」の選択が低かった。以下、「ありがとう」の選択率が高い順にそれぞれの場面を考察する。

最も「ありがとう」の選択率が高かったのが〈本場面〉である。この〈本場面〉では、学習者、日本人、タイ人のいずれもが「ありがとう」という回答が多かった。学習者と日本人は、この場面に対してプラスの気持ちを持つことから、利益が高いと感じられる場面であることが示された。特に、先生に対しては3の「とてもうれしい」という選択が多かった。その理由として、自分の勉強に役に立つ本を勧めてもらうということが話し手にとっての利益となり、かつ相手に負担をかけるものでもないことが想定される。特に、先生に本を紹介してもらう場合、先生は信頼できる人であるという考えや思いが前提となり、その本はいい本に違いないと感じるであろうことから、話し手にとっての利益が高まり、プラスの気持ちになると考えられる。

次に「ありがとう」の選択率が高かったのが、〈駅場面〉と〈郵便場面〉であった。この二つの場面は相手から情報を得るという一見類似した場面であるが、本調査結果では郵便局までの行き方を教える〈郵便場面〉の方が〈駅場面〉よりも負担が高いという結果となった。その理由として、〈郵便場面〉は郵便局への行き方を詳しく教えてもらわなければ道が分からないため、次の駅の名前を教える〈駅場面〉よりも心理的負担が高いことが示された。

本研究結果は、先行研究を検証した結果となった。先行研究で指摘されているように、負担が低くなると利益が高まるため、聞き手に関わらず「ありがとう」がより使用される

ことが分かった。この結果により、「利益」というキーワードは学習者と日本人にとって「ありがとう」の使用を左右する要因であることが明らかになった。

5.2 聞き手との関係に左右される「すみません」

聞き手との関係に左右された次の 10 場面を取り上げ、考察する。傘の置き忘れを教えてください（傘場面）、財布を落としたことを教えてください（財布場面）、エレベーターの乗り降りで「開」ボタンを押してもらおう（エレベーター場面）、コーヒーを入れてもらおう（コーヒー場面）、2 パーツを支払ってもらおう（2 パーツ場面）、荷物を運んでもらおう（荷物場面）、ソースを取ってもらおう（ソース場面）、写真を撮ってもらおう（写真場面）、ペンを貸してもらおう（ペン場面）、車を押してもらおう（車場面）であるこれらの場面は、聞き手によって表現の使い分けが観察された。以下、聞き手別に「すみません」が多いものから「すみません」が少ないものへというアプローチで考察する。

日本人は、先生に対しては負担と感ずる程度が高くなり、「すみません」がより使用される傾向がみられた。先生に対し「すみません」の使用が高かった場面は、〈エレベーター場面〉と〈2 パーツ〉であった。「すみません」の使用がより多かったのが〈エレベーター場面〉であった。図 60 にみられるように、〈エレベーター場面〉では、先生に対し日本人は「すみません」を最も選択した。その心理は、図 61 にみられるように、-1 の「少し申し訳ない」と-2 の「申し訳ない」に山ができたことから、本調査で提示した〈エレベーター場面〉の状況においては「申し訳ない」という気持ちが強いことが示された。一方、日本人の表現の選択と学習者の表現の選択を比較してみると、レベルが低くければ低いほどタイ人の表現の選択、すなわち「ありがとう」を選択する傾向が強まり、図 61 の青い線が示しているように「特に何も思わない」という気持ちであることが明らかになった。この結果から、タイ人にとってエレベーターで「開」ボタンを押してもらおう状況は、負担が低いと考えられていることが日本人との違いとして示された。

内藤（2007）は、エレベーターに乗る時のビジネスマナーとして、操作盤を押したまま、お客さんを先に降ろすというのがマナーであると指摘している。このようなビジネスマナーが日本人にとって常識であるとするなら、目上である先生にエレベーターのボタンを押してもらおうことは失礼になり、申し訳ないという気持ちが高くなるため、「すみません」が使用されると考えられる。日本人の回答に「ありがとう」を選択している人が 1 名いたが、この日本人は 20 代で学生であった。

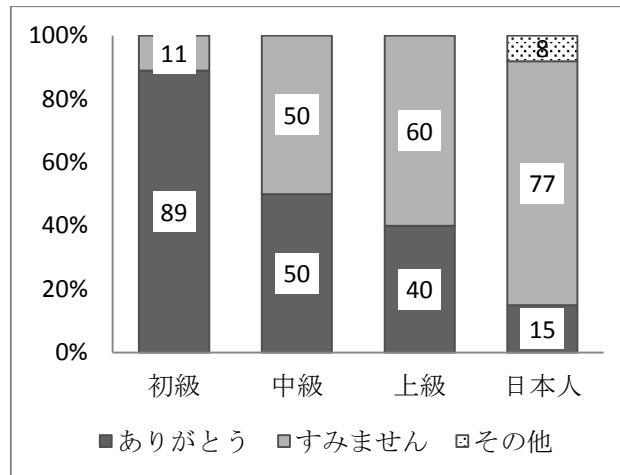


図 60 《エレベーター場面》先生に対する表現の回答

学習者の表現の回答は、図 60 に示したように、レベルによって差があった。初級では「ありがとう」が多く、中級では「ありがとう」と「すみません」が半々、上級では「すみません」が多かった。この結果から、学習者のレベルが上がると、「すみません」という選択が多くなり、日本人に近づいていることが分かった。しかし、上級レベルになっても日本人と比べると、やはり学習者の方が「ありがとう」の選択が多かった。

また、気持ちについては、日本人は「申し訳ない」というマイナスの傾向となり、《エレベーター場面》での先生の行動に負担を感じる結果、学習者は多様になった。

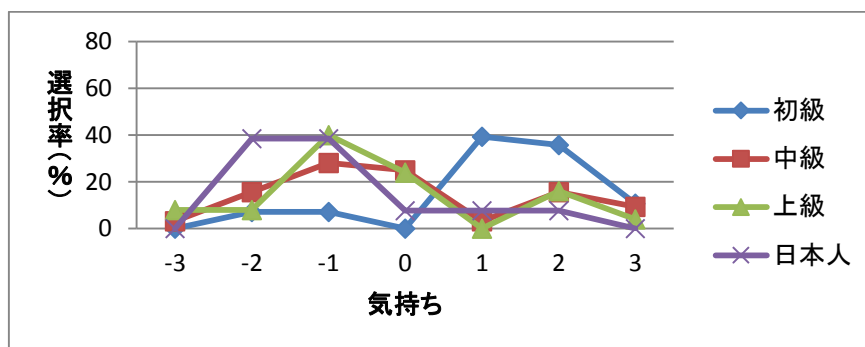


図 61 《エレベーター場面》先生に対する気持ち：日本人と学習者のレベル別比較

図 61 から、学習者の気持ちにはレベルによる差がみられ、初級レベルの学習者はプラス方向で「うれしい」という利益を感じていることが読み取れる。しかし、中級レベルの学習者は -1 「少し申し訳ない」から 0 の「特に何も思わない」と回答した人が多く、日本人と比べると、負担の程度はやや低い。

《2 パーツ場面》も《エレベーター場面》と同様の結果となった。日本人にとって先生からお金をもらうということは、たとえ少ない金額であっても精神的な負担になることが伺われる。一方、タイ人にとって 2 パーツは少ない金額であると考えられ、返さなくても大丈夫だろうと思うのかもしれない。また、タイ社会では目上の人が目下の人のためにお

金を支払うという行為はひとつの習慣としてみなされるため、たとえ先生から 2 パーツをもらっても失礼にはならないと考えられる可能性がある。このことについて、調査対象者のタイ人日本語学習者にインタビューをしたところ、先生が 2 パーツを支払ってくれた場合、日本人の先生であったら申し訳ないと感じ、たとえ 2 パーツという少ない金額であっても返さなければならないと思うが、タイ人の先生に対しては、申し訳ないという気持ちにはならず、返さなくても失礼にならないと考えると回答した。このことから、本調査における〈2 パーツ場面〉という状況は、日本人とタイ人学習者の社会・文化の側面が表面化した質問であり、タイと日本の違いが反映した結果となった。

以上、日本人が「すみません」を使用する〈エレベーター場面〉と〈2 パーツ場面〉を取り上げ考察した。これらの場面では、学習者の日本語のレベルが低いほど「ありがとう」を使用する傾向がみられた。そこには、異文化がかかわっていることが分かった。この結果は、換言すると、学習者の日本語レベルが上がると、日本人に近づくことが明らかになった。

次に、知らない人に対する表現について考察する。〈傘場面〉〈財布場面〉〈エレベーター場面〉〈コーヒー場面〉〈2 パーツ場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈ペン場面〉〈写真場面〉〈車場面〉では、知らない人に対して学習者も日本人も「ありがとう」と「すみません」の使い分けが多様になり、はっきり分けられなかった。また、この結果に連動して、気持ちに関しても多様なばらつきを示した。例えば、〈荷物場面〉では、知らない人に対し、日本人は「ありがとう」「すみません」「その他」と、いずれの傾向もみられず、表現が多様になった。三宅（1993b）は、ヨソという関係性にある聞き手に対して話し手は聞き手の情報を持っていないため、感謝表現の使い分けが多様になると指摘している。本結果は、三宅（1993b）のこの指摘を裏付ける結果となった。なお、知らない人に対する表現の選択と気持ちの在りように関しては、5.3 で学習者のレベル別にさらに詳しく考察する。

親しくない友達に対しては、全体的に学習者も日本人も「ありがとう」を使用する傾向になったが、親しい友達と比べると、「ありがとう」の使用は高くなかった。以下、〈写真場面〉を例として取り上げて説明する。

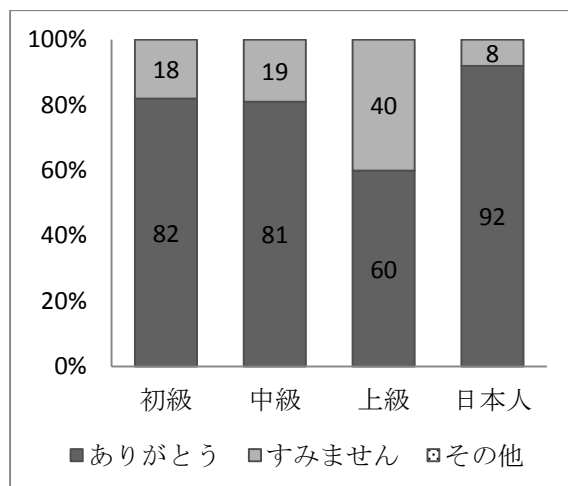


図 62 〈写真場面〉親しくない友達に対する表現の回答

図 62 にみられるように、学習者とタイ人は「ありがとう」を使用する傾向となったが、学習者の場合には日本人より「すみません」を選択する率が高かった。特に、上級レベルの学習者の場合には「すみません」の選択が 40% になり、日本人の選択率 8% の 5 倍となった。また、親しくない友達に対する気持ちは、図 62 でわかるように、どのレベルの学習者においても、また日本人においてもばらついた結果となった。ロング (2004) では、利益が高まると「ありがとう」がより使用されると指摘されていたが、本結果では、親しくない友達に対しては必ずしも利益の気持ちばかりではなく、たとえ負担をかけているという気持ちであっても「ありがとう」が使用されることが示された。本結果から、日本人と学習者における親しくない友達に対する「ありがとう」と「すみません」の使い分けは、利益か負担かという要因よりも、聞き手との関係が主な要因となって表現の選択に影響することが明らかになった。同場面で、親しい友達に対する表現と親しくない友達に対する表現とを比較した結果は、親しい友達に対しての方が「ありがとう」の選択率が高かった。

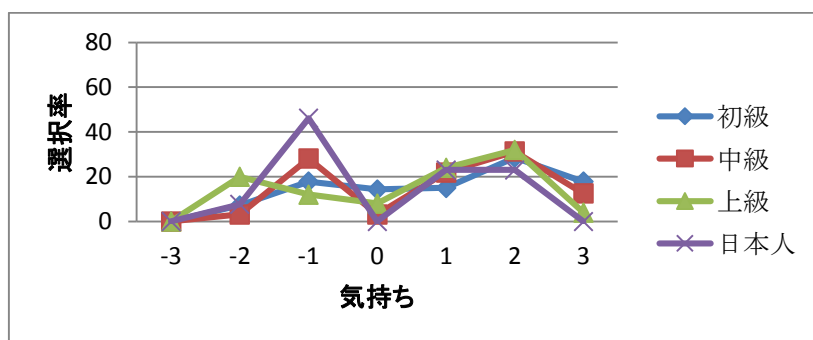


図 63 〈写真場面〉親しくない友達に対する気持ち：日本人と学習者のレベル別比較

つまり、親しくない友達に対し、利益・負担に関わらず同等な聞き手であるため、学習者と日本人は「ありがとう」を使用する傾向になった。しかし、親疎関係も影響するため、

親しい友達と比べると、親しくない友達は「ありがとう」がより少なく、「すみません」もみえた。

最後に取り上げるのは、親しい友達に対する表現の選択である。親しい友達に対しては、学習者も日本人も「ありがとう」がより使用される結果を得た。〈傘場面〉〈財布場面〉〈エレベーター場面〉〈コーヒー場面〉〈2 バーツ場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈ペン場面〉〈写真場面〉〈車場面〉は、「ありがとう」の選択が多く、90%以上であった。気持ちについては、先行研究における指摘と同じで、利益が高まると「ありがとう」が使用される傾向となった。

例として、〈写真場面〉を取り上げ、説明する。表 17 にみられるように、〈写真場面〉では、親しい友達に対して、日本人は「ありがとう」を 100%、学習者は 90%以上となった。そして、気持ちについては、図 53 にみられるように、利益が高いと感じていることが示された。同様に、〈傘場面〉〈財布場面〉〈エレベーター場面〉〈コーヒー場面〉〈2 バーツ場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈ペン場面〉〈写真場面〉〈車場面〉でも、親しい友達に対する「ありがとう」の使用は高く、利益と感じる傾向が高かった。この結果は、ロング (2004) と同様の結果であった。

以上の 11 場面に対し、〈ペン場面〉〈ソース場面〉での選択傾向は違っていた。まず、気持ちからみると、図 45、図 49 (第 4 章 4.11、4.12) に示したように、日本人と学習者の気持ちは多様になり、個人差が高かった。そのため、これらの場面では、利益が高まっても必ずしも「ありがとう」が使用されるとは言えず、利益か負担かという気持ちとの相関なく、親しい友達という関係性では「ありがとう」が選択される傾向がみられた。この結果から、〈ペン場面〉〈ソース場面〉における表現の選択を左右する要因は、利益・負担という心理的側面よりも、上下・親疎関係という人間関係の方であることが示された。このように、負担も利益も高くない場面では、親しい友達に対しては「ありがとう」という典型的な感謝表現が使用されることがはっきりした。しかし、〈ペン場面〉〈ソース場面〉は、相手との関係性も表現の選択に関わることが、本調査の話し手の気持ちが多様になった結果が明らかにしている。言い換えると、この場面の行為が、負担になるかどうかは行為を依頼する相手との関係性によって異なるため、個人差が生じるということである。

〈車場面〉でも、表 17 () に示したように、学習者および日本人は親しい友達に対しては「ありがとう」を使用する傾向があった。気持ちについてはマイナスの傾向になり、負担が高い場面であることが分かった。ロング (2004) は、負担が高い場合、どの聞き手に対しても謝罪表現が使用されると指摘しているが、本研究では異なる結果になった。すなわち、本結果では、負担が高まると「すみません」がより使用されるという単純な相関ではなく、たとえ負担が高くても親しい友達である場合には「ありがとう」が使用される結果を得た。本調査におけるこの結果は、負担という心理的要因よりも、上下・親疎という人間関係の方が一次的要因となることを明らかにしたといえる。なお、ロング (2004) の結果との違いを検討してみると、本研究との研究対象者の年代の差が考えられる。ロング (2004) の研究では、50 代以降の対象者の回答が含まれているが、本研究にはいない。

このことから、日本人は年代によって感謝表現の使用が変わることが考えられる。これを裏付けるように、筆者は 20 代の日本人大学生から次のような意見をもらった。それは、「最近では、『すみません』ではなく、『ありがとう』と言ってくれた方がうれしいと感じるため、『ありがとう』を使いましょうという考えもある」ということである。言語は常に変化し続けているものという常識はあるが、このような言語使用に対する価値観の変化が、本研究結果とロング（2004）の結果の違いに現れた可能性がある。

5.3 「ありがとう」と「すみません」の使い分けがファジーな場面

「ありがとう」と「すみません」の使い分けには、その使い分けの線引きがはっきり分けられない、すなわちファジーな場面というのがあった。それは、〈財布場面〉〈コーヒー場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈ペン場面〉〈車場面〉での先生に対する感謝表現の選択と、知らない人に対する感謝表現の選択であった。

まず、日本人にとって「ありがとう」と「すみません」のファジーな場面は、先生に対する〈財布場面〉〈コーヒー場面〉〈荷物場面〉〈車場面〉の表現の選択であった。この四場面において日本人は、「ありがとう」もしくは「すみません」のいずれの使用にも傾向が現れず、個人による使い分けによることが示された。そして、これらの場面では「すみません、ありがとうございます」のように、「すみません」と「ありがとう」の両方が使用されるという回答もみられた。この日本人の結果と比較しながら検討していくと、学習者の場合には、〈財布場面〉〈コーヒー場面〉では日本人の場合と同じように、個人差による異なりがあった。すなわち、「ありがとう」と「すみません」の使用上の結果がはっきりしなかったということである。しかし、〈荷物場面〉〈車場面〉では、学習者は「すみません」をより使用していた。その特徴を以下ではレベル別にみていく。

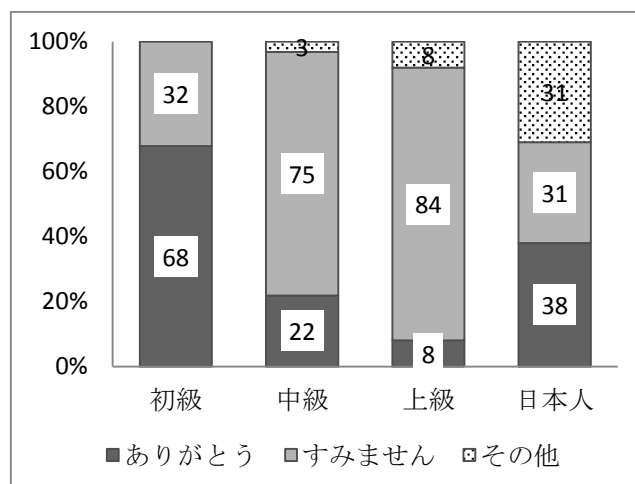


図 64 〈荷物場面〉先生に対する表現の回答

図 64 は、〈荷物場面〉での先生に対する表現の回答結果である。日本人の場面には、「ありがとう」がわずかに多いものの、「すみません」と「その他」の選択率に大きな差はなかった。「その他」には、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ

表現もあり、そもそも「先生に頼まない」という回答もあった。これに対し、初級レベルでは、「ありがとう」の選択率がほぼ 7 割であった。しかし、中級と上級レベルでは「すみません」を使用する傾向が高くなり、レベルが高いほど「すみません」を使用する傾向が目立った。中級レベルでは「すみません」という選択が「ありがとう」の 3 倍強、上級レベルでは「ありがとう」の 10 倍であった。気持ちについては、図 32（第 4 章 4.8）に示したように、学習者と日本人は同じ傾向の「うれしい」というプラスの気持ちと「申し訳ない」というマイナスの気持ちの二つに割れる結果となった。しかし、本調査の日本人の調査人数は少ないため、日本人の使用傾向とは言い切れないが、ひとつの傾向としては示唆される結果である。

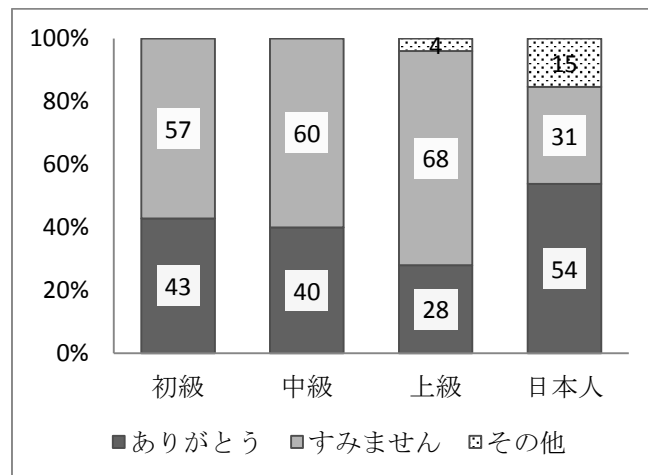


図 65 〈車場面〉先生に対する表現の回答

〈車場面〉における先生に対する表現の回答については、図 65 に示したように、どのレベルの学習者においても「すみません」の使用が日本人より高かった。気持ちについては、図 56（ ）に示したように、日本人と学習者が同じ傾向になり、〈車場面〉は負担が高いと解釈した。学習者は、負担が高いと解釈し、「すみません」を使用する傾向が示された。一方、日本人も負担が高いと解釈したことに違いはなかったが、日本人の〈車場面〉に対する表現の選択は「ありがとう」とそれ以外の選択が半々になり、個人差によることが示された。しかし、本調査の日本人の人数は少ないため、日本人のひとつの傾向として、本稿では本結果を提示する。

以上、日本人であっても「ありがとう」と「すみません」の使用がはっきり分けられない場面があることを指摘した。ロング（2004）は、負担が高くなると謝罪表現が使用されると指摘していたが、本結果は、たとえ「申し訳ない」と感じ負担が高いと感じていても、必ずしも「すみません」を使用するとはいえず、「ありがとう」が使用される場合もあることを明らかにした。その理由として、年代と言語使用の変化を挙げた。

前出した 20 代の日本人大学生からの意見とは違った見解として、50 代の日本人の社会人の意見をここで例示する。それは、「『すみません』を感謝の意味で使うのは、ほとんどの場合、目上の人や外部の人に対してです」ということであった。

また、本結果では、学習者の日本語レベルが高くなるほど「すみません」の過剰使用が顕著であった。この結果は、タイの日本語教育の現場で、目上に対しては「すみません」を使用する方が丁寧だという短絡的な指導がなされているのではないかと疑問視される。本結果は、ロング（2004）の調査結果に対し、先生に対する感謝表現については肯定できない部分があることが分かった。

次に、知らない人に対する表現の選択について述べる。〈財布場面〉〈コーヒー場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈ペン場面〉〈車場面〉について、日本人の表現の使い分けははっきりとしなかった。以下、〈荷物場面〉での知らない人に対する表現を例として考察する。

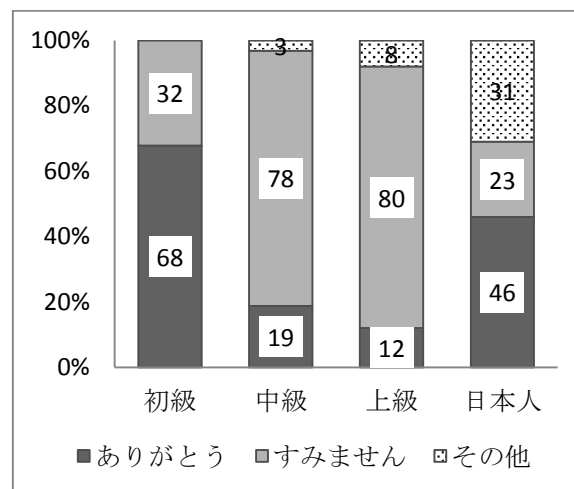


図 66 〈荷物場面〉知らない人に対する表現の回答

図 66 に示したように、〈荷物場面〉では知らない人に対し、日本人は「ありがとう」と「すみません」と「その他」の使用が分かれる傾向となった。「その他」では、「すみません、ありがとうございます」という組み合わせ表現が多かった。一方、学習者の場合には、レベルが高ければ高いほど「すみません」の使用が高くなる傾向があった。この傾向と同様の結果であったのが、〈コーヒー場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈ペン場面〉〈車場面〉であった。これらの場面に共通する点は、情報提供ではなく相手に行動をしてもらうという点で、負担度の差異はあるものの、相手に負担をかける場面といえる。たとえば〈財布場面〉は、情報提供の場面ではあるが、財布は話し手の所有物で利益に関わる大切なものであるにもかかわらず、知らない人から教えてもらうという点で、相手に「申し訳ない」という気持ちが高まるように思われる。特に、タイ人の場合には、〈財布場面〉のような状況は想像しにくいという現実もある。タイでは、財布を落としても、それが返ってくることはまれであるため、財布を落としたことを知らない人から教えてもらうことはめずらしい。その人が財布を取ってしまってもいい状況であるにもかかわらず、わざわざ教えてくれるという行為に対し「申し訳ない」と感じるものと考えられる。

本調査結果では、知らない人に対しては、日本人の表現は多様になる傾向がみられた。三宅（1993b）は、ヨソである知らない人に対し、話し手の表現や行動は多様になり、そ

の場によって違っていると述べていることから、本結果は、三宅（1993 b）のこの見解を肯定する結果となった。一方、学習者は「すみません」を使用する傾向がみられた。学習者の場合には、初級レベルでは「ありがとう」を使用する傾向がみられたが、中級レベルや上級レベルになると「すみません」を使用する傾向がみられた。この結果は、前述したように、タイでは財布を落とした場合に見知らぬ人がそれを拾って声をかけてくれるという状況が非常に少ないというタイ社会の現状が、表現の選択と気持ちに反映したものと考えられる。

以上、「ありがとう」と「すみません」の使い分けがフアジーな場面は、〈財布場面〉〈コーヒー場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈ペン場面〉〈車場面〉で、その聞き手が先生と知らない人に対する状況であることを考察した。これらの場面は、単なる情報提供ではないという点で共通していた。特に、聞き手に何らかの行動を提供してもらう〈コーヒー場面〉〈荷物場面〉〈ソース場面〉〈車場面〉は、日本人・学習者ともに「申し訳ない」という気持ちを持つことが示された。上記の中で、〈ペン場面〉は、聞き手に何らかの行動を提供してもらう場面ではないが、相手の物を貸してもらうという点で、「申し訳ない」という気持ちにつながることを示された。また、〈財布場面〉は、情報提供の場面と位置付けることもできるが、財布は話し手にとって重要な所有物であるため、「申し訳ない」という気持ちが高まる結果となった。しかし、たとえこのような場面に遭遇し「申し訳ない」という気持ちは高まっても、聞き手が先生であったり知らない人であったりする場合には、聞き手との関係が負担よりもより大きく表現の選択に影響し、そこには個人差も関係していることを明らかにした。

5.4 考察のまとめ

本章では、学習者と日本人における「ありがとう」と「すみません」の使い分けについて考察した。

まず、学習者および日本人については、利益が「ありがとう」の使用を左右していた。これは、先行研究で指摘されている結果と同じで、利益が高まると「ありがとう」の使用も高くなる傾向が明らかになった。一方、話し手にとっての利益が高くない場面では、聞き手との関係が主要な要因となって左右していたが、先生に対して「すみません」が使用される場面では、異文化の影響により、日本人と学習者との結果に違いがみられた。日本人の場合には、負担が高いと解釈される場面では「すみません」が使用されていた。しかし、学習者の場合には、日本語のレベルによって異なっていた。初級レベルでは、「ありがとう」がより使用されていたが、レベルが上がるにつれ「すみません」の使用率が上がった。この結果から、学習者のレベルが上がると日本人の表現の選択傾向に近づくことが分かった。しかし、先生と知らない人に対しては、「ありがとう」と「すみません」がフアジーな場面があることも分かった。それは、母語話者である日本人であっても「ありがとう」と「すみません」の使用傾向がはっきり分けられない場面である。場面の中には、学習者の「すみません」の過剰使用もみられた。

聞き手との関係に左右される「ありがとう」と「すみません」の使い分けをまとめたものが以下の表 18 である。

表 19 聞き手別の表現の回答率 (%)

初級 n=28、中級 n=32、上級 n=25、日本人 n=13、タイ人 n=21

聞き手	対象者	ありがとう	すみません	その他
先生	初級	85	15	0
	中級	58	42	0
	上級	51	46	3
	日本人	60	27	13
	タイ人	95	3	2
親しい友達	初級	91	6	3
	中級	93	5	2
	上級	86	11	2
	日本人	93	1	5
	タイ人	97	1	2
親しくない友達	初級	86	14	0
	中級	79	25	1
	上級	65	32	2
	日本人	83	11	6
	タイ人	97	1	2
知らない人	初級	78	21	0
	中級	52	47	0
	上級	46	51	3
	日本人	55	27	18
	タイ人	94	5	1

表 18 を聞き手別にみていくと、学習者と日本人の「ありがとう」という表現の選択率は、親しい友達、親しくない友達、先生、知らない人の順に多い。学習者の日本語レベルで見ると、初級レベルでは「ありがとう」を使用する傾向があり、タイ人母語話者の使用に近い。しかし、中級・上級レベルになると、「すみません」の選択率が上がり、日本人以上に使用が高まる場合もある。これは、初級レベルの学習者の場合にはまだ母語の影響を受けるのに対し、日本語レベルが上がると日本人に近づく一方で、過剰に「すみません」が使用されるようになることも明らかにした。

さらに、負担が高い場面についてロング (2004) は、負担が高い場面ではどの聞き手に対しても謝罪表現が使用されると述べられていたが、本研究結果では、たとえ負担が高い場面であっても「ありがとう」と「すみません」の使い分けは聞き手に左右されることを指摘した。すなわち、本研究は、聞き手との関係が負担よりも主要な要因として影響することを指摘した。

第6章 まとめと今後の課題

本稿は、初級・中級・上級レベルのタイ人日本語学習者の「ありがとう」と「すみません」の使い分けを観察するために、日本語母語話者およびタイ語母語話者との比較を通して、その使用傾向を分析し考察した。また、タイ語母語話者は、感謝場面においてどのような場合でも“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）を使用する傾向があることを確認し、その運用法がタイ人日本語学習者の「ありがとう」と「すみません」の使い分けに影響しているのか否かについても検討した。さらに、話し手が「ありがとう」と「すみません」の使い分けの要因として何を重視するかという点について、場面ごとに聞き手と当該場面に対して利益と感ずるか負担と感ずるかといった気持ちに関する調査を実施し分析した。本研究結果は次の通りである。

- ① 先行研究の指摘にあったように、利益が高い場面では「ありがとう」が使用された。
- ② 聞き手が先生もしくは知らない人の場合には、日本語母語話者であっても「ありがとう」と「すみません」の選択に個人差があった。タイ人学習者は、こうした場面ではレベルの高い学習者ほど「すみません」の過剰使用があった。
- ③ 先行研究で指摘されている「ありがとう」と「すみません」の使い分けは大きく2つで、1. 聞き手との関係性（上下関係か親疎関係か）、2. 話し手の当該場面に対する心理（利益と感ずるか負担と感ずるか）であった。タイ語では、あらゆる感謝場面で、聞き手との関係とは無関係に“ขอบคุณ”[khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）が使用されるが、日本語では、上記2つのうち、より優先される要因は聞き手との関係であることを明らかにした。

①について、タイ人日本語学習者は日本語母語話者と同じように、利益が高い場面においてはいずれの聞き手に対しても「ありがとう」を使用する傾向がみられた。この結果から、利益が高まると、「ありがとう」が使用されることが分かった。しかし、利益が高くない場面においては、聞き手によって「ありがとう」と「すみません」の使い分けがされることが分かった。「ありがとう」という表現の使用が多い聞き手の順に列挙すると、1. 親しい友達、2. 親しくない友達、3. 先生、4. 知らない人という順になる。この結果は、ロング（2004）と同じであった。

②について、日本語母語話者であっても、聞き手が先生もしくは知らない人である場合には「ありがとう」と「すみません」の使い分けがはっきりせず、フエジーになる場面があった。このような場面に対するタイ人日本語学習者の表現の選択には、レベルによる差がみられた。初級レベルの学習者の場合には「ありがとう」を、中級レベルから上級レベ

ルの学習者の場合には「すみません」を過剰使用する傾向が観察された。また、先生に対して日本語母語話者は「すみません」を使用する傾向があるのに対し、タイ人日本語学習者の場合には「ありがとう」を使用する傾向が観察された。さらに、日本とタイの文化や社会の違いから、日本語母語話者が「すみません」を使用する傾向のある場面で、タイ人日本語学習者は「ありがとう」を使用する傾向がみられた。しかし、聞き手が知らない人である場合、タイ人日本語学習者は日本語母語話者以上に「すみません」を使用する傾向が浮き彫りになった。

③について、「ありがとう」と「すみません」の使い分けには、聞き手との関係と当該場面に対する心理的な要因が影響していることが先行研究で指摘されているが、本研究はこの2つの要因のうち、より優先される要因が聞き手との関係であることを明らかにした。しかし、このような使い分けはタイ人日本語学習者にとって難しい。なぜなら、タイ人学習者の母語であるタイ語では、全ての感謝場面で、聞き手との関係は無関係に、“ขอบคุณ” [khɔ̀ŋ̀ɔ̀bkhun]（ありがとう）を使用するからである。このことは、初級レベルの日本語学習者が、いずれの聞き手いずれの場面に対しても「ありがとう」を使用する傾向があったという結果に通じている。中級レベル・上級レベルになると、学習者は場面と聞き手によって使い分けをするようになるが、その一方で、レベルが高くなるにつれ、「すみません」の過剰使用の問題も観察された。この結果は、日本語レベルが高くなると、確かに日本語母語話者に近づく面もみられるが、その反面で日本語母語話者以上に「すみません」を使用するようになることも示された。

本研究が先行研究の指摘と同じであった点は次の3点で、1. 利益が高まると「ありがとう」を使用すること、2. 上下・親疎関係のうち、同等の聞き手や親しい聞き手に対しては「ありがとう」を使用する傾向があること、3. 見知らぬ人に対しては表現が多様になることであった。1と2の傾向はロング（2004）の指摘を裏付けた。また、3の傾向は三宅（1993b）の見解を裏付けた。

しかし、日本人は、負担が高い場面ではいずれの聞き手に対しても謝罪表現を使用するというロング（2004）の結果については、本研究結果と異なっていた。本研究では、たとえ聞き手の負担となる場面であっても、聞き手によって感謝表現の選択が変わるという結果を得た。本研究は、この結果を基に、ロング（2004）の結果とは異なる点として、聞き手との関係が利益・負担よりも優位となって影響することを指摘した。すなわち、「ありがとう」と「すみません」の使い分けにおいては、利益や負担という心理的要因が表現の選択により影響するのではなく、上下・親疎関係といった聞き手との関係性がより影響するということを指摘した。

今後は、「ありがとう」と「すみません」の使い分けだけでなく、その他の謝罪表現の「ごめん」や「ありがとう、すみません」といった感謝と謝罪の組み合わせ表現についても課題としたい。また、先行研究と異なる結果が得られたものについても検証したい。さらに、今回の調査ではグループ間の対象人数が異なってしまったため、より正確な結果を得るために、調査対象者の人数も揃えて調査を行いたい。

参考文献

- 岡本真一郎 (1992) 「感謝表現の使い分けに關与する要因(2) - 『ありがとうタイプ』と『すみませんタイプ』はどのように使い分けられるか -」 『愛知学院文学部紀要』 22号, 35-44
- 小川治子 (1995) 「感謝とわびの定式表現—母語話者の使用実態の調査からの分析—」 『日本語教育』 85号, 38-52
- 小野由美子, 許清平, 森清隆, 森勇樹 (2000) 「日本語母語話者にみる感謝表現の使用—『ありがとう』, 『すみません』再考—」 『鳴門教育大学実技教育研究』 11号, 75-83
- 金英美 (1995) 「韓国人留学生の〈感謝〉と〈詫び〉のあいさつ表現に関する一考察—日本人若年層と比較して—」 『国語学研究』 34号, 54-43
- 熊取谷哲夫 (1990) 「日本語の『感謝』における表現交替現象とその社会言語学的モデル」 『表現研究』 52号, 36-44
- 蔵永瞳, 樋口匡貴 (2012) 「感謝生起状況の種類—感情体験の違いによる分類—」 『広島大学大学院教育学研究科紀要』 61号, 137-142
- 佐久間勝彦 (1983) 「感謝と詫び」 『話し言葉の表現』, 筑摩書房, 54-66
- サンタヨーパス スィリラット (2011) 「感謝の場面での謝罪の発話—日本語母語話者とタイ語母語話者の意識と使い分け—」 『一橋大学国際教育センター紀要』 2号, 37-55
- 孫守峰 (2007) 「感謝場面に使用される詫び表現の習得—在中と在日中黒人学習者の詫びの使用率とパターン—」 『日本語・日本文化研究』 17号, 165-174
- 内藤京子 (著) (2007) 『DVDで学ぶ! できる人のビジネスマナー』 西東社
- 三宅和子 (1993a) 「感謝の意味で使われる詫び表現の選択メカニズム—Coulmas(1981)の indebtedness 「借り」 の概念からの社会的言語学的展開—」 『筑波大学留学生センター—日本語教育論集』 8号, 19-38
- 三宅和子 (1993b) 「『詫び』以外で使われる詫び表現—その多様化の実態とウチ・ソト・ヨソの関係—」 『日本語教育』 82号, 134-146
- ロング クリストファー (2004) 「日本語の『感謝』における謝罪表現とそれを規定する要因」 『上智大学一般外国語教育センター紀要』 15号, 3-21, 上智大学一般外国語教育センター
- Wangwan Janjira(2005) 「日本とタイの大学生における感謝心の比較研究 (2)」 『日本道徳性心理学研究』 19号, 1-14
- Coulmas Florian (1981) “Poison to your soul.” Thanks and Apologies Contrastively Viewed, *Conversational Routine*. 69-91
- Long, Christopher(2010) Apology in Japanese gratitude situations: The negotiation of interlocutor role relation. *Journal of Pragmatics*, 42, 1060-1075

ทานากะ, โยเนะ (2006) มินนะโนะ นียงโกะ 1-4: แบบเรียนภาษาญี่ปุ่นระดับต้น(ฉบับปรับปรุง). พิมพ์ครั้งที่ 5

กรุงเทพมหานคร, สำนักพิมพ์ภาษาและวัฒนธรรม สมาคมส่งเสริมเทคโนโลยี(ไทย-ญี่ปุ่น) .

บุษบา บรรจงมณี และคณะ (2009) ภาษาญี่ปุ่น อากิโกะ โตะโตะโมะ คะจิ 1-6. พิมพ์ครั้งที่ 4. กรุงเทพฯ, มูลนิธิญี่ปุ่น.

ไพลิน เจริญผล (2013) “รูปแบบภาษาที่ปรากฏตอนท้ายการขอร้องของผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวไทย: ผลสำรวจการใช้

ภาษาของผู้เรียนในระดับมัธยมศึกษาและระดับอุดมศึกษา” สารนิพนธ์หลักสูตรปริญญาอักษรศาสตรมหาบัณฑิต,

จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

สิงหาติ ไตรจิตต์ (2006) “กฎการกล่าวขอบคุณในสังคมไทย: การศึกษาตามแนวภาษาศาสตร์สังคม” วิทยานิพนธ์

หลักสูตรปริญญาอักษรศาสตรมหาบัณฑิต, จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

添付資料 1 タイ人日本語学習者のアンケート

ขอความกรุณาช่วยตอบแบบสอบถาม แบบสอบถามนี้มีจุดประสงค์เพื่อสำรวจจำนวนการขอบคุณของผู้ศึกษา
ภาษาญี่ปุ่นชาวไทย ผลของการสำรวจจะนำไปใช้ในการวิจัยนี้เท่านั้น ข้อมูลส่วนตัวของท่านจะถูกเก็บเป็นความลับ จึง
ใคร่ขอความร่วมมือทุกท่านในการตอบแบบสอบถามมา ณ ที่นี้

ชิดชนก หงษ์ทิพรรัตน์ (นิสิตปริญญาโท)

สาขาวิชาภาษาญี่ปุ่น ภาควิชาภาษาตะวันออก คณะอักษรศาสตร์ จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

ส่วนที่ 1 กรุณาตอบคำถามต่อไปนี้ หรือให้ทำเครื่องหมาย ✓ ใน ○ หน้าหัวข้อที่ตรงตามความเป็นจริง

อายุ _____ ปี ระยะเวลาในการศึกษาภาษาญี่ปุ่นโดยประมาณ _____ ปี _____ เดือน เวลาเรียน _____ ชม./สัปดาห์

เคยสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่นหรือไม่

- ผ่านการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่นแบบใหม่ N1 N2 N3 N4 N5
 ผ่านการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่นแบบเก่า 1 2 3 4
 เคยสอบ N _____ แต่คะแนนไม่ผ่านเกณฑ์
 ไม่เคยสอบ

เคยไปศึกษา หรือ อาศัยอยู่ที่ประเทศญี่ปุ่นหรือไม่

- เคย พักอาศัยอยู่ในประเทศญี่ปุ่นเป็นระยะเวลารวม _____ ปี _____ เดือน ไม่เคย

หลังจากทำแบบสอบถาม หากท่านมีความยินดีจะให้ความร่วมมือในการสัมภาษณ์ กรุณากรอกอีเมล หรือ เบอร์ติดต่อ

ชื่อ _____ อีเมล/เบอร์ _____

ส่วนที่ 2 ถ้าสมมุติให้ A อยู่ในสถานการณ์ตามที่ระบุไว้ด้านล่าง

① คุณจะทำอย่างไรในแต่ละสถานการณ์ว่าอย่างไร ② ท่านรู้สึกอย่างไรในแต่ละสถานการณ์นั้น

ตัวอย่าง 0. A ชื่อชนมมาฝากจากญี่ปุ่น

0-1 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (いただきます)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

1. ท่านกำลังลงจากรถไฟ A บอกว่าท่านลืมร่มไว้บนรถไฟ

1-1 A เป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

1-2 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

1-3 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

1-4 A เป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

2. แนะนำภาพยนตร์ที่น่าสนใจให้

2-1 A เป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

2-2 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

2-3 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

2-4 A เป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

3. ตอนที่ท่านกำลังลงจากรถเมล์ A บอกว่าทำกระเป๋าตังค์หล่น

3-1 A เป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

3-2 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

3-3 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

3-4 A เป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

4. Aช่วยบอกหนังสือที่เป็นประโยชน์ต่อการเรียนของท่าน

4-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

4-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

4-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

4-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

5. ตอนที่ยื่นลิฟต์ กดปุ่ม “เปิด” ให้

5-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

5-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

5-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

5-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

6. ในงานแต่งงานที่จัดแบบบุฟเฟต์ Aรินกาแพให้

6-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

6-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

6-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

6-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

7. ที่ร้านขายของฝาก ขณะที่กำลังจ่ายเงิน เงินท่านไม่พอเป็นจำนวน 1 บาท A เลยออกให้ 1 บาท

7-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

7-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

7-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

7-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

8. ขณะท่านกำลังขึ้นบันได Aอาสาถือของที่หนักให้

8-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

8-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

8-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

8-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

9. ขณะขึ้นรถไฟ ท่านถามAว่า สถานีต่อไปคือสถานีอะไร แล้วAช่วยบอกให้

9-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

9-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

9-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

9-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10. ท่านสอบถามทางไปรษณีย์กับA แล้วAบอกทางให้

10-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

11. ท่านขอAยิ้มปากกา และAให้ท่านยิ้ม

11-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

11-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

11-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

11-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

12. ระหว่างทานข้าวด้วยกัน ท่านขอร้องให้Aช่วยหยิบขวดซอสให้ และAหยิบให้ท่าน

12-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

12-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

12-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

12-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

13 ระหว่างการท่องเที่ยว ท่านได้ขอร้องให้Aถ่ายรูปให้ และAถ่ายให้

13-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

13-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

13-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

13-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. รู้สึกผิดมาก b. รู้สึกผิด c. รู้สึกผิดเล็กน้อย d. ดีใจมาก e. ดีใจ f. ดีใจเล็กน้อย g. เคยไม่ได้รู้สึกอะไร

14.รถของท่านแบตเตอรี่ดับ ท่านขอร้องให้Aช่วยเข็นกันรถไปยังห้องซ่อมรถที่อยู่ใกล้ๆ และAช่วยท่าน

14-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

① a.ありがとう b.すみません c.その他 (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

14-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

① a.ありがとう b.すみません c.その他 (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

14-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

① a.ありがとう b.すみません c.その他 (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

14-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

① a.ありがとう b.すみません c.その他 (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

ขอขอบคุณเป็นอย่างยิ่งที่ท่านให้ความร่วมมือตอบแบบสอบถาม

ชิดชนก หงษ์ทิพัรัตน์

添付資料 2 日本語母語話者のアンケート

このアンケートは日本人の感謝表現の使い分けについての研究を目的として行っています。あなたの回答と情報は本研究のみ使用されます。ご協力よろしくお願いいたします。

シッシャノック ホンチッパラット (修士課程)
0868283168, chidchanokh@gmail.com
文学部、チュラーロンコーン大学

Part1 次の質問に教えてください

年齢__歳 性別 女 男

Part2 次の1～14の場面で、Aに対し何と言いますか。①の選択肢から選んでください。選択肢に相当だと思う表現がない場合、「c. その他」の()に具体的に書いてください。また、Aの行為についてどう感じるか、②の選択肢から選んでください。

例

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に思わない

1. 電車を降りる時、かさの置き忘れをAに教えてもらった。

1-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

1-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わな

い

1-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

1-3 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

2. 面白い映画をAに勧めてもらった。

2-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

2-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)

- ② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

2-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

2-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

3. バスから降りようとした時、財布が落ちていることをAに教えてもらった。

3-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

3-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

3-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

3-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

4. 自分の勉強のために役に立つ本をAに教えてもらった。

4-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

4-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

4-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

4-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

5. エレベータに乗る時、「閉」ボタンをAに押しもらった。

5-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

5-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

5-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

5-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

6. ビュッフェスタイルの結婚式の披露宴でAにコーヒーを入れてくれた。

6-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

6-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

6-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

6-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

7. お土産屋でお金を払う時、5円不足、Aが自分からお金を出してくれた。

7-1 A：日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

7-2 A：親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

7-3 A：親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

7-4 A：知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

8. 駅の階段で重い荷物をAに運んでもらった時

8-1 A：日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

8-2 A：親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

8-3 A：親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

8-4 A：知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

9. 電車に乗っていて、次の駅はどこかをAに聞いて教えてもらった時。

9-1 A：日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

9-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

9-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

9-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

10. 郵便局の場所を聞いて、Aに教えてもらった。

10-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

10-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

10-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

10-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

11. Aにペンを貸してもらったとき。

11-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

11-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

11-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う

d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

11-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

12. 一緒に食事をしている時、ソースを取ってくれるようにAに頼んで取ってもらった。

12-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

12-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

12-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

12-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

13. 旅行している時、写真を撮ってくれるようにAに頼んで撮ってもらった。

13-1 A: 日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

13-2 A: 親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

13-3 A: 親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

13-4 A: 知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

14. あなたの車のバッテリーがあがってしまったので、Aに頼んで、近くのガソリンスタンドまで一緒に押してもらった。

14-1 A：日本人の先生

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

14-2 A：親しい日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

14-3 A：親しくない日本人の友達

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

14-4 A：知らない人

- ① a. ありがとう b. すみません c. その他 (_____)
② a. 非常に申し訳なく思う b. 申し訳なく思う c. 少し申し訳なく思う
d. 非常に嬉しく思う e. 嬉しく思う f. 少し嬉しく思う g. 特に何も思わない

ご協力ありがとうございました。

添付資料 3 タイ語母語話者のアンケート

ขอความกรุณาช่วยตอบแบบสอบถาม แบบสอบถามนี้มีจุดประสงค์เพื่อสำรวจจำนวนการขอบคุณของผู้ศึกษา
ภาษาญี่ปุ่นชาวไทย ผลของการสำรวจจะนำไปใช้ในการวิจัยนี้เท่านั้น และ ข้อมูลส่วนตัวของท่านจะถูกเก็บเป็นความลับ
จึงใคร่ขอความร่วมมือทุกท่านในการตอบแบบสอบถามมา ณ ที่นี้

ชิดชนก หงษ์ทิพัรัตน์ (นิสิตปริญญาโท)

สาขาวิชาภาษาญี่ปุ่น ภาควิชาภาษาตะวันออก คณะอักษรศาสตร์ จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

086-8283168, chidchanokh@gmail.com

ส่วนที่1 กรุณาตอบคำถามต่อไปนี้

เพศ หญิง ชาย อายุ _____ ปี

หลังจากทำแบบสอบถาม หากท่านมีความยินดีจะให้ความร่วมมือในการสัมภาษณ์ กรุณากรอกอีเมล หรือ เบอร์ติดต่อ

ชื่อ _____ หมายเลขโทรศัพท์ _____

E-mail _____

ส่วนที่2 ถ้าสมมุติให้ Aอยู่ในสถานการณ์ตามที่ระบุไว้ด้านล่าง

①คุณจะถูกกล่าวต่อเขาในแต่ละสถานการณ์ว่าอย่างไร ②ท่านรู้สึกอย่างไรในแต่ละสถานการณ์

ตัวอย่าง

0. Aชื่อชนมมาฝากจากญี่ปุ่น

0-1 Aเป็นเพื่อนที่สนิทกัน

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (ไม่เห็นต้องชื่อมาฝากเลย)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

1. ตอนที่ท่านกำลังลงจากรถไฟ Aช่วยบอกว่าท่านลืมร่มไว้บนรถไฟ

1-1 Aเป็นอาจารย์

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

1-2 Aเป็นเพื่อนที่สนิทกัน

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

1-3 Aเป็นเพื่อนที่ไม่สนิท

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

1-4 Aเป็นคนไม่รู้จัก

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

2. แนะนำภาพยนตร์ที่น่าสนใจให้

2-1 Aเป็นอาจารย์

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

2-2 Aเป็นเพื่อนที่สนิทกัน

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

2-3 Aเป็นเพื่อนที่ไม่สนิท

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

2-4 Aเป็นคนไม่รู้จัก

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

3. ตอนที่ท่านกำลังลงจากรถเมล์ Aช่วยบอกว่าท่านทำกระเป๋าตังค์หล่น

3-1 Aเป็นอาจารย์

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

3-2 Aเป็นเพื่อนที่สนิทกัน

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

3-3 Aเป็นเพื่อนที่ไม่สนิท

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

3-4 Aเป็นคนไม่รู้จัก

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

4. ช่วยบอกหนังสือที่เป็นประโยชน์ต่อการเรียนของท่าน

4-1 Aเป็นอาจารย์

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่รู้รู้สึกอะไร

7. ที่ร้านขายของฝาก ขณะที่กำลังจ่ายเงิน เงินท่านไม่พอเป็นจำนวน 1 บาท Aเลยช่วยออกให้ 1 บาท

7-1 Aเป็นอาจารย์

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

7-2 Aเป็นเพื่อนที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

7-3 Aเป็นเพื่อนที่ไม่สนิท

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

7-4 Aเป็นคนไม่รู้จัก

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

8. ช่วยท่านถือของหนัก ขณะที่ท่านกำลังถือของขึ้นบันได

8-1 Aเป็นอาจารย์

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

8-2 Aเป็นเพื่อนที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

8-3 Aเป็นเพื่อนที่ไม่สนิท

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

8-4 Aเป็นคนไม่รู้จัก

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

9. ขณะขึ้นรถไฟ ท่านถามAว่า สถานีต่อไปคือสถานีอะไร แล้วAบอกชื่อสถานีนั้นให้

9-1 Aเป็นอาจารย์

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

9-2 Aเป็นเพื่อนที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

9-3 A เป็นเพื่อนที่ไม่สนิท

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

9-4 A เป็นคนไม่รู้จัก

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10. ท่านสอบถามทางไปรษณีย์กับ A แล้ว A ช่วยบอกทางให้

10-1 A เป็นอาจารย์

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10-2 A เป็นเพื่อนที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10-3 A เป็นเพื่อนที่ไม่สนิท

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

10-4 A เป็นคนไม่รู้จัก

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

11. ท่านขอ A ยืมปากกา และ A ให้ท่านยืม

11-1 A เป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

11-2 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

11-3 A เป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

11-4 A เป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆ ไม่ได้รู้สึกอะไร

12.ระหว่างทานข้าวด้วยกัน ท่านขอร้องให้Aช่วยหยิบขวดซอสให้ และAหยิบให้ท่าน

12-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

12-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

12-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

12-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

13 ระหว่างการท่องเที่ยว ท่านได้ขอร้องให้Aถ่ายรูปให้ และAถ่ายให้

13-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

13-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

13-3 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

12-4 Aเป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

14.รถของท่านแบตเตอรี่ดับ ท่านขอร้องให้Aช่วยเข็นกันรถไปยังตู้ซ่อมรถที่อยู่ใกล้ๆ และAช่วยท่าน

14-1 Aเป็นอาจารย์ชาวญี่ปุ่น

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

14-2 Aเป็นเพื่อนชาวญี่ปุ่นที่สนิทกัน

- ① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)
② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

14-3 A เป็นเพื่อนชาวที่ญี่ปุ่นที่ไม่สนิท

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

14-4 A เป็นคนญี่ปุ่นที่ไม่รู้จัก

① a.ขอบคุณ b.ขอโทษ c.อื่นๆ (_____)

② a.รู้สึกผิดมาก b.รู้สึกผิด c.รู้สึกผิดเล็กน้อย d.ดีใจมาก e.ดีใจ f.ดีใจเล็กน้อย g.เฉยๆไม่ได้รู้สึกอะไร

ขอขอบคุณเป็นอย่างยิ่งที่ท่านให้ความร่วมมือตอบแบบสอบถาม